

2023年度（令和5年度）

事業報告書

社会福祉法人 手稲ロータス会

目 次

社会福祉法人 手稲ロータス会

手稲ロータス会の理念	2
1. 法人の運営	
(1) 法人の開設	3
(2) 寄付金品の状況	3
(3) 理事会 2023 年度 理事会開催状況	4
(4) 評議員会 2023 年度 開催状況	4
(5) 監査及び外部評価	5
(6) 研修実施状況	7

手稲ロータス会 法人本部事務局

1. 重点推進課題の実施報告	12
----------------------	----

特養手稲

1. 重点推進課題の実施報告	15
2. 事業運営	
(1) 施設の開設	19
(2) 施設職員の配置状況	19
(3) 行事实施状況	20
(4) 利用者の状況	21
(5) 苦情受付件数と主な内容	24
(6) 介護事故件数	24
(7) 慰問・ボランティア状況	25
(8) 実習生受入れ状況	25
(9) 地域における公益的な取組	25

手稲ロータス 指定居宅介護支援事業所

1. 重点推進課題の実施報告	27
2. 事業運営	
(1) 事業所の開設	30
(2) 施設職員の配置状況	30
(3) 居宅介護支援事業所 相談実件数及び相談内容	31
(4) 介護度別 居宅介護サービス計画作成状況	31
(5) 苦情受付件数と主な内容	31
(6) 介護事故件数	31
(7) 地域における公益的な取組	32

老健手稲

1. 重点推進課題の実施報告	
(1) 老人保健施設 手稲あんじゅ	35
(2) 手稲あんじゅ（介護予防）通所リハビリテーション事業所	37
(3) 手稲あんじゅ（介護予防）訪問リハビリテーション事業所	38

2. 事業運営	
(1) 施設の開設	39
(2) 施設職員の配置状況	39
(3) 行事实施状況	40
(4) 利用者の状況	41
(5) 苦情受付件数と主な内容	44
(6) 介護事故件数	44
(7) 慰問・ボランティア状況	45
(8) 実習生受入れ状況	45
(9) 地域における公益的な取組	45

在宅手稲

(介護予防) 認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう

1. 重点推進課題の実施報告	48
2. 事業運営	
(1) 施設の開設	49
(2) 施設職員の配置状況	49
(3) 行事实施状況	50
(4) 利用者の状況	51
(5) 苦情受付件数と主な内容	53
(6) 介護事故件数	53
(7) 慰問・ボランティア状況	53
(8) 地域における公益的な取組	53

手稲ゆうゆう 通所介護事業所

1. 重点推進課題の実施報告	55
2. 事業運営	
(1) 施設の開設	57
(2) 施設職員の配置状況	57
(3) 行事实施状況	58
(4) 利用者の状況	59
(5) 苦情受付件数と主な内容	60
(6) 介護事故件数	60
(7) 慰問・ボランティア状況	60
(8) 実習生受入れ状況	60
(9) 地域における公益的な取組	60

手稲ゆうゆう 指定居宅介護支援事業所

1. 重点推進課題の実施報告	62
2. 事業運営	
(1) 事業所の開設	63
(2) 施設職員の配置状況	63
(3) 居宅介護支援事業所 相談実件数及び相談内容	64
(4) 介護度別 居宅介護サービス計画作成状況	64
(5) 苦情受付件数と主な内容	64
(6) 介護事故件数	64

(7) 地域における公益的な取組	64
------------------	----

手稲ゆうゆう 訪問介護事業所・札幌市訪問介護相当サービス事業所・
居宅介護事業所

1. 重点推進課題の実施報告	66
2. 事業運営	
(1) 事業所の開設	67
(2) 施設職員の配置状況	67
(3) 訪問介護事業 訪問時間数	68
(4) 苦情受付件数と主な内容	69
(5) 介護事故件数	69

手稲ゆうゆう 札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

1. 重点推進課題の実施報告	71
2. 事業運営	
(1) センターの開設	73
(2) 施設職員の配置状況	73
(3) 介護予防センター相談実施数及び相談内容	74
(4) 介護予防事業実施回数及び参加人数	74
(5) 苦情受付件数と主な内容	74
(6) 介護事故件数	74
(7) 地域における公益的な取組	74

特養音更

1. 重点推進課題の実施報告	
(1) 介護老人福祉施設 ロータス音更	77
(2) ロータス音更（介護予防）通所介護事業所 認知症対応型通所介護事業所	79
2. 事業運営	
(1) 施設の開設	81
(2) 施設職員の配置状況	81
(3) 行事实施状況	82
(4) 利用者の状況	84
(5) 苦情受付件数と主な内容	87
(6) 介護事故件数	88
(7) 慰問・ボランティア状況	88
(8) 実習生受入れ状況	88
(9) 地域における公益的な取組	88

音更町地域包括支援センター ロータス音更

1. 重点推進課題の実施報告	90
2. 事業運営	
(1) 施設の開設	92
(2) 施設職員の配置状況	92
(3) 利用者状況（介護給付実績 ケアマネジメントA）	93
(4) 利用者状況（音更町通所型介護予防事業 ケアマネジメントB）	93
(5) 相談件数・内訳	94

(6) 訪問件数・内訳	96
(7) 認定調査件数	96
(8) 地域活動	97

あんじゅ音更 指定居宅介護支援事業所

1. 重点推進課題の実施報告	99
2. 事業運営	
(1) 事業所の開設	100
(2) 施設職員の配置状況	100
(3) 居宅介護支援事業所 相談日件数及び相談内容	101
(4) 介護度別 居宅介護サービス計画作成状況	101
(5) 地域における公益的な取組	101

老健音更

1. 重点推進課題の実施報告	
(1) 老人保健施設 あんじゅ音更	104
(2) あんじゅ音更（介護予防）通所リハビリテーション事業所	106
(3) あんじゅ音更（介護予防）訪問リハビリテーション事業所	108
2. 事業運営	
(1) 施設の開設	110
(2) 施設職員の配置状況	110
(3) 行事实施状況	111
(4) 利用者の状況	113
(5) 苦情受付件数と主な内容	116
(6) 介護事故件数	116
(7) 慰問・ボランティア状況	117
(8) 実習生受入れ状況	117
(9) 地域における公益的な取組	117

社会福祉法人 手稲口一タス会

社会福祉法人「手稲ロータス会」の理念

「手稲ロータス会」は4つの笑顔を大切にします

ご利用者様の笑顔、ご家族様の笑顔、地域の皆様の笑顔、そして私たち職員の笑顔です

清浄な花を咲かせる「ロータス(蓮)」の名にふさわしい、明るい笑顔とこまやかな思いやりに満ちた介護事業を目指します

基本方針

- ① ご利用者様の笑顔のために
 - ・一人ひとりの尊厳を大切にし、地域の中で自立した生活を目指します
 - ・安全で安心できる良好な生活療養環境の実現を目指します
- ② ご家族様の笑顔のために
 - ・ご家族様とご利用者様のコミュニケーションが保たれ、交流が深まるように努めます
 - ・ご家族様の介護負担の軽減が図られるように支援します
- ③ 地域の皆様の笑顔のために
 - ・介護予防の知識や介護への意識の普及啓発に努めます
 - ・地域の皆様との交流、ボランティアの受入、施設開放等に努め地域と共に歩みます
 - ・地域の関係機関、事業所と連携協働し、地域と一体になったケアを担います
 - ・環境にやさしい施設運営を目指します
- ④ 職員の笑顔のために
 - ・意欲を持って、安心して働ける職場環境を目指します
 - ・職員それぞれの職務の専門性向上のために支援します

※各事業所における重点推進課題は基本方針の該当項目を関連づけて表示しております

1. 法人の運営

(1) 法人の開設

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、昭和 63 年 6 月 23 日に社会福祉法人を設立した。

概要は、次のとおり

法人名称	社会福祉法人 手稲ロータス会
法人所在地	札幌市手稲区稲穂 5 条 2 丁目 6 番 5 号
事業内容	社会福祉事業 第一種社会福祉事業 特別養護老人ホーム 第二種社会福祉事業 老人デイサービス事業・老人短期入所事業・生活困難者に対して、無料又は低額な費用で介護保険法に規定する介護老人保健施設を利用させる事業・老人居宅介護等事業・障害福祉サービス事業・認知症対応型共同生活介護事業・移動支援事業 公益を目的とする事業 居宅介護支援事業・札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置の事業
職員数	418 名（正職員:271 名、契約職員:19 名、パート職員:128 名）2024. 3. 31 現在

(2) 寄付金品の状況

寄付金件数	0 件	寄付金総額	0 円
-------	-----	-------	-----

物品名	数量
車椅子	2 台
アルコールジェル	50 個
ヨーグルト	多数
みかん・キャベツ・大根	多数
フェイスタオル	多数
半紙	多数
帯広市写真集	1 冊
牛乳券	8 万円分
パーティーグッズ(帽子・ハロウィン、クリスマス飾り)	多数
「文芸おとふけ(55)」	2 冊

(3) 理事会 2023年度 開催状況

開催年月日		出席理事数 (定数9人)	出席監事数 (定数2人)	議 題
第1回	2023. 6. 13	9人	2人	1 2022年度 第1次補正予算の修正
				2 2022年度 決算の承認
				3 評議員会への理事・監事候補者の推薦
				4 諸規定の改正
第2回	2023. 6. 29	9人	2人	1 理事長及び常務理事の選任
第3回	2023. 9. 28	6人	2人	1 苦情処理解決規程における第三者委員の選任
				2 諸規定の改正
第4回	2023. 11. 28	8人	2人	1 評議員選任・解任委員会における委員の選任
				2 評議員会へ新たな理事候補者の推薦
				3 評議員選任・解任委員会へ新たな評議員候補者の推薦
				4 臨時評議員会の招集
				5 福祉医療機構への連帯保証人の変更
第5回	2024. 3. 28	9人	2人	1 2023年度 補正予算について
				2 2024年度 事業計画について
				3 2024年度 予算について
				4 苦情処理解決規程における第三者委員の選任
				5 諸規程の改正
				6 資金運用規程の制定
				7 プラスチックグローブの一括購入契約
				8 手稲あんじゅベッドのリース契約について

(4) 評議員会 2023年度 開催状況

開催年月日		出席評議員数 (定数10人)	出席監事数 (定数2人)	議 題
第1回 臨時	2023. 4. 18 (決議の省略)	10人	0人	1 定款の変更
定時	2023. 6. 29	10人	2人	1 2022年度 計算書類及び財産目録の承認
				2 理事・監事の選任
第2回 臨時	2023. 12. 7	10人	2人	1 理事の選任

(5) 監査及び外部評価

ア 法人監事による監査

監査年月日	実施監査員氏名	監査項目	指摘事項
2023. 6. 2	加賀三千博 原子茂樹	1 2022 年度事業報告	2022 年 8 月実施の札幌市保健福祉局による指導監査において、「褥瘡対策に関する施設内職員継続教育を実施すること」と指摘があったが、2022 年度に実施されていないことが判明した。速やかに実施していただきたい。
		2 計算関係書類及び財産目録	特になし
2023. 9. 15	加賀三千博 原子茂樹	1 2023 年度 第一四半期の予算執行状況及び介護サービス利用状況	全体を通じて収支状況が低迷していることから、役職員が現状を認識し、回復に向けた一層の努力をしてほしい。
		2 2023 年度 第一四半期の苦情・事故状況	報告書の記載の仕方が統一されていないため、改めること。
2022. 11. 15	加賀三千博 原子茂樹	1 2023 年度 上半期の予算執行状況及び事業実施状況について	研修や行事などの予定・実績の記載がなかったため、従来どおり記載してほしい。
		2 2023 年度 第二四半期の苦情・事故状況	日頃から利用者目線で対応し、抑制につなげてほしい。
		3 職員採用に関わる事務手続きと勤怠管理	特になし
2024. 3. 7	加賀三千博 原子茂樹	1 2023 年度 第三四半期の予算執行状況及び事業実施状況	特になし
		2 2023 年度 第三四半期の監査・実地指導及び事故・苦情の報告	老健音更の実地指導を受け、他の事業所において同様・類似の項目がないか点検し、あれば適切に対応すること。
		3 2024 年度 事業計画	各事業所の研修計画において、コンプライアンス及びハラスメント防止の研修は必須としていただきたい。

イ 社会福祉法人に関する監査

実施なし

ウ 社会福祉施設等に関する監査

実施なし

エ 介護保険施設等に関する実地指導

監査年月	監査実施機関	監査対象・監査項目	指導事項
2023. 12. 11	北海道 十勝総合振興局 環境部	特養音更 (あんじゅ音更 指定居宅介護支援事業所) 運営指導	特になし
2023. 12. 13	音更町 保健福祉部 高齢者福祉課	老健音更 ・ 衛生管理などについて (入所) ・ リハビリテーション計 画書の作成について (入所) ・ 栄養ケア・マネジメン トの体制について (入所) ・ 心身の状況などの把握 についての情報共有 (通所リハ・短期入所) ・ 事故発生の防止及び発 生時の対応について (入所) ・ 療養食加算に係る食事 指示箋の発行について (入所)	医療品の管理簿を作成し、 適正に管理すること。 本人及び家族の希望を確 認し記載することとなっ ているが、記載がないもの があったので記載すること。 施設長は、施設における 栄養ケア・マネジメン トに関する手順をあらか じめ定めること。 両事業所を利用してい る利用者について、介護 支援専門員から連絡が 入った際に情報の共有 がなされてなかったの で、それぞれ互いの計 画作成担当者と状況を 共有すること。 同一入所者に2回誤薬 が発生しているが、その うち1回について総合 振興局への報告がな かったので報告する こと。 塩分コントロール食の 提供において、入所者 の年齢、心身の状況に よって適切な栄養量 及び内容の食事提供 を行うことから、施設 内で定めている療養 食栄養量基準によら ない場合、医師の発 行する食事箋が必要 となるが、食事箋に その指示量の記載 のないものがあった ので、指示内容を 明確にすること。

(6) 研修実施状況

ア 施設内研修(手稲ロータス)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
4月17日	感染症の予防及びまん延防止に関する研修①(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	52名
5月26日	事故発生又は再発防止に関する研修①(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	41名
6月7日	感染症対応向上研修	手稲ロータス全職員	札幌市保健所医療対策室疫学調整班 看護師 高橋 朋子氏	13名
6月12日	食中毒の予防に関する研修(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	45名
7月12日	看取り介護に関する研修(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	46名
8月23日	ハラメントに関する研修	役職職員	社会福祉法人手稲ロータス会 理事長 宮川 学氏	10名
8月4日	高齢者虐待防止及び身体的拘束廃止に関する研修①(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	49名
9月11日	感染症の予防及びまん延防止に関する研修②(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	48名
10月26日	事故発生又は再発防止に関する研修②(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	44名
11月20日	緊急時の対応に関する研修	手稲ロータス全職員	Webにて実施	36名
12月22日	非常災害時の対応に関する研修	手稲ロータス全職員	Webにて実施	46名
1月24日	褥瘡予防に関する研修	手稲ロータス全職員	Webにて実施	42名
2月27日	高齢者虐待防止及び身体的拘束廃止に関する研修②(Web研修)	手稲ロータス全職員	Webにて実施	43名
3月15日	認知症に関する研修	手稲ロータス全職員	Webにて実施	39名
合 計				554名

イ 施設内研修(手稲ロータス居宅)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
5月26日	事故防止及び再発防止に関する研修①	介護支援専門員	Webにて実施	3名
6月12日	感染症予防に関する研修	介護支援専門員	Webにて実施	3名
7月12日	看取り介護に関する研修	介護支援専門員	Webにて実施	3名
9月11日	感染症予防に関する研修	介護支援専門員	Webにて実施	3名
11月15日	高齢者虐待防止に関する研修	介護支援専門員	Webにて実施	3名
12月22日	非常災害時の対応に関する研修	介護支援専門員	Webにて実施	3名
1月24日	褥瘡予防に関する研修	介護支援専門員	Webにて実施	3名
2月27日	身体拘束廃止に関する研修	介護支援専門員	Webにて実施	2名
3月15日	認知症に関する研修	介護支援専門員	Webにて実施	2名
合 計				25名

ウ 施設内研修(手稲あんじゅ)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
4月17日	虐待防止研修(ユマニチュード)	手稲あんじゅ全職員	動画視聴「認知症ケアユマニチュードとは」	42名
5月1日	「感染症の予防及びまん延防止」のための研修及び訓練(web研修)	手稲あんじゅ全職員	動画を視聴したうえで設問に回答	40名
5月8日	とろみ剤の使用にかかわる技術研修(5月8日9日10日の3日間開催)	手稲あんじゅ全職員	株式会社クリニコ 岡本友香氏	52名
6月7日	「感染症対応力向上」研修訓練	手稲あんじゅ全職員	札幌市保健所医療対策室 疫学調整班 看護師 伊藤美里氏	6名
8月4日	「褥瘡予防」に関する研修	手稲あんじゅ全職員	ジョブメドレーアカデミー(オンライン動画研修サービス)使用	50名
9月7日	「ハラメント防止」に関する研修	手稲あんじゅ全職員	社会福祉法人手稲ロータス会 宮川学理事長 (ZOOM開催)	12名
9月13日	「感染症予防」に関する研修	手稲あんじゅ全職員	医療法人社団藤花会江別谷藤病院「感染管理認定看護師」池間友美氏	31名
9月20日	「高齢者虐待防止」に関する研修(スピーチロック、不適切ケア)	手稲あんじゅ全職員	ジョブメドレーアカデミー(オンライン動画研修サービス)使用	65名
11月13日	「防火の対応」に関する研修(自衛消防訓練)	手稲あんじゅ全職員	Web研修及び訓練	56名
11月15日	「褥瘡予防ケア」に関する研修	手稲あんじゅ全職員	JA北海道厚生連札幌厚生病院「皮膚・排泄ケア認定看護師」宮田照美氏	23名
11月20日	「事故防止」に関する研修(事故の分析、ヒヤリハット報告他)	手稲あんじゅ全職員	ジョブメドレーアカデミー(オンライン動画研修サービス)使用	56名
12月4日	「接遇・マナー」に関する研修	手稲あんじゅ全職員	ジョブメドレーアカデミー(オンライン動画研修サービス)使用	55名
12月4日	「プライバシーの保護と尊厳の保持」に関する研修	手稲あんじゅ全職員	ジョブメドレーアカデミー(オンライン動画研修サービス)使用	58名
12月11日	「接遇・マナー」に関する研修	手稲あんじゅ全職員	公益財団法人介護労働安定センター北海道支部 石井玲央氏	34名
12月26日	「感染症の予防及びまん延防止」のための研修	手稲あんじゅ全職員	Web研修(Googlrform使用)	42名
12月26日	「身体的拘束廃止」に関する研修(高齢者虐待の類型他)	手稲あんじゅ全職員	ジョブメドレーアカデミー(オンライン動画研修サービス)使用	58名
1月5日	「土砂災害等の自然災害の防災」に関する研修	手稲あんじゅ全職員	Web研修	58名
1月18日	「事故防止」に関する研修(事故が起きてしまった場合の対応の流れ他)	手稲あんじゅ全職員	ジョブメドレーアカデミー(オンライン動画研修サービス)使用	57名
2月21日	「感染症予防対策(嘔吐物の処理)」に関する研修	手稲あんじゅ全職員	手稲あんじゅ感染予防委員会委員長 小畑みさえ看護副主任	19名
2月28日	「高齢者虐待防止」に関する研修(ストレスマネジメント、アンガーマネジメント)	手稲あんじゅ全職員	ジョブメドレーアカデミー(オンライン動画研修サービス)使用	53名
3月1日	「支援相談員の業務内容等」に関する研修	手稲あんじゅ支援相談員	ジョブメドレーアカデミー(オンライン動画研修サービス)使用	4名
3月7日	「防火(災)訓練」に関する研修(夜間想定防火(災)訓練)	手稲あんじゅ全職員	ジョブメドレーアカデミー(オンライン動画研修サービス)使用	50名
3月22日	「身体的拘束廃止」に関する研修(身体拘束はなぜ行っていないか?他)	手稲あんじゅ全職員	ジョブメドレーアカデミー(オンライン動画研修サービス)使用	51名
3月27日	「口腔衛生管理」に関する研修	手稲あんじゅ入所部門職員	札幌ファースト歯科クリニック 歯科衛生士 中井未来氏、宮野美氏、佐藤史桜氏	12名
随時	新採用職員研修	手稲あんじゅ新採用職員	施設マニュアルを使用した研修	4名
合 計				988名

エ 施設内研修(手稲ゆうゆうGH)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
4月26日	2022年度事故報告・ヒヤリハット報告の分析と対策	介護職員	事故対策委員	6名
5月18日	法令遵守について	介護職員	大崎施設長	6名
7月16日	感染症について	介護職員	公益財団法人 介護労働安定センター北海道支部	16名
7月24日	食中毒の予防について	介護職員	管理者	16名
7月26日	身体拘束廃止・虐待防止対策について①	介護職員	身体拘束廃止委員会、管理者	16名
8月23日	認知症の理解について	介護職員	管理者	7名
10月23日	非常災害・危機に備えて～地震・風水害・土砂災害など～	介護職員	札幌市危機管理局 危機管理課	5名
11月22日	感染症について(訓練含む)	介護職員	研修委員会	5名
11月29日	身体拘束廃止・虐待防止対策について②	介護職員	身体拘束廃止委員会	16名
12月18日	個人情報・プライバシーの保護について	介護職員	研修委員会(WEB研修)	16名
12月29日	接遇について	介護職員	管理者	5名
1月31日	アンガーマネジメントについて	介護職員	管理者	7名
2月16日	介護のリスクマネジメント・事故防止について	介護職員	管理者	17名
3月16日	若年性認知症について	介護職員	管理者	18名
3月22日	医療知識及び緊急時対応について	介護職員	管理者	7名
合 計				163名

オ 施設内研修(手稲ゆうゆう通所)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
5月17日	接遇マナーについて	通所職員	通所副主任(WEB研修)	7名
5月18日	法令遵守について	通所職員	大崎施設長	8名
6月27日	事故防止について	通所職員	生活相談員(WEB研修)	6名
7月19日	感染症について	通所職員	看護職員(WEB研修)	8名
8月17日	身体的拘束(スピーチロック)について	通所職員	通所副主任	7名
10月23日	非常災害・危機に備えて～地震・風水害・土砂災害など～	通所職員	札幌市危機管理局 危機管理課	9名
11月22日	感染症(実技)	通所職員	研修委員会	7名
12月18日	個人情報・プライバシーの保護について	通所職員	研修委員会(WEB研修)	10名
3月19日	虐待防止について、事故防止について	通所職員	通所主任	11名
合 計				73名

カ 施設内研修(手稲ゆうゆう居宅)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
4月6日	接遇マナーについて	介護支援専門員	介護支援専門員	3名
5月11日	虐待防止について	介護支援専門員	介護支援専門員	3名
5月18日	法令遵守について	介護支援専門員	大崎施設長	3名
6月19日	感染症について	介護支援専門員	介護支援専門員	3名
7月19日	苦情対応について	介護支援専門員	介護支援専門員	3名
9月22日	高齢者虐待について	介護支援専門員	介護支援専門員	3名
10月23日	非常災害・危機に備えて～地震・風水害・土砂災害など～	介護支援専門員	札幌市危機管理局 危機管理課	3名
11月22日	感染症(実技)	介護支援専門員	研修委員会	3名
12月14日	個人情報・プライバシーの保護について	介護支援専門員	研修委員会(WEB研修)	3名
1月18日	感染症について	介護支援専門員	介護支援専門員	3名
2月22日	メンタルヘルスケアについて	介護支援専門員	介護支援専門員	3名
3月20日	高齢者虐待について	介護支援専門員	介護支援専門員	3名
合 計				36名

キ 施設内研修(手稲ゆうゆう訪問)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
4月25日	接遇マナーについて	介護職員	サービス提供責任者	3名
5月18日	法令遵守	介護職員	大崎施設長	3名
6月27日	虐待防止について	介護職員	サービス提供責任者	3名
7月16日	感染症について	介護職員	公益財団法人 介護労働安定センター北海道支部	3名
8月29日	身体拘束について	介護職員	サービス提供責任者	3名
9月22日	緊急時対応について	介護職員	サービス提供責任者	3名
10月23日	非常災害・危機に備えて～地震・風水害・土砂災害など～	介護職員	札幌市危機管理局 危機管理課	3名
11月22日	感染症(実技)	介護職員	研修委員会	3名
12月18日	個人情報・プライバシーの保護について	介護職員	研修委員会(WEB研修)	3名
1月31日	認知症について	介護職員	サービス提供責任者	3名
2月20日	ハラスメントについて	介護職員	サービス提供責任者	3名
3月20日	事業所・個人評価と来年度の目標	介護職員	サービス提供責任者	3名
合 計				36名

ク 施設内研修(ロータス音更)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
5月1日	事故防止対策・身体拘束廃止	全職員	沼田部門長	48名
6月20日	緊急時対応・AED研修	全職員	音更消防署、施設向上委員会	39名
7月1日	感染症対策対策防護服の着脱方法の実践	全職員	感染委員会	80名
7月25日	「看取り」からのエンゼルケアの実践	ユニット職員	看取り介護検討委員会	26名
10月26日	非常災害への対策・緊急時施設内対応	全職員	高間施設長	38名
11月8日	身体拘束の廃止に向けた施設の取り組み	全職員	身体拘束廃止委員会	45名
11月8日	人権擁護、道内における高齢者虐待対応状況に関する事例内容	全職員	虐待防止委員会	45名
11月21日	火災発生時の初期対応、避難誘導の流れについて実践	全職員	フジ防災、施設向上委員会	98名
11月28日	高齢者施設・介護施設における感染対策	全職員	帯広厚生病院 感染管理認定看護師 原理加	45名
12月26日	事故危険予測トレーニングを用いたグループワーク	全職員	事故防止対策委員会	36名
2月27日	避難訓練夜間想定実践	全職員	音更消防署、フジ防災、施設向上委員会	98名
3月26日	高齢者に対する食支援 リモート講義	全職員	つがやす歯科医院長 斎藤徹氏	36名
合 計				634名

ケ 施設内研修(あんじゅ音更)

実施日	内 容	対 象 者	講 師 等	参加人数
4月10日	虐待防止研修「虐待防止について」【動画閲覧】	あんじゅ音更全職員	虐待防止委員会 (4月10日～4月24日の期間)	67名
5月18日	「業務継続計画研修2023」【動画閲覧】	あんじゅ音更全職員	防災・研修委員会 (5月18日～5月31日の期間)	69名
6月19日	「身体拘束廃止・虐待防止研修2023」【動画視聴】	あんじゅ音更全職員	身体拘束廃止・虐待防止委員会 (6月19日～7月3日の期間)	72名
7月24日	医療事故研修「あんじゅ音更医療事故防止研修2023.7」【動画視聴】	あんじゅ音更全職員	医療事故防止委員会 (7月24日～8月7日の期間)	67名
8月21日	感染予防研修「あんじゅ音更感染予防研修」【動画視聴】	あんじゅ音更全職員	感染予防委員会 (8月21日～9月4日の期間)	69名
10月1日	虐待防止研修「虐待事例を見てみよう」資料配布	あんじゅ音更全職員	虐待防止委員会 (10月1日～10月15日の期間)	84名
11月13日	感染予防研修「感染症とは」【動画閲覧】	あんじゅ音更全職員	感染予防委員会 (11月14日～11月24日の期間)	67名
12月6日	褥瘡予防研修「褥瘡予防について」【講義・実技】	あんじゅ音更全職員	褥瘡予防委員会 (講師：(株)ケープ担当者様)	79名
1月15日	身体拘束廃止研修「身体拘束にあたる行為について」【動画閲覧】	あんじゅ音更全職員	身体拘束廃止委員会 (1月15日～1月26日の期間)	68名
1月15日	医療事故研修「緊急時対応について」【動画閲覧】	あんじゅ音更全職員	医療事故防止委員会(1月15日～1月26日の期間)	66名
2月16日	感染予防研修「感染予防策について」【講義】	あんじゅ音更全職員	帯広厚生病院感染管理認定看護師 原理加氏	67名
3月5日	防災研修「避難誘導の手順と搬送方法について」【実技・資料配布】	あんじゅ音更全職員	防災委員会(3月5、11.12.18.19日)	64名
合 計				839名

コ 施設外研修(手稲ロータス)

実施日	内 容	受 講 者	主 催 者 等	参加人数
4月21日～7月31日	バーセルインデックス評価研修	理学療法士	全国社会福祉協議会	1名
6月12日～6月14日	ユニットリーダー研修	介護職員	北海道社会福祉協議会	1名
7月26日～7月27日	全国老協北海道ブロック研修大会	介護職員等	北海道社会福祉協議会	2名
9月14日～9月14日	認知症介護基礎研修	介護職員	認知症介護研究・研修仙台センター	1名
10月10日～11月24日	認知症ケア特別研修Ⅱ(食事ケア)	言語聴覚士	北海道社会福祉協議会	1名
11月16日～11月16日	中堅者向け施設ケアマネ研修	介護支援専門員	北海道介護支援専門員協会	1名
1月31日～1月31日	介護報酬改定の全解説と事前対策	生活相談員	生活相談員研究会	2名
3月8日～3月8日	介護報酬改定解説	生活相談員等	札幌市老人福祉施設協議会	2名
合 計				11名

サ 施設外研修(手稲ロータス居宅)

実施日	内 容	受 講 者	主 催 者 等	参加人数
5月18日	高齢者虐待とはなんだろう	介護支援専門員	手稲区第1・2地域包括支援センター	1名
6月16日	転倒要因の理解と転倒予防のリハビリテーションの紹介	介護支援専門員	訪問看護ステーション白ゆり	1名
6月21日	がん患者さんへの相談支援と地域連携について	介護支援専門員	居宅介護支援事業所 芝さくら	3名
6月27日	在宅における最新の褥瘡ケア	介護支援専門員	在宅療養支援ステーション桃季	2名
7月18日	片麻痺に対する運動指導のポイント	介護支援専門員	トレリハセンターていね	1名
7月19日	自立支援のための福祉用具選びとは	介護支援専門員	日本ケアサプライ	2名
7月20日・11月22日	主任CM CM合同事例検討会	介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会(手稲区支部)	3名
9月12日	札幌市のマネジメント基本方針について	介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会	1名
9月15日	カスタマハラメント対策	介護支援専門員	日本ケアサプライ	1名
9月19日	ケアマネにもLIFEが?ゲームチェンジに乗り遅れるな	介護支援専門員	(株)フロンティア	1名
11月22日	生活保護行政を知ろう	介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会	2名
1月19日	薬剤師とケアマネの連携について	介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会(北区支部)	1名
1月26日	医療機関とケアマネの意見交流会	介護支援専門員	手稲区第1地域包括支援センター	1名
3月8日	高齢者虐待対応研修	介護支援専門員	北海道社会福祉士会	2名
3月14日	介護保険法改定について	介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会	1名
3月19日	介護保険制度改正内容の理解	介護支援専門員	社会福祉法人パートナー	1名
合 計				24名

シ 施設外研修(手稲あじゅ)

実施日	内 容	受 講 者	主 催 者 等	参加人数
5月31日～7月28日	介護支援専門員更新研修	副主任相談員 皆口さやか	一般社団法人北海道総合研究調査会	1名
5月31日～11月21日	介護支援専門員更新研修	部門長 菅光太	一般社団法人北海道総合研究調査会	1名
6月6日～8月5日	介護支援専門員更新研修	事務長 藤田正一	一般社団法人北海道総合研究調査会	1名
1月17日	令和5年度高齢者の権利擁護を考える集い	部門長 菅光太	北海道	1名
合 計				4名

ス 施設外研修(手稲ゆうゆう居宅)

実施日	内 容	受 講 者	主 催 者 等	参加人数
4月21日	福祉用具展示会及びセミナー	介護支援専門員	株式会社マルベリー	3名
5月18日	高齢者虐待とはなんだろう?	介護支援専門員	手稲区第1・2包括支援センター	3名
7月19日	事例検討会	介護支援専門員	手稲区第2包括支援センター	3名
7月20日	事例検討会	介護支援専門員	ケアマネ連協手稲区支部、手稲区包括	3名
8月30日	高齢者虐待防止推進研修会(管理者編)	介護支援専門員	北海道社会福祉協議会	1名
11月22日	事例検討会	介護支援専門員	ケアマネ連協手稲区支部、手稲区包括	3名
11月30日	高齢者虐待防止推進研修会(在宅編)	介護支援専門員	北海道社会福祉協議会	1名
1月20日	主任ケアマネ更新研修	介護支援専門員	北海道総合研究調査会	1名
1月26日	医療機関と介護支援専門員の意見交換会	介護支援専門員	手稲区第2包括支援センター	3名
2月16日	介護ロボット展示セミナー	介護支援専門員	北海道社会福祉協議会	3名
3月12日	権利擁護研修会	介護支援専門員	手稲区第1・2包括支援センター	3名
3月13日	福祉・介護セミナー	介護支援専門員	日本ケアサプライ	3名
3月14日	ケアマネ資質向上研修会	介護支援専門員	札幌市介護支援専門員連絡協議会	2名
3月22日	認知症を理解する為の介護従事者研修	介護支援専門員	札幌市	1名
合 計				33名

セ 施設外研修(ロータス音更)

実施日	内 容	受 講 者	主 催 者 等	参加人数
4月27日	新型コロナウイルス感染症の位置づけ変更に伴う説明会(WEB)	施設長、部門長、看護、相談員	北海道十勝総合振興局保健環境部長	6名
5月25日	介護報酬改定を見据えたデイサービスの生き残り経営戦略(WEB)	通所相談員、介護職員	リハクラウド	3名
5月26日～6月21日	令和5年度認定調査員研修(WEB)	入所相談員	北海道介護支援専門員協会事務局	1名
6月21日～6月22日	認知症対応型サービス事業管理者研修	通所生活相談員	北海道認知症グループホーム協会	1名
6月21日～6月22日	甲種防火管理新規講習	部門長	とかち広域消防局	1名
6月22日	実効性のあるBCPセミナー	部門長	帯広日産自動車株式会社	1名
6月22日	音更町医療・介護連携推進会議	入所、通所相談員	音更町高齢者福祉課包括支援係	4名
6月25日	「やってみよう！口腔機能向上加算 PART1」(WEB)	部門長、通所相談員	デンタルサポート(株)Dキャリアプラス	3名
7月7日～9月29日	介護される方と利用者のQOL向上のために(WEB)	入所、通所職員	サラヤ株式会社	1名
7月9日	医療・介護従事者のための新興感染症感染予防講座(WEB)	管理職、看護職員	北海道医師会	3名
7月26日	全国老協北海道ブロック研究大会	施設長	北海道老人福祉施設協議会	1名
7月26日～8月18日	北海道高齢者虐待防止推進研修会【管理者編】	施設長、部門長	社会福祉法人北海道社会福祉協議会	2名
9月1日～12月1日	介護施設・事業所における虐待及び身体拘束適正化について(WEB)	入所、通所主任等管理者	公益社団法人全国老人福祉施設協議会	3名
9月8日	十勝老人福祉施設協議会 看護部会研修	看護師	十勝老人福祉施設協議会	1名
9月22日	道東三地区老協研修会ハラスメント行為について	統括介護主任	十勝・オホーツク地区老人福祉施設協議会	1名
10月25日～12月20日	高齢者施設感染対策向上研修会(WEB)	管理職、看護職員、感染委員会	十勝総合振興局保健環境部保健行政室	2名
10月9日	認知症介護基礎研修(WEB)	入所、通所介護職員	社会福祉法人東北福祉会認知症介護研究	5名
12月1日～12月31日	令和5年度認定調査員研修会(WEB)	入所相談員	北海道介護支援専門員協会	1名
12月6日	相談員部会	入所、通所相談員	十勝老人福祉施設協議会 相談員部会	2名
12月14日～12月20日	LIFEのフィードバックの活用方法と介護報酬改定におけるLIFEの動向(WEB)	管理者、通所相談員等	リハクラウド	3名
1月19日	介護実習指導担当者会議	介護主任	帯広大谷短期大学	1名
1月24日	介護報酬改定を見据えたデイサービスの生き残り経営戦略(WEB)	管理者、通所相談員等	リハクラウド	3名
2月16日	令和5年度 デイサービス部会	通所主任、通所職員	十勝老人福祉施設協議会	2名
2月16日	令和5年度相談員部会情報交換会	入所相談員	十勝老人福祉施設協議会 相談員部会	2名
3月11日	令和6年度介護報酬改定緊急経営セミナー(WEB)	管理職、生活相談員	北海道老人福祉施設協議会	4名
合 計				57名

ソ 施設外研修(あんじゅ音更)

実施日	内 容	受 講 者	主 催 者 等	参加人数
6月22日	音更町医療・介護連携推進に係る関係者向け研修会	支援相談員	音更町医療・介護連携推進会議	2名
10月25日	令和5年度要介護高齢者歯科保健対策推進事業研修会	栄養士・言語聴覚士	北海道十勝総合振興局保健環境部保健行政室	2名
1月25日	「高齢者施設・介護施設における感染対策」	看護・介護・相談員・栄養士	老健看護師部会	12名
合 計				16名

手 稲 口 一 夕 会 法 人 本 部 事 務 局

1 重点推進課題の実施報告

法人本部事務局

法人経営を安定なものにするため、拠点間の連携及び協力体制のより一層の強化に努める。

《重点推進課題》

1. 中長期計画の進行管理

《基本方針 ①②③④》

2022年度に策定した法人の中長期計画に基づき、各事業の目標数値や財務目標に対する進捗状況等の全体管理及び調整を行い、法人全体の継続的な事業の運営を図る。

【指標・評価方法】

専門家の視点を加えた分析(法人での把握と分析の他、会計事務所等に分析を依頼)を行い、各事業所共通の認識として捉え、より効果的・効率的な事業展開に努める。

【結果】

2023年度の中長期計画における財務目標に対する進捗状況は、事業活動収支差額目標は119,402千円に対し139,091千円と19,689千円目標を上回ったが、固定資産取得支出が目標より34,981千円支出増となった。老健手稲の老朽化や音更の両施設の設備更新が主な要因であることから、中期計画後期分(2025年度～2027年度)の策定に向けて安定した入所率の維持など効率的な事業運営の調整に努めたい。

2. 外国人労働者の導入に向けた調査・検討

《基本方針 ①②④》

介護従事者の雇用環境が厳しくなっていることから、事業の職員数安定に資する為にも外国人労働者の受け入れに関する他法人の実情や課題などを調査・検討を継続する。

【指標・評価方法】

札幌圏内や十勝管内ですでに外国人労働者を受け入れている事業者の実態を引き続き調査し、当法人に合う仕組みや費用効果を検証する。

【結果】

11社の紹介業者によるプロポーザル及び見積書の提示により、外国人を受け入れしている事業者の状況を確認した。次年度は、更に近隣で受け入れしている施設の実状を確認し、費用対効果を検証しつつ、外国人の雇用に向けた体制づくりを進めたい。

特 養 手 稻

介護老人福祉施設 手稲口一タス

1. 重点推進課題の実施報告

介護老人福祉施設 手稲ロータス

入居者様にとって「居心地の良い」生活の場となることができるよう、入居者様一人ひとりの生活スタイルを尊重することを前提として、職員一人ひとりが入居者様の声に耳を傾け、寄り添い、想いや願いを実現できるユニットケアを構築する。

また、新型コロナウイルス感染症からの感染予防対策を見直し、入居者様とご家族が共に過ごすことができる時間を大切にするとともに、お互いの想いを共有でき、笑顔になれる環境づくりを促進する。

さらに、地域の皆様に求められる施設となるよう、一層、関係機関への働きかけを続けて関係性を深めるとともに、科学的根拠に基づくケアを促進して、入居者様が安心・公平にサービスを受けられる環境をつくり、併せて、職員が安心して長く働けるよう職場環境を整備する。

《重点推進課題》

1 入居者様にとって「居心地の良い」生活の場となるように、チーム全員で入居者様が笑顔になれる生活環境をつくる 《基本方針 ①②④》

各専門職が入居者様に寄り添い、連携・協力することで、入居者様の個性を大切にした生活を尊重し、入居者様の想いや願いを実現することができるよう、統一したユニットケアを通じて自立支援につながる取組みを進めることにより、「居心地の良い」生活の場にふさわしい生活環境をつくっていく。

【指標・評価方法】

日々の関わりやご家族からの情報をもとに、入居者様の想いや願いを把握するとともに、これまでの生活スタイル等を確認する24時間シートの内容をさらに充実させ、日常のケアに活用することで、入居者様が望む生活スタイルや生活環境をつくっていく。

また、感染症法の改正により、新型コロナウイルス感染症の感染症分類が「5類」に変更されることに伴い、現行の感染予防対策を見直して、入居者様の屋内・外の活動内容を拡充させ、日常生活における「楽しみ」や「刺激」の機会を増やし、笑顔につながる環境づくりを進める。

さらに、「SHELL」による事故分析についての職員の理解を一層促進し、多角的な分析結果に基づく再発防止策を展開して、入居者様がより安全に生活できる環境の整備を加速する。

加えて、入居者様が健康的な生活を維持できるよう、口腔衛生や排せつケア、感染症予防対策等に関して、外部の専門家から直接にアドバイスを受ける機会を定期的に設け、入居者様へのヘルスケアの質を高められる環境づくりを継続する。

【結果】

- ① 直接面会が再開される等、徐々にではあるが、ご家族との関わりの中から、これまでの生活スタイルの情報を収集することができている。その他、サービス担当者会議及びフロア会議等にて定期的な見直しを継続し、引続き個別ケアの提供ができるよう、24 時間シートの更新をしていく。
- ② 新型コロナウイルス感染症の感染症分類が「5類」に変更され、感染予防対策の実践と検証を重ね、新たな対応策を検討した。また、入居者様の屋内・外の活動内容について、皆で歌を歌う、キッチンカーを招き玄関先でソフトクリーム食べる、少人数で施設近辺をドライブする等、笑顔につながる環境づくりを進めることができた。
- ③ 事故防止委員会及び再発防止会議等で、「SHELL」による事故分析を実施し、更なる理解を深めることができた。また、事故件数については、前年度より 7 件減少しており、今後も、「SHELL」分析による多角的な分析を行い、根拠に基づいた事故防止策が抽出できるよう、多職種との意見交換を継続していく。
- ④ 口腔内の状態や摂食・嚥下機能の定期的評価については、定期歯科健診及び口腔衛生委員会等で確認することができた。歯科医師及び歯科衛生士、言語聴覚士から得られた助言内容をフロア内で共有し、口腔ケアの技術向上、口腔衛生の管理環境を整備した。

2 ご家族と入居者様が同じ時間を過ごせ、互いに笑顔になれる環境をつくる

《基本方針 ①②》

新型コロナウイルス感染症からの感染予防対策を見直して、ご家族様と入居者様が共に笑顔で過ごせる時間の確保に向けて取り組むとともに、ご家族に入居者様の日常のご様子をお伝えする取組みを継続・充実させる。

【指標・評価方法】

より多くのご家族が入居者様と会話できるよう、ビデオ通話等を継続・促進させるとともに、感染症法の改正による新型コロナウイルス感染症の感染症分類の変更に伴い、入居者様とご家族の直接面会の実現をはじめ、外出や外泊等についての検討を進める。

また、ご家族に、入居者様のご様子やケアの内容などをお伝えするため毎月発行・送付している「お便り(すまいるだより)」を継続していくとともに、ホームページや広報誌のほか、SNS媒体を活用し、入居者様の日常における活動のご様子などを多角的に配信する等により、ご家族により安心して頂ける取組みを継続していく。

【結果】

- ① 感染予防対策の見直しや CO2 センサーによる検証により、地域交流スペースでのパネル越しの面会から、制限付きではありますが、居室での直接面会を再開することができた。
- ② 直接面会再開に伴い、「すまいるだより」は 3 ヶ月に 1 回の発行となりましたが、ビデオ通話によるオンライン面会を継続することで、幅広く入居者様・ご家族との会話の機会を提供することができた。また、フェイスブックやインスタグラム等、月 1 回程度の配信では

ありますが、SNSを通じて、入居者様の日常生活を配信することができた。

3 地域の皆様に求められる施設を目指す

広報誌の配布・回覧やインターネット通信を継続して、当施設における取組み等の情報を積極的に発信するとともに、近隣の保育園や小中高校及び町内会等の皆様と積極的に関わりを持ち、地域活動の拠点としての土台づくりを進める。

【指標・評価方法】

当施設が発行する広報誌を、地域の教育機関等の関係機関のほか、町内会を通じて地域住民の皆様定期的に配布・回覧し、地域との関係性の構築を継続する。

また、町内会等から、地域活動に関する当施設への要望等の情報を収集し、今後における地域活動の受け皿としての準備を進めるとともに、地域貢献に向けた具体的方法を模索するなどして、地域から求められる高齢者介護に関する地域拠点となるための土台づくりを進める。

【結果】

- ① 広報誌(こもれびだより)を当施設が属する町内会(暁星第三町内会)会長の協力を得て、回覧板で発信することができた。教育機関への発信については、ホームページ及びSNS等を通じて発信することができた。
- ② 地域活動に関する当施設への要望については、「地域交流スペースの利用再開してほしい」との要望があった。2023年度は、利用に際するルール作りが不十分な事や新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の発症もあり、開放できなかったが、感染症対策の見直し及び地域の感染状況等を踏まえ、利用再開に向けた検討をしていく。

4 科学的根拠に基づくケアと、安心して働き続けられる職場環境づくりの促進

各専門職が入居者様の心身状態を適切に評価し、科学的根拠に基づいてケアを実践することで、入居者様が安心かつ公平にケアサービスを受けられることができるよう環境を整える。

また、移乗用介護ロボットの活用促進を始めとした業務環境の改善により、介護負担の軽減などを加速させるとともに、オンライン等のICT化を進めていく中で、一層、生産性の向上を目指すほか、職員が積極的に学びを深めることができる環境を整える。

さらに、職員が自らのアイデアを実行に移すことができる仕組みを構築し、職員一人ひとりが前進的かつ挑戦的になれる組織づくりを進める。

【指標・評価方法】

国の科学的介護データベース(LIFE(ライフ))を活用して、多職種が連携・協力しながら、科学的根拠に基づくケアが実践できる体制を構築する。また、eラーニングシステムの活用により、職員が積極的に学ぶことができる環境を整えながら、自らが専門的知識の学びを深められるよう働きかける。

さらに、入居者様の身体的負担の軽減や、入居者様が持つ能力をより発揮して頂くことと

もに、介護職員の腰痛の最大要因である身体的負担を軽減するため、移乗用介護ロボットの導入をさらに進める。

加えて、職員一人ひとりの発想やアイデアが可能な限り生かされるとともに、全ての職員が前向きにチャレンジでき、安心して長く働きたいと思える職場環境づくりを進める。

【結果】

- ① 国の科学的介護データベース(LIFE(ライフ))のフィードバック情報によるケアの見直しを図った。更には、検証結果を踏まえ、課題を抽出し、科学的根拠に基づいた個別ケアの実践ができる環境を構築した。
- ② 研修委員会が中心となり、eラーニングシステムの中から、研修項目を選定し、専門知識の学びを深めた。また、パソコンの他、スマートフォン及びタブレット等の使用にて、研修動画をいつでも閲覧できることから、職員が積極的に学ぶ機会へ繋げることができた。
- ③ 移乗型介護ロボット(SASUKE)及び移乗サポートロボット(HUG)の活用方法について、担当業者より活用事例や使用方法を聴き取り、一部入居者様に導入することができた。今後も入居者様の身体機能維持・向上、精神状態の安定のため、積極的な導入を検討していく。また、介護職員の腰痛の最大要因である身体的負担を軽減するため、操作方法等に関する研修の実施についても継続していく。
- ④ 毎月実施している、会議及びWEB研修等にて、職員からの意見や提案を確認し、記録及び報告書について、重複している項目の統一を図った。また、多職種との情報共有及び必要に応じて個人面談を実施することで、安心して働くことができる環境づくりに努めた。

2 介護老人福祉施設・(介護予防)短期入所生活介護の運営

(1) 施設の開設

第一種社会福祉事業としての特別養護老人ホームの設置については、老人福祉法第15条第3項に基づき、平成元年5月15日付で札幌市長に対し設置許可申請を行い、平成元年5月26日付（札老第188号指令）で許可を受け、平成元年6月1日付で、「老人ホーム事業開始届」を札幌市に提出し受理された。

平成12年4月1日の介護保険法施行に伴い、介護老人福祉施設を開設した。

平成18年4月1日より介護保険制度の改正に伴い、居宅系サービスについては予防事業を開設した。

令和元年5月1日からの新築移転に伴い、ユニット型介護老人福祉施設に転換するとともに、前日である平成31年4月30日をもって、通所介護事業を切り離した。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称	介護老人福祉施設 手稲ロータス
施設 の 所 在 地	札幌市手稲区稲穂3条6丁目7番5号
施設 の 種 類	介護老人福祉施設 (介護予防)短期入所生活介護
入 所 定 員	80名(うちショートステイ定員10名・併設型・空床型)

(2) 施設職員の配置状況

2024.3.31現在

		施 設 長	医 師	事 務 員	生 活 相 談 員	介 護 職 員	看 護 職 員	管 理 栄 養 士	介 護 支 援 専 門 員	機 能 訓 練 指 導 員	用 務 員	介 助 員	夜 間 警 備 員	調 理 員	計
入 所	基準数 (人)	1	1 ①		1	24	3	1	1	1					33 ①
	現員 (人)	1	1 ①	2	2	40 ⑧	6 ③	1	1 (3)	2	2 ②	3 ③	2 ②	委 託	63 ⑱

* ()は兼務。○は非常勤の内数。

(3) 行事实施状況表

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	誕生日毎	誕生日会	施設内	6名
	18(火)	移動販売(2階)(3階)	施設内	34名
	19(水)	移動販売(4階)(5階)	施設内	41名
5月	誕生日毎	誕生日会	施設内	7名
	14(日)	母の日(2階)(3階)(4階)(5階)	施設内	61名
6月	誕生日毎	誕生日会	施設内	5名
	2(金)	開設記念行事(2階)(3階)(4階)(5階)	施設内	80名
	18(日)	父の日(2階)(3階)(4階)(5階)	施設内	21名
7月	誕生日毎	誕生日会	施設内	7名
	21(水)	夏祭り(3階)	施設内	19名
8月	誕生日毎	誕生日会	施設内	5名
	24(木)	じゃがいも収穫祭	施設内	79名
	29(火)	ソフトクリーム喫茶	施設内	75名
9月	誕生日毎	誕生日会	施設内	7名
	15(金)	手稲ロータス敬老祝賀会(2階)(3階)(4階)(5階)	施設内	78名
10月	誕生日毎	誕生日会	施設内	3名
11月	誕生日毎	誕生日会	施設内	6名
	21(火)	外出レク(4階)	施設内	4名
12月	誕生日毎	誕生日会	施設内	4名
	22(金)	クリスマス・忘年会(2階)(3階)(4階)(5階)	施設内	76名
1月	誕生日毎	誕生日会	施設内	16名
	1(月)	お正月(5階)	施設内	19名
2月	誕生日毎	誕生日会	施設内	2名
	3(土)	節分会(2階)(3階)(5階)	施設内	55名
3月	誕生日毎	誕生日会	施設内	3名
	3(日)	桃の節句(2階)(3階)(4階)(5階)	施設内	76名
合計				789名

(4)利用者の状況

2024.3.31 現在

ア. 年齢別構成状況(人)

	未満	65	70	75	80	85	90	95	合計	最低年齢	最高年齢	平均年齢	前年平均
	5	5	5	5	5	5	5	以上					
男	1	1	2	1	3	5	2	0	15	64	91	81.0	81.7
女	0	0	2	2	9	19	12	11	55	70	103	88.5	88.7
計	1	1	4	3	12	24	14	11	70			86.9	86.1

イ. 要介護度別利用者状況(人)

性別	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均	前年平均
男	0	0	4	5	6	15	4.13	4.13
女	0	1	9	30	15	55	4.07	4.10
計	0	1	13	35	21	70	4.08	4.11

ウ. 介護保険者別構成状況(人)

	札幌市						小樽市	旭川市	合計
	西	手稲	北	南	東	中央			
男	1	13	1	0	0	0	0	0	15
女	5	36	3	0	1	2	7	1	55
計	6	49	4	0	1	2	7	1	70

エ. 入所者所得段階

	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	合計
男	0	1	3	11	15
女	1	12	30	12	55
計	1	13	33	23	70

オ. 健康保険加入状況(人)

	後期高齢者医療制度	国民健康保険	社会保険	組合健康保険	生活保護	合計
男	12	3	0	0	0	15
女	51	3	0	0	1	55
計	63	6	0	0	1	70

カ. 在所者利用期間別構成状況(人)

	1年未満	1~2	2~3	3~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	9~10	10年以上	合計
男	4	3	2	2	1	2	0	0	1	0	0	15
女	10	7	1	11	7	6	4	2	1	0	6	55
計	14	10	3	13	8	8	4	2	2	0	6	70

キ. 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
男	0	1	0	3	4	2	1	1	3	15
女	0	0	1	4	12	7	26	2	3	55
計	0	1	1	7	16	9	27	3	6	70

ク. 認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合計
男	0	1	1	3	3	4	2	1	15
女	2	3	3	10	14	9	14	0	55
計	2	4	4	13	17	13	16	1	70

ケ. 通院状況(延人数)

	内科	精神科	循環器科	呼吸器科	外科	整形外科	形成外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻科	肛門科	合計
男	2	1	0	0	0	4	0	6	0	19		0	0	0	32
女	20	0	14	0	5	5	1	15	0	3	0	2	3	0	68
計	22	1	14	0	5	9	1	21	0	22	0	2	3	0	100

(重複掲載)

コ. 往診状況(延人数)

	内科	歯科	眼科	皮膚科	精神科	合計
男	132	26	0	0	144	302
女	708	137	0	0	216	1,061
計	840	163	0	0	360	1,363

(重複掲載)

サ. 機能訓練実施状況(延人数)

内 容	可 動 域 訓 練	筋 力 強 化	平 行 棒 内 歩 行 訓 練	平 行 棒 内 立 位 訓 練	杖 歩 行 訓 練	歩 行 器 歩 行 訓 練	立 ち 上 が り 訓 練	立 位 保 持 訓 練	ホ ッ ト パ ッ ク	体 操	立 位 バ ラ ン ス	介 助 歩 行 訓 練	独 歩	合 計
男	526	317	0	27	0	45	379	247	0	12	0	0	42	1,595
女	536	429	10	11	72	125	842	624	0	43	51	96	54	2,893
計	1,062	746	10	38	72	170	1,221	871	0	55	51	96	96	4,488

シ. 入所・短期利用状況

利用 状 況		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
		目数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	
入所利用延人数		2,048	2,073	2,092	2,175	2,136	2,067	2,115	2,046	2,085	2,087	1,946	2,127	24,997	24,842
短期利用延人数		215	204	232	199	230	226	238	249	257	219	222	250	2,741	2,457
1日平均人数		75.43	73.45	77.47	76.58	76.32	76.43	75.90	76.50	75.55	74.39	74.76	76.68	75.79	74.59
入所率(%)		94.29	91.81	96.83	95.73	95.40	95.54	94.88	95.63	94.44	92.98	93.45	95.85	94.73	93.49

ス. 入退所状況(人)

入 所		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
		家庭	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	
病院	1	0	3	0	0	0	1	1	1	1	0	2	0	10	2
他施設	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	6
合計		1	1	3	0	0	1	2	2	1	2	2	1	16	12
退 所	家庭	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
	病院	2	0	0	0	1	0	1	0	2	1	1	1	9	9
	他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	死亡	1	1	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	6	3
	合計	3	1	0	0	2	0	4	0	3	1	1	1	16	12

セ. 入所待機者状況(人)

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	0	0	0	0	3	4	0	7
女	0	0	0	0	13	7	3	23
計	0	0	0	0	16	11	3	30

ソ. 入所者・利用者減免状況

	入所減免額			(予防)短期減免額			合計 (円)
	通常減免		1件当平均 (円)	通常減免		1件当平均 (円)	
	件数	金額(円)		件数	金額(円)		
4月	8	147,340	18,418	1	6,264	6,264	153,604
5月	8	170,661	21,333	1	11,558	11,558	182,219
6月	8	165,008	20,626	1	10,694	10,694	175,702
7月	8	170,527	21,316	1	7,129	7,129	177,656
8月	7	142,837	20,405	1	3,564	3,564	146,401
9月	7	138,239	19,748	2	26,272	13,136	164,511
10月	7	142,837	20,405	2	24,361	12,181	167,198
11月	7	138,239	19,748	2	28,987	14,494	167,226
12月	8	171,228	21,404	1	18,878	18,878	190,106
1月	8	171,225	21,403	1	20,558	20,558	191,783
2月	8	160,191	20,024	1	13,436	13,436	173,627
3月	8	171,225	21,403	1	13,394	13,394	184,619
合計	92	1,889,557	20,539	15	185,095	12,340	2,074,652

(5) 苦情受付件数と主な内容

7 件				
部門	苦情申出者	内 容	第3者委員等の報告	結果
短期入所	利用者ご家族 (夫)	介護職員から、「あんたはダメな人だ、気持ち悪い人だ」と言われ、「訴えてやる」と言うと、「やれるものならやってみろ」と脅迫を受けたとの訴え。	無	解決
		対応策 ⇒ ご家族へ事実無根であることを説明した。職員の個人情報開示を求められたが、期待に応えることができない旨を説明し、了承をいただいた。		
入所	入居者ご家族 (長女)	口内炎が生じ食事形態を変更したが、治癒後も食事形態を戻さずに提供していたことにより、嚥下状態の悪化を招いたのではないかと訴え。	無	解決
		対応策 ⇒ 苦情を申し立てる意向はなく、あくまでも意見として受け止めて周知してほしいとの要望であったことから、内容について職員全体へ周知した。		
入所	入居者ご家族 (長男)	転倒による骨折事故があったが、施設側に過失があるため損害賠償として医療費を施設で負担し、事故発生時の報告書を開示して欲しいとの訴え。	無	解決
		対応策 ⇒ 施設側による保証、事故等発生状況報告書及び自己分析シートを開示することで、ご家族の意向に沿った結果により、納得された。		
短期入所	利用者様	看護職員が医療処置を施行した際の対応(ブツブツと何か言いながら包帯を巻いた)について憤慨したため話を聞いてほしいとの訴え。	無	解決
		対応策 ⇒ 内容を伺うとともに、職員の対応に不手際があったことについて謝罪したところ、了承をいただいた。		
入所	入居者様	就寝介助を希望のためケアコールで知らせたが、すぐに対応してもらえず30分間待たされたことに憤慨したため改善してほしいとの訴え。	無	解決
		対応策 ⇒ 事実確認をしたうえで、具体的な改善案を提示するとともに謝罪したところ、了承をいただいた。		
入所	入居者ご家族 (次女)	顔面に腫脹と変色を発見し連絡したが、状態から時間が経過しているにもかかわらず、すぐに連絡がなかったことに加え、原因追及してほしいとの訴え。	無	解決
		対応策 ⇒ 事故の詳細について情報開示し、了承をいただいた。		
短期入所	利用者様	朝食を配膳されていないことに職員が気づくまで時間を要したことに加え、配膳された食事が冷めていたことに憤慨したため話を聞いてほしいとの訴え。	無	解決
		対応策 ⇒ 謝罪するとともに、ご家族宛ての手紙に事実内容を記載した。後日、改めて家族へ連絡し謝罪したところ、事情を理解し了承をいただいた。		

(6) 介護事故件数

重大事故 (行政報告)		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車による事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	5	11	9	2	1	0	0	0	0	0	0	0	28
	短期	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	合計	7	12	10	2	1	0	0	0	0	0	0	0	32

事故 (施設内処理)		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車による事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	0	0	11	2	2	15	0	0	4	0	0	3	37
	短期	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	合計	0	0	13	2	2	15	0	0	4	0	0	4	40

ヒヤリ ハット		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車による事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	26	6	59	36	234	31	1	0	0	0	1	20	414
	短期	1	2	14	2	3	1	0	0	0	0	0	7	30
	合計	27	8	73	38	237	32	1	0	0	0	1	27	444

(7) 慰問・ボランティア状況

	名 前	内 容	来 所 日	延べ人数
学校関係	新型コロナウイルス感染症対策の観点から、受け入れしていない。			
個人				
クラブ関係				
理美容	ヘアースタジオ310	理美容	毎月第1・3火曜日	356 名
その他	新型コロナウイルス感染症対策の観点から、受け入れしていない。			
合 計			延べ人数(団体)	0 名
			〃 (個人)	356 名
			〃 合計	356 名

(8) 実習生受入れ状況

受入期間	人 数	受入日数	延べ人数	学 校 名	学 部 ・ 学 科	実 習 内 容
2023 . 4 . 11 ~ 2023 . 4 . 11	20	1	20	北海道公立大学法人札幌医科大学	保健医療学部	オンラインによる実習
2023 . 10 . 24 ~ 2023 . 11 . 24	2	22	44	専門北海道福祉・保育大学校	介護・社会福祉学科	施設内実習
合 計	22	23	64			

(9) 地域における公益的な取組(事例について自由記述)

施設の広報誌を回覧板に掲載 自動販売機売り上げに関する一部寄付(日本財団チャリティー)
--

手稲口一タス 指定居宅介護支援事業所

1. 重点推進課題の実施報告

手稲ロータス 指定居宅介護支援事業所

利用者様が望む生活の実現に向けて、利用者様の「自立」について、利用者様やご家族と一緒に考えるとともに、利用者様が望む生活を自らが選択し、続けられるよう、居宅介護サービス事業者とインフォーマルサービス提供者が一体となって支援する。

また、ご家族が抱える不安や悩みに共感しながら解決策を模索することで、ご家族が意欲的に在宅介護に向き合える環境を整える。

さらに、介護支援専門員が互いの知識や技術等を分かち合うことで、利用者様が望む生活の実現に向けて、より多くの観点からアプローチすることができるチーム作りを進める。

《重点推進課題》

1 利用者様と一緒に「自立」を追求し、個性が見えるケアプランづくりを進める

《基本方針 ①②》

利用者様がこれまで歩んできた人生を敬うとともに、介護支援専門員が、利用者様の「自立」について、利用者様やご家族と一緒に考えることにより、利用者様が望むこれからの生活スタイルを明確にすることで、自立支援の観点に基づくその人らしい在宅生活を送ることができる個性的なケアプランを作成する。

併せて、利用者様が望む生活を実現するため、より効果的にサービスの提供を受けることができるよう、多種多様な居宅介護サービス事業やインフォーマルサービスの情報収集と活用に努めるとともに、協力関係を一層促進させる。

【指標・評価方法】

利用者様とご家族と一緒に、「利用者様らしい生活」とは何かを深く考えるとともに、個性的な生活を可能な限り実現・継続するうえでの課題解決を踏まえて、利用者様がご自分で選択し、実践できるケアプランを作成する。

また、各種サービスを有効的に活用するため、居宅サービス事業やインフォーマルサービスに関する情報収集に努めることにより、サービスの選択肢をより多く持つことで得られる個別性を目指すとともに、日常的に居宅サービス事業者との連携を図ることにより、利用者様の日々の変化や、生活課題の早期把握に努める。

【結果】

- ① 利用者様、ご家族ごとに相談を受け、必要に応じた情報提案を行い、適切なサービス提供を受けられるようケアプランに落とし込み、反映できるよう努めた。介護サービス事業や社会資源については地域包括や他専門職やサービス事業者からの情報収集に努め、事業所内で共有を行った。
- ② アセスメントに基づき支援の必要性やケアの体制を立案し、利用者様とご家族が理解しやすく取り組みやすい内容になるよう、ケアプランを作成した。

2 ご家族が抱く、在宅介護の悩みや不安を解消し、利用者様を共に支えていく

《基本方針 ②》

ご家族が抱える、在宅介護に関する「不安」や「悩み」に共感し、その解決に向けて、ご家族と共に考えていくことで、ご家族が穏やかな気持ちで在宅介護を継続することができるようにサポートする。

【指標・評価方法】

在宅介護に関するご家族の「不安」や「悩み」を把握するために、定期的な訪問のほか、ご家族への電話連絡やご家族と面談の機会を持つことに加え、ご家族の生活スタイル等を考慮したうえで、情報交換のために最適なコミュニケーションツールを模索し、活用することにより、不安や悩みの早期発見と共感に努める。

また、面談等の機会にご家族が遠慮してしまうため伝わらない「想い」(不安・悩み)を把握する手段の一つとして、アンケートを実施するとともに、抽出されたご家族の不安や悩みに対する解決策の情報提供や提案を行う。

【結果】

- ① 面談や電話での相談に加え、メールや LINE を活用することで、利用者様やご家族が時間帯などを気にせず相談出来る環境を維持できた。また難聴や物忘れのある利用者様からは「文章で連絡を取れることが安心につながる」と満足に繋がった。
- ② 2023年度アンケートは実施していないが、2022年度のアンケート結果を活かしご家族の不安や悩みに対し、共に解消するための提案等を行った。

3 地域の関係機関などとの関係性の構築と、地域に求められる事業所の基盤をつくる

《基本方針 ③》

地域包括支援センターや医療機関等との関係性を深めることにより、各々が持つ社会資源の情報を収集するほか、研修会などの機会を通じて、社会資源や地域が抱える生活課題に関する情報共有を図り、利用者様の支援に生かしていく。

また、地域住民を対象とした「介護相談窓口」を継続的に開設することにより、地域住民との接点を増加させるなどして、地域が求める介護相談の拠点づくりの基盤をつくる。

【指標・評価方法】

地域包括支援センターや医療機関等の関係機関と、日常的な関わりを通じて、互いの関係性を深めながら、利用者様の日常生活を支えていくために必要な社会資源に関する情報の収集に努める。

また、2022年度内に実施した地域住民対象の電話等による介護相談窓口の開設を継続するとともに、当事業所に併設する介護老人福祉施設や法人内の関係事業所との連携をさらに強化し、地域が求める介護相談に関する拠点事業所としての基盤づくりを進める。

【結果】

- ① 地域包括支援センターからのケース相談を受けたことや、入退院時の医療機関との連携により地域の医療機関からの相談を受ける機会が増えたことから、関わりが深まっていると考える。
- ② 地域住民(暁第3町内会)を対象とした電話相談窓口は2024年2月10日、3月16日に開設する。回覧板を通して情報を発信したが、相談には繋がらなかった。今後の実施方法について検討を行う。

4 利用者様の「想い」を実現できるチームを目指す

《基本方針 ①④》

利用者様が望む生活を可能な限り実現することを目指し、介護支援専門員が互いの知識や技術、経験を分かち合うことで、チーム全体のスキルアップにつなげる。

同時に、各々が事例検討会や施設内研修のほか、インターネット環境による研修に積極的に参加するなど、専門的知識や技術を学ぶ機会を継続的に持ち、専門職としてのスキルアップに努める。

【指標・評価方法】

利用者様の「想い」を聴き取り、実現することができるよう、事業所内外の研修の機会を通じて、着実に介護支援専門員としてのスキルアップを目指す。

また、介護支援専門員がそれぞれの経験だけに左右されず、利用者様へ公正・公平にサービスが提供できるよう、日々の情報交換や会議等において、互いの経験や知識及び技術を共有するとともに、チーム全体で、事例の振り返りを行う。

【結果】

- ① 事業所内研修、事業所外研修などに積極的に参加し自己研鑽に努めた。また制度改正もあるため、内容の把握に努め、事業所内で共有し適切な業務遂行が出来るように努めた。
- ② 居宅会議を通し、担当ケースについて相談し、処遇方法や改善方法について検討する事でスキルアップに繋がった。

2 居宅介護支援の運営

(1) 事業所の開設

居宅介護支援事業所の設置については、令和2年7月22日付で札幌市長に対し指定許可申請を行い、令和2年9月1日付けで、介護老人福祉施設手稲ロータスの併設事業として開設した。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称 手稲ロータス指定居宅介護支援事業所
施設 の 所 在 地 札幌市手稲区稲穂3条6丁目7番5号
施設 の 種 類 居宅介護支援事業所

(2) 施設職員の配置状況 2024.3.31 現在

		管 理 者	主任 介護 支援 専門 員	介 護 支 援 専 門 員	計
居 宅	現 員 (人)	1	2 (1)	0 (0)	3

※1 ()は兼務。○は非常勤の内数。

※2 基準配置については標記困難な為、現員についてのみ掲載。

(3) 居宅介護支援事業所 相談実件数及び相談内容

2024.3.31 現在

電話	来所	訪問	合計
1,500 件	24 件	1,300 件	2,824 件

介護保険関係						合計
制度全般	認定申請	在宅サービス	施設サービス	保険・利用料等	相談・苦情	
80 件	5 件	850 件	72 件	9 件	90 件	1,106 件

地域・福祉・医療関係						合計
高齢者福祉	障害制度	通院・入退院	介護予防	地域支援	その他	
0 件	5 件	72 件	19 件	0 件	60 件	156 件

(重複掲載)

(4) 介護度別 居宅介護サービス計画作成状況

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	前年合計
4月	0.0 件	1.5 件	6.5 件	30 件	34 件	11 件	2 件	2 件	87.0 件	40 件
5月	0.0 件	2.0 件	8.0 件	29 件	32 件	13 件	2 件	3 件	89.0 件	45 件
6月	0.0 件	2.0 件	8.0 件	32 件	34 件	12 件	3 件	2 件	93.0 件	52 件
7月	0.0 件	1.5 件	8.5 件	37 件	36 件	10 件	6 件	1 件	100.0 件	58 件
8月	0.0 件	0.5 件	8.5 件	42 件	34 件	11 件	5 件	3 件	104.0 件	59 件
9月	0.0 件	0.5 件	8.5 件	42 件	34 件	12 件	4 件	2 件	103.0 件	63 件
10月	0.0 件	0.5 件	9.0 件	40 件	39 件	13 件	4 件	2 件	107.5 件	65 件
11月	0.0 件	1.0 件	9.5 件	41 件	36 件	11 件	4 件	1 件	103.5 件	72 件
12月	0.0 件	1.0 件	9.5 件	45 件	32 件	10 件	4 件	2 件	103.5 件	73 件
1月	0.0 件	1.0 件	9.5 件	45 件	30 件	13 件	3 件	1 件	102.5 件	72 件
2月	0.0 件	1.5 件	9.5 件	42 件	29 件	11 件	2 件	1 件	96.0 件	69 件
3月	0.0 件	1.5 件	9.5 件	40 件	28 件	11 件	1 件	1 件	92.0 件	74 件
合計	0 件	14.5 件	104.5 件	465 件	398 件	138 件	40 件	21 件	1,181 件	742 件

(5) 苦情受付件数と主な内容

1 件		2023/4/1 ~ 2024/3/31		
部門	苦情申出者	内 容	第3者委員等の報告	結果
居宅	ご家族(長男)	<p>2023年4月19日、「連絡が遅い、ショートステイ先を探してもせず、入院を勧められた等」、きちんとした説明が欲しい。との内容にて、運営適正化委員会から苦情受付したとの連絡。また、2024年2月21日には、札幌市介護保険課から同内容にて長男から入電があったため、内容の確認を求められた。</p> <p>対応策 ⇒ 運営適正化委員会の実態調査に協力し、適切に回答を行った。また、札幌市へも同様に、運営適正化委員会への実態調査等、一連の関りへの説明を行った。</p>	なし	解決

(6) 介護事故件数

2023/4/1 ~ 2024/3/31

	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
居宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※事故に至っていない「ヒヤリ・ハット」を含む件数を計上しております。

(重複掲載)

(7) 地域における公益的な取組

暁第3町内会を対象とした電話相談窓口の開設 自動販売機売り上げに関する一部寄付(日本財団チャリティー)	
--	--

老 健 手 稻

介護老人保健施設 手稲あんじゅ
手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所
手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

1 重点推進課題の実施報告

(1) 介護老人保健施設 手稲あんじゅ

多様化するニーズへの対応も求められている介護老人保健施設として、ICT の活用により業務の効率化を図り、ケアの充実化や新しい取り組みを進めている。

感染予防対策により、入所者様の心身機能への影響もあるなかで、準備を進めてきた口腔衛生に関わる取り組みも含め、個別ケアの一層の充実を進めていきたい。

また、次期介護報酬改定を見据えて情報収集を行い、手稲あんじゅとして今後の在宅復帰支援の在り方や地域ニーズを踏まえた方向性の検討を進めていく。

《重点推進課題》

1 LIFE（科学的介護情報システム）の運用 《基本方針 ①④》

科学的介護推進体制加算を取得し、継続した運用のなかで情報共有とケアの統一化を図る。また、次期介護報酬改定を見据え、その他の加算取得への取組や今後の展開について、施設全体や地域のニーズと照らして検討を行っていく。

【指標・評価方法】

- ① 上半期に、科学的介護推進体制加算(Ⅱ)を算定する。
- ② 下半期に、LIFE運用状況の確認と今後の取組について検討を行う。

【結果】

科学的根拠に基づくケアの提供体制を構築するため、LIFEに関連する「科学的介護推進体制」に加えて、「口腔衛生管理」及び「リハビリテーションマネジメント」に係る加算を新規に算定することができた。このことにより、フィードバック情報から可視化される当施設のケア等の傾向を、各専門職間で検証するとともに施設サービス計画等を見直す機会が持てたほか、ケア以外においても、職員に実施根拠を持続的に意識させ、業務の見直しに向けた取組みを始めるきっかけとなった。

また、サービスの質と量を安定的に提供するため、事故防止等のケアに係る委員会が主体的に運営されるよう、各委員会に当該年度内に実行する取組内容と明確な目標を設定させる等、既存の委員会の体制を大幅に見直した。この結果、これまでに比べて各専門職間における意見交換が増えて、職員間のコミュニケーションの拡充につながった。

さらに、適切な「待遇」の定着を目的に、全ての職員が「ホスピタリティ」による「心」を具現化させるケアの基本的な姿勢・行動の指針を定めたマニュアル整備のほか、待遇に関する外部講師による研修や内部研修を実施した。

2 情報の一元管理と口腔衛生に関する取組みによるケア内容の充実

《基本方針 ①》

口腔衛生管理加算算定のための取組から得られる情報を活用することにより、アセスメントやケア内容を充実させ、食やコミュニケーションに関わる QOL の維持向上を支援していく。

【指標・評価方法】

- ① 上半期に、口腔衛生管理加算(Ⅱ)を算定する。
- ② 下半期に、口腔衛生管理体制の定着と個別ケースに合わせた情報共有を行う。

【結果】

前項のとおり、「口腔衛生管理」に係る加算の算定に当たり、新たに歯科医師及び歯科衛生士との連携が図れる体制の基盤を構築した。このことにより、定期的に入所(利用者)様の口腔内の評価が行われ、専門家からの助言及び指導を受けた介護職員による口腔ケアの実践と、義歯の不具合や歯周病等の早期発見につながった。

また、口腔衛生向上委員会の新規立ち上げ、歯科医師及び歯科衛生士による研修会の実施等をとおして、口腔衛生管理に関する知識及び技術の学びから口腔ケアの重要性の理解を深める機会をつくった。

さらに入所(利用者)様の経口摂取の維持や誤嚥予防に関する食事環境の見直し等について、次年度に続く解決すべき課題として取組みを開始している。

(2) 手稲あんじゅ（介護予防）通所リハビリテーション事業所

利用者様の高齢化や身体レベルの低下等を考慮しながら、「いつまでも住み慣れた場所で過ごしたい」という利用者様の気持ちに寄り添い、感染予防対策の中でも楽しみを持ってリハビリテーションや運動、デイケアでの活動に取り組めるよう支援していく。

《重点推進課題》

1 楽しみをもって活動できるプログラムの実践と評価 《基本方針 ①②》

利用者様本人が運動やリハビリテーションが「楽しい」と思えるような、プログラムの作成と実践、評価を行っていく。

【指標・評価方法】

心身機能の評価をもとに 3 か月ごとのケアカンファレンスを継続し、「各々に合ったプログラムであるのか」「楽しみをもって活動できているのか」等、プランの確認と見直しを行う。その際、利用者様本人の思いを最大限に汲み取り、ご家族、居宅介護支援事業所等と情報共有を行い「楽しみながら頑張る」気持ちをプログラムへ反映させていく。

【結果】

利用者様が持つ具体的なニーズを把握し、当事業所が提供できるサービスの発掘と充実に図るため、全利用者様を対象に、「興味・関心チェックシート」による聴き取りを行い、「上半身の運動がしたい」、「(外出できるように)もっと歩く距離を長くしたい」等の具体的に抽出されたニーズをサービスに反映し、通常行っている「歩行練習」や「体操」の内容を工夫した。加えて、利用者様が楽しく運動し続けることができるよう、カラオケメーカーが提供する「身体及び認知機能」を刺激する運動プログラムを新たに導入した。この結果、導入前と比べて利用者様が積極的、かつ笑顔で体操に参加することが大幅に増えた。また、新型コロナウイルス感染症からの感染予防対策のために停止していたカラオケ等の趣味的活動を再開させ、利用者様同士の交流拡大に努めた。

さらに、ご家族との情報共有が迅速、かつ密接に行うことができる環境を整えるほか、当事業所の効率的作業の推進を目的に、コミュニケーションツール(LINE(ライン))等を開設した。この結果、当事業所がご家族と身近な関係を築ききっかけとなり、「これまで聴き取りできなかった情報を得る」、「利用中の様子を撮った視覚的情報を提供する」等、共有する情報の充実に図ることができた。このほか、当該年度内に実施したサービス満足度の調査から得た、ご家族が抱える在宅介護における介護方法の悩みに対して、解決方法を提案する等、ご家族との関係性を大切にする事業所づくりに注力した。

また、他の居宅介護支援事業所との連携を強化するために、居宅介護支援事業所に出向き、当事業所の特色やサービス内容をプレゼンテーションする機会を創った。

(3) 手稲あんじゅ（介護予防）訪問リハビリテーション事業所

利用者様が可能な限り、その居宅や地域において、その有する能力に応じ自立した日常生活を目指すため、心身機能の維持や改善のみではなく、「活動」や「社会参加」などにも働きかけた支援を展開していく。

《重点推進課題》

1 退院退所後の利用者様に対して充実した自宅生活支援の提供

《基本方針 ①②》

退院退所直後で自宅に戻ったばかりの利用者様に対して、ご本人、ご家族の課題を速やかに抽出し、適切なサービスを提供する。把握した課題に関しては、ケアマネジャーや他事業所との情報共有を図る。また、必要に応じて多職種（PT、OT、ST）での介入を検討する。

【指標・評価方法】

老健、通所のリハビリ職員の配置、担当の体制を見直すことにより、訪問リハビリに多職種が必要に応じて介入できるようにする。また、居宅介護支援事業所や病院に対し、多職種での受け入れ可能状況等の情報伝達を定期的に行っていく。

【結果】

利用者様が持つニーズに応じて、幅広い（理学療法、作業療法、言語療法）サービスの提供を可能とする体制を整えたことにより、摂食嚥下等への専門的なりハビリテーションが提供できる環境となり、居宅介護支援事業所への訪問を通じて、当事業所の認知度の普及とともに、定期的な新規利用者の獲得につながった。

さらに、利用者様がイメージする「なりたい自分」に近付くことができるよう、緻密な居宅環境のアセスメントを行い、利用者様及びご家族と一緒に考えた目標をケアマネジャーと共有しながら、効果的なりハビリテーションの提供に努めた。

2.介護老人保健施設の運営

(1)施設の開設

第二種社会福祉事業としての老人施設の設置については、介護保険法第94条の第1項の規定にもとづき、平成9年4月28日付けで北海道知事に対し設置許可申請を行い、平成9年5月23日付けで許可を受けた。

平成9年6月1日付けで「老人保健施設事業開始届」を北海道知事に提出し受理された。平成10年4月1日から直接処遇職員の配置を3.6:1から3:1とした。併せて、デイケア利用定員を20名から32名とした。また、平成15年4月15日付けで訪問リハビリテーション事業所を開設した。

平成18年4月1日より介護保険制度の改正に伴い居宅系サービスについては予防事業を開設した。

平成27年10月1日よりデイケア利用定員を32名から37名とした。

平成28年5月1日より通常サービス提供時間の他に3時間以上4時間未満の短時間デイケアを開始した。

平成28年8月1日より介護老人保健施設における「在宅復帰・在宅療養支援加算」を算定した。

令和3年4月1日より短時間デイケアを廃止し、通常サービス提供時間のみデイケア定員37名とした（短時間利用者は、通常サービス提供時間内での対応とした）。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称	介護老人保健施設 手稲あんじゅ
施設 の 所 在 地	札幌市手稲区稲穂5条2丁目6番1号
施設 の 種 類	介護老人保健施設 (介護予防)短期入所療養介護 (介護予防)通所リハビリテーション (介護予防)訪問リハビリテーション
入 所 定 員	90名(うち、(介護予防)短期入所療養介護空床利用)
通 所 定 員	37名(1日当たり)

(2)施設職員の配置状況

2024/3/31 現在

		施 設 長	医 師	事 務 長	事 務 員	支 援 相 談 員	介 護 職 員	看 護 職 員	管 理 栄 養 士	リ ハ ビ リ 職 員	介 護 支 援 専 門 員	薬 剤 師	介 護 ア シ ス タ ン ト	介 助 員	運 転 手 ・ 用 務 員	夜 間 警 備 員	調 理 員	計	
入 所	基準数 (人)	1	1			1	21	9	1	1	1	1							37
	現員 (人)	1	(1)	1	1	5	37 ⑬	10 ②	1	9 ①	(5)	委 託	1 (1)①	4 ④	1 ①	4 ④	委 託	75 ⑳	
通 所	基準数 (人)	1	1				5			1	1								9
	現員 (人)	(1)	(1)			1	9 ③	2 ①		(8)	(3)		1 ①		1 ①		委 託	14 ⑥	
訪 問 リ ハ	基準数 (人)	1	1							1									3
	現員 (人)	(1)	(1)							(8)									0

* ()は兼務。○は非常勤の内数。

(3)行事实施状況表

(入所・短期)

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	15日	歌を楽しむ会	3階談話室	43名
	19日	歌を楽しむ会	2階食堂	38名
	24日～26日	桜湯の日	浴室	82名
5月	5日	お茶会	3階談話室	44名
	7日	お茶会	2階食堂	37名
	19日	テラスでガーデニング	3階テラス	44名
6月	1日	手稲あんじゅ開設26周年記念式典	2階食堂 3階談話室	81名
	21日	テラスでシャボン玉	2階テラス	38名
7月	11日	テラスでシャボン玉	3階テラス	42名
	17日～19日	薄荷湯の日	浴室	79名
	21日	テラスで焼きいもシェイク	3階テラス	41名
	26日	テラスでアイスクリーム	2階食堂	38名
8月	2日	花火大会	2階テラス	38名
	2日	スイカ割り	2階食堂	38名
9月	8日	ソフトクリームの日	2階食堂 3階談話室、駐車場	83名
	18日	敬老祝賀会	2階食堂 3階談話室	80名
10月	20日	スポーツ大会	3階談話室	41名
	23日～25日	リンゴ湯の日	浴室	81名
11月	19日	のど自慢大会	3階談話室	43名
	22日	おやつレク	2階食堂	43名
	24日	おやつレク	3階談話室	44名
	29日	のど自慢大会	2階食堂	43名
12月	26日	忘年会	2階食堂、談話室 3階談話室	86名
1月	2日	お正月遊び	2階食堂	42名
	3日	お正月遊び	3階談話室	40名
	15日～17日	みかん湯の日	浴室	84名
2月	3日	節分の豆まき	2階食堂 3階談話室	84名
	21日	2階スポーツ大会	2階食堂	40名
	23日	3階スポーツ大会	3階談話室	43名
3月	3日	ひな祭り	2階食堂、談話室 3階談話室	84名
	18日～20日	ひのきの湯	浴室	87名

(通所)

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	20日～26日	お花見ドライブ	札幌市手稲区前田(軽川近辺)	37名
	25日	変わり湯の日(桜湯)	浴室	13名
	24日～29日	誕生祝い週間	デイケアルーム	7名
5月	25日～31日	誕生祝い週間	デイケアルーム	4名
6月	1日	開設記念の日	デイケアルーム	20名
	5日	10年継続利用のお祝い	デイケアルーム	1名
	24日～30日	誕生祝い週間	デイケアルーム	5名
7月	17日～20日	変わり湯の日(ハッカ湯)	浴室	63名
	25日～31日	誕生祝い週間	デイケアルーム	5名
8月	14日～19日	夏祭り週間	デイケアルーム	117名
	25日～31日	誕生祝い週間	デイケアルーム	7名
9月	16日～18日	敬老のお祝い(賀寿対象者)	デイケアルーム	5名
	25日～30日	誕生祝い週間	デイケアルーム	6名
10月	9日～14日	レクリエーション大会	デイケアルーム	131名
	25日～30日	誕生祝い週間	デイケアルーム	5名
	23日～25日	変わり湯の日(りんご湯)	浴室	50名
11月	24日～30日	誕生祝い週間	デイケアルーム	3名
12月	19日～25日	クリスマス週間	デイケアルーム	110名
	23日～24日	クリスマスコンサート(ウクレレボランティア ハーブの風)	デイケアルーム	38名
	25日～30日	誕生祝い週間	デイケアルーム	4名
1月	15日～17日	変わり湯の日(みかん湯)	浴室	36名
	25日～31日	誕生祝い週間	デイケアルーム	4名
2月	23日～29日	誕生祝い週間	デイケアルーム	6名
3月	18日～20日	変わり湯の日(ひのきの湯)	浴室	51名
	25日～30日	誕生祝い週間	デイケアルーム	8名

(4) 利用者の状況

2024.3.31 現在

ア. 年齢別構成状況(人)

	未満 5 64	65 5 69	70 5 74	75 5 79	80 5 84	85 5 89	90 5 94	95 以上	合計	最低 年齢	最高 年齢	平均 年齢	前年 平均
男	0	2	2	1	3	4	3	1	16	68	96	83.1	80.9
女	0	0	0	2	10	18	19	19	68	76	105	90.5	90.7
計	0	2	2	3	13	22	22	20	84			86.8	85.8

イ. 要介護度別利用者状況(延人数)

性別	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均	前年平均
男	0	815	1,115	2,469	571	4,970	3.56	3.35
女	3,088	3,907	6,266	8,092	2,564	23,917	3.13	3.01
計	3,088	4,722	7,381	10,561	3,135	28,887	3.20	3.05

ウ. 介護保険者別構成状況(人)

	札幌市								石狩市	小樽市	余市町	江別市	新得町	小清水町	後志広域	当別町	合計
	北	厚別	白石	西	東	中央	南	手稲									
男	0	0	0	1	1	0	1	10	0	2	1	0	0	0	0	0	16
女	0	1	1	7	0	2	0	47	0	4	1	1	1	1	1	1	68
計	0	1	1	8	1	2	1	57	0	6	2	1	1	1	1	1	84

エ. 入所者所得段階(人)

	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	合計
男	0	0	6	10	16
女	6	14	30	18	68
計	6	14	36	28	84

オ. 健康保険加入状況(人)

	後期高齢者医療制度	国民健康保険	社会保険	組合健康保険	生活保護	合計
男	13	3	0	0	0	16
女	63	1	0	0	4	68
計	76	4	0	0	4	84

カ. 在所者利用期間別構成状況(人)

	1年未満	1~2	2~3	3~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	9~10	10年以上	合計
男	12	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	16
女	39	11	6	1	3	4	2	0	0	0	2	68
計	51	14	6	1	3	5	2	0	0	0	2	84

キ. 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
男	0	0	2	2	3	1	8	0	0	16
女	0	1	1	10	18	14	19	3	2	68
計	0	1	3	12	21	15	27	3	2	84

ク. 認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	合計
男	1	1	1	5	5	1	2	0	16
女	1	4	4	14	19	1	25	0	68
計	2	5	5	19	24	2	27	0	84

ケ. 栄養関係加算状況(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
栄養ケアマネジメント加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

コ. 通院状況(延人数)

	内科	精神科	循環器科	呼吸器科	外科	整形外科	形成外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻科	肛門科	合計
男	2	0	4	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	11
女	15	3	8	1	0	19	0	9	6	2	0	3	14	0	80
計	17	3	12	2	0	19	0	13	6	2	0	3	14	0	91

(重複掲載)

サ. 往診状況(延人数)

	内科	歯科	眼科	皮膚科	合計
男	0	82	0	0	82
女	0	161	0	0	161
計	0	243	0	0	243

(重複掲載)

シ. リハビリ実施状況(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
短期集中リハビリ	172	242	228	189	180	214	335	373	315	155	140	157	2,700
認知症短期集中リハビリ	21	65	78	95	74	62	106	131	115	71	68	65	951
合計	193	307	306	284	254	276	441	504	430	226	208	222	3,651

ス. 入所・短期利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
利用状況	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	365
入所利用延人数	2,333	2,326	2,250	2,387	2,467	2,275	2,387	2,478	2,608	2,514	2,305	2,557	28,887	25,969
短期利用延人数	82	172	140	86	94	165	163	108	70	83	102	120	1,385	472
1日平均人数	80.50	80.58	79.67	79.77	82.61	81.33	82.26	86.20	86.39	83.77	83.00	86.35	82.71	72.44
入所率(%)	89.44	89.53	88.52	88.64	91.79	90.37	91.40	95.78	95.99	93.08	92.22	95.95	91.90	80.49

セ. 入退所状況(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計	
入所	家庭	4	7	7	4	4	7	11	7	4	4	3	6	68	35
	病院	1	4	2	3	3	3	4	5	2	5	3	3	38	37
	他施設	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	合計	5	11	10	8	7	10	15	12	6	9	6	9	108	74
退所	家庭	7	7	6	3	4	8	7	3	6	3	5	3	62	32
	病院	2	3	4	1	3	6	4	2	4	4	3	1	37	37
	他施設	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	5	2
	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	9	12	10	4	8	14	11	5	11	7	9	4	104	71

ソ. 入所待機者状況(人)

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0

タ. 入所者・利用者減免状況

	入所減免額			(介護予防)短期入所減免額			(介護予防)通所減免額			合計 (円)
	通常減免		1件当平均 (円)	特別減免		1件当平均 (円)	特別減免		1件当平均 (円)	
	件数	金額(円)		件数	金額(円)		件数	金額(円)		
4月	3	120,050	40,017	0	0	0	44	102,111	2,321	222,161
5月	3	124,050	41,350	0	0	0	49	126,675	2,585	250,725
6月	3	120,050	40,017	0	0	0	56	115,670	2,066	235,720
7月	3	124,250	41,417	0	0	0	51	132,222	2,593	256,472
8月	3	124,350	41,450	0	0	0	54	150,654	2,790	275,004
9月	4	160,110	40,028	0	0	0	52	155,703	2,994	315,813
10月	6	207,640	34,607	0	0	0	56	148,516	2,652	356,156
11月	5	201,590	40,318	0	0	0	52	133,250	2,563	334,840
12月	5	207,560	41,512	0	0	0	53	137,010	2,585	344,570
1月	5	207,850	41,570	0	0	0	51	122,534	2,403	330,384
2月	5	193,460	38,692	0	0	0	47	128,934	2,743	322,394
3月	5	208,980	41,796	0	0	0	50	120,872	2,417	329,852
合計	50	1,999,940	39,999	0	0	0	615	1,574,151	2,560	3,574,091

チ. (介護予防)通所実施状況

	登録人数	開放日数	利用人員	一日平均人数	利用率(%)	介護度別延べ人数(人)							サービス状況(回)							
						要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	入浴介助加算1	中重度者ケア体制	食事	リハマネ加算	短期集中個別リハ	運動機能向上加算	送迎減算	
4月	66	25	394	15.76	52.54	0	50	73	117	76	62	16	228	344	394	0	0	0	0	1
5月	70	27	487	18.04	64.94	0	64	112	121	102	68	20	351	423	487	0	0	0	0	3
6月	76	26	437	16.81	58.27	2	60	90	112	87	66	20	323	375	437	0	1	0	0	2
7月	74	26	505	19.43	67.34	4	64	104	146	95	76	16	369	367	505	0	0	0	0	4
8月	74	27	521	19.30	69.47	4	73	107	131	103	76	27	370	444	521	0	4	0	0	2
9月	79	26	531	20.43	70.80	5	72	113	126	103	76	36	396	454	531	0	14	0	0	1
10月	77	26	503	19.35	67.07	3	80	99	124	106	66	25	339	420	503	0	16	0	0	2
11月	76	26	467	17.97	62.27	3	78	107	98	92	78	11	331	386	468	0	9	0	0	4
12月	74	26	470	18.08	62.67	4	75	110	106	103	71	1	359	376	470	0	10	0	0	3
1月	72	24	432	18.00	57.60	1	69	103	95	103	61	0	322	362	432	0	11	0	0	1
2月	73	25	462	18.48	61.60	2	77	106	114	89	74	0	360	383	462	0	15	0	0	2
3月	77	26	503	19.35	67.07	1	105	120	112	89	71	5	367	397	503	0	16	0	0	4
合計		310	5,712	18.43	63.47	29	867	1244	1402	1148	845	177	4,115	4,731	5,713	0	96	0	0	29
前年合計		273	4,986	18.27	55.40	30	484	939	1737	737	909	150	3,587	4,470	4,990	0	0	0	0	19

※1.利用率は通常規模の上限(750名/月)を基に計上しています。
 ※2.大雪による交通障害のため、1日間(1月16日(火))は事業を停止しました。

ツ. (介護予防)訪問リハビリテーション実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数 ()内は予防	6 (0)	4 (0)	7 (0)	8 (0)	8 (0)	7 (0)	7 (0)	5 (0)	5 (0)	4 (0)	3 (0)	4 (0)	68 (0)
延べ人数	47	47	63	80	75	62	60	46	42	29	34	54	639
前年延べ人数	20	18	27	26	28	18	36	9	23	35	36	50	326

(5) 苦情受付件数と主な内容

8 件				第3者委員等の報告	結果
部門	苦情申出者	内 容			
入所	ご家族	服用しないようにしていた内服薬を、なぜ本人に服用するか確認したのか。内服薬の間違いは生命に関わることで、きちんと職員間で伝達及び対応してほしい。 対応策 ⇒ 記録システムには具体的な記録をするともに、伝達事項は必ず「申し送り」の機能を使用することとした。また、服薬に関するマニュアルの見直しを行った。		なし	解決済み
入所	ご家族	利用者様の身元引受人及び連帯保証人が次女になっており、次女の許可が無ければ退所させられないことに納得ができない。 対応策 ⇒ 次女に経過を報告する。その後、夫、次女、長女による当該入所者の今後の方向性について話し合いを行い、家族間で入所継続の合意を行った。		なし	解決済み
入所	ご家族	転倒による骨折で入院となったが、転倒についての状況の説明と謝罪が無かった。また、病院に同行した当施設の看護職員から「入院になると退所になる」と言われた。 対応策 ⇒ 事故の状況説明を看護職員のみとせず、支援相談員からも今後の方向性や、詳細な説明を行うこととした。		なし	解決済み
入所	ご家族	あんじゅ通信の写真を見たら、髭が伸びていて酷い状態であった。面会も年単位で行えていないため、適切なサービスが提供されていないのではないかと心配であった。 対応策 ⇒ 業務スケジュールの見直しを行い、髭剃り等、必要な整容を確実に実施する体制を構築した。また、適宜、ご家族に近況報告を行うこととした。		なし	解決済み
通所リハビリ	利用者様	入浴の際に、脱衣室で裸の状態でご待たされた。また、後から来た他の利用者様が先に浴室に案内されて、順番を抜かされた。 対応策 ⇒ やむを得ずお待たせする際には、バスタオルを肩から掛けるよう配慮するとともに、どの程度お待たせするか説明をする。また、順番が変更する際にも、その理由とともに説明する。		なし	解決済み
通所リハビリ	利用者様及びご家族	サービス利用中に介護職員からの不適切な言葉がけをされ、不快な思いをした。 対応策 ⇒ 該当職員への個別指導を行った。また、部署内で適切な接遇を実施できるように周知した。		なし	解決済み
訪問リハビリ	利用者様及びご家族	訪問リハビリの予定時間になっても担当リハビリ職員が自宅に来ないため、事業所に電話をしたところ、担当リハビリ職員が利用者様のマンションの駐車場でご寝過ごし、訪問予定時間から40分間遅刻した。 対応策 ⇒ 担当リハビリ職員から利用者様及びご家族に謝罪するとともに、統括リハビリ主任から電話でご家族に謝罪した。ご家族は謝罪内容に納得されている		なし	解決済み
訪問リハビリ	利用者様及びご家族	サービスに関する契約書等の説明は、利用者様ご本人ではなく、ご家族(長男)にして欲しいと伝えていたが、重要事項説明書の内容変更に関する説明と署名及び捺印の依頼をご本人にしたことに対して、ご本人とご家族が憤慨した。 対応策 ⇒ 長男に電話とメールで謝罪したが、長男の意向で、本人には直接に謝罪することはできなかった。		なし	解決済み

(6) 介護事故件数

重大事故 (行政報告)		誤嚥 (誤飲・誤食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車による事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	33	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	39
	短期	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	33	4	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	41

事故 (施設内処理)		誤嚥 (誤飲・誤食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車による事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	6	0	78	22	0	0	0	0	0	0	0	5	111
	短期	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	3	79	23	0	0	0	0	0	0	0	5	116	

ヒヤリハット		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	46	6	134	44	17	6	22	0	16	0	1	24	316
	短期	1	0	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	9
	通所リハ	5	1	6	2	8	5	0	0	0	1	0	63	91
	訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	52	7	147	46	25	12	22	0	16	1	1	87	416

(7) 慰問・ボランティア状況

	名前	内容	来所日	延べ人数	
団体				0名	
個人				0名	
慰問関係	ウクレレ倶楽部ハーブの風	ウクレレの演奏と歌唱	2023.12.22、2023.12.23 (2日間)	6名	
合計				延べ人数(団体)	0名
				〃 (個人)	0名
				〃 (慰問)	6名
				〃 合計	6名

(8) 実習生受入れ状況

受入期間	人数	受入日数	延べ人数	学校名	学部・学科	実習内容
2024.6.13～2024.6.16	1	4	4	専門学校北海道福祉・保育大学校	介護福祉学科	コミュニケーション等
2024.8.3～2024.8.3	6	1	6	北海道医療大学	理学療法学科	1年次見学実習
	7	5	10			

(9) 地域における公益的な取組

<p><地域支援活動></p> <ul style="list-style-type: none"> 積雪により、施設周辺の歩道が歩行できなくなることから、地域の通学(勤)者が安全に歩行ができるよう、歩道の除雪作業を実施した。 路面凍結による車両事故を予防するために、当施設近隣の車道にすべり止めの砂まきを実施した。 <p>※ 新型コロナウイルス感染症からの感染予防対策の実施に伴い、地域住民との交流活動は中止した。</p>
--

在 宅 手 稻

(介護予防)認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう

1. 重点推進課題の実施報告

(介護予防) 認知症対応型共同生活介護事業所 手稲ゆうゆう

入居者様が手稲ゆうゆうで継続的に暮らしていくために、日常で楽しみにしている食事と日々の運動を通して、健康で充実した生活が送れるように支援します。

《重点推進課題》

1. 健康保持及び重度化予防

《基本方針 ①②》

入居者様が笑顔で健康に暮らせるよう、入居者様個々人の疾病を理解し、心に寄り添ったケアを実施する中で、体調変化を見落とすことがないよう、早期発見に努める。

また、運動及び食事摂取、睡眠状況等の観察を継続し、健康保持を図る。

【指標・評価方法】

- ① ご家族、訪問診療医と情報を共有し、病気を早期発見する。
- ② 管理栄養士が作成した献立により、栄養バランスの摂れた食事を提供する。
- ③ 感染症予防対策を継続しながら、状況に合わせた BCP の作成及び見直しを図る。
- ④ 日々の体操や入居者様一人ひとりに合わせた運動を行って、体力を維持する。
- ⑤ LIFE を活用(フィードバック)して、自立支援及び重度化防止に取り組む。
- ⑥ 新型コロナウイルス禍で中止していた外出行事を再開する。

【結果】

- ① 毎月の訪問診療内容を定期便りにてご家族へ報告している。体調に変化があった場合には訪問診療医とご家族へ相談し、情報共有しながら対応できている。
- ② 日本栄養食品株式会社に献立を依頼し、管理栄養士が作成した栄養バランスを考慮した食事が提供できている。
- ③ 感染症予防対策委員会を中心にマニュアルを作成して実践している。2023 年 6 月に新型コロナウイルス感染症に入居者様 5 名、職員 7 名が感染者した。札幌市保健所の認定看護師にアドバイスを貰い、マニュアルを見直して対応している。
- ④ 感染症予防対策による居室での隔離を行った結果、認知症進行と体力の低下がみられている。日々の集団体操と入居者様の身体機能に合わせた個別運動を実施できている。
- ⑤ LIFE に定期的にデータを入力しているが、自立支援及び重度化防止の活用までには至っていない。
- ⑥ 入居者様全員ではないが、4 月に桜の花見外出、10 月に紅葉狩り外出を行った。

2 (介護予防)認知症対応型共同生活介護の運営

(1)施設の開設

第二種社会福祉事業としての認知症対応型共同生活介護については、介護保険法（平成9年法律123号）第70条の規定及び同法第41条第1項の規定にもとづき、平成14年3月13日付で北海道知事に対し居宅サービス事業者指定申請を行い、平成14年4月1日付（石社福9001-10号）で指定を受けた。

認知症対応型通所介護については、介護保険法第78条の2第一項及び法第115条の11第1項の規定及び法第42条の2第1項及び法第54条の2第1項の規定にもとづき、平成18年5月31日付で札幌市長に地域密着型サービス事業者指定申請を行い、平成18年7月1日付（札介保(指)第762号）で指定を受けた。平成28年6月30日付（札介保(指)第11557号）で利用者の減少により事業を廃止した。

令和3年4月1日、組織の再編成を行い、総称を在宅地域支援施設「手稲ゆうゆう」とした。

概要は、次のとおり

施設の名 称	グループホーム手稲ゆうゆう
施設の所在地	札幌市手稲区稲穂5条2丁目6番5号
施設の種類	(介護予防)認知症対応型共同生活介護
入 所 定 員	9名×2ユニット 計18名

(2)施設職員の配置状況

2024.3.31 現在

		施 設 長	管 理 者	計 画 作 成 担 当 者	介 護 職 員	計
入 居	現 員 (人)	(1)	(1)	(2)	18 ②	18 ②

※1 ()は兼務。○は非常勤の内数。

※2 基準配置については標記困難な為、現員についてのみ掲載。

(3) 行事实施状況表

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	21、28日	桜の花見外出	中の川桜並木、軽川周辺	3名
	29日	お好み献立	手稲ゆうゆう	18名
5月	4、5日	桜の花見外出	中の川桜並木、軽川周辺	3名
	14日	母の日祝い	手稲ゆうゆう	18名
6月	1日	開設記念祝賀会	手稲ゆうゆう	18名
	29日	お好み献立	手稲ゆうゆう	18名
7月	29日	手作りおやつ	手稲ゆうゆう	18名
8月	6日	夏祭り	手稲ゆうゆう	18名
	22日	お好み献立	手稲ゆうゆう	18名
9月	15日	敬老祝賀会	手稲ゆうゆう	18名
	30日	手作りおやつ	手稲ゆうゆう	18名
10月	6, 7, 12, 18	紅葉狩り外出	手稲山周辺、三樽別川緑地	7名
	31日	お好み献立	手稲ゆうゆう	18名
11月	16日	手作りおやつ	手稲ゆうゆう	18名
12月	25日	クリスマス・忘年会	手稲ゆうゆう	18名
1月	3日	新年会	手稲ゆうゆう	18名
	12日	手作りおやつ	手稲ゆうゆう	18名
2月	3日	節分	手稲ゆうゆう	18名
	18日	お好み献立	手稲ゆうゆう	18名
3月	3日	ひな祭り	手稲ゆうゆう	18名
	21日	手作りおやつ	手稲ゆうゆう	18名
<通年>	誕生会 …………… 各利用者の誕生日に実施		手稲ゆうゆう	18名
			参加述べ人数	355名

(4)利用者の状況

2024.3.31 現在

ア. 年齢別構成状況(人)

	未満 5 64	65 5 69	70 5 74	75 5 79	80 5 84	85 5 89	90 5 94	95 以上	合計	最低 年齢	最高 年齢	平均 年齢	前年 平均
男	0	0	0	0	1	0	0	0	1	83	83	83.0	85.0
女	1	0	0	0	3	4	4	5	17	62	102	88.8	89.3
計	1	0	0	0	4	4	4	5	18			88.5	89.0

イ. 要介護度別利用者状況(延人数)

性別	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均	前年平均
男	271	0	0	48	0	319	1.45	3.12
女	915	3,412	1,774	0	0	6,101	2.14	2.05
計	1,186	3,412	1,774	48	0	6,420	2.10	2.18

ウ. 介護保険者別構成状況(人)

	札幌市										合計
	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
女	0	1	0	0	0	0	0	0	1	15	17
計	0	1	0	0	0	0	0	0	1	16	18

エ. 健康保険加入状況(人)

	後期高齢者医療制度	国民健康保険	社会保険	組合健康保険	生活保護	合計
男	1	0	0	0	0	1
女	13	0	0	0	4	17
計	14	0	0	0	4	18

オ. 在所者利用期間別構成状況(人)

	1年未満	1～2	2～3	3～4	4～5	5～6	6～7	7～8	8～9	9～10	10年以上	合計
男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
女	4	3	0	3	2	1	1	0	1	1	1	17
計	5	3	0	3	2	1	1	0	1	1	1	18

カ. 認知症の原因(人)

	脳血管障害	アルツハイマー	老年性	その他	合計
男	0	0	0	1	1
女	0	11	1	5	17
計	0	11	1	6	18

キ. 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
女	0	0	2	1	12	2	0	0	0	17
計	0	0	3	1	12	2	0	0	0	18

ク. 認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男	0	0	0	1	0	0	0	0	1
女	0	0	1	3	6	2	3	2	17
計	0	0	1	4	6	2	3	2	18

ケ. 入居利用状況

利用状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
入所利用延人数	540	536	495	523	536	540	558	540	546	545	522	539	6,420	6,508
1日平均人数	18.00	17.29	16.50	16.87	17.29	18.00	18.00	18.00	17.61	17.58	18.00	17.39	17.54	17.83
入所率(%)	100.00	96.06	91.67	93.73	96.06	100.00	100.00	100.00	97.85	97.67	100.00	96.59	97.45	99.06

コ. 入退居状況(人)

入居	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
	家庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
病院	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1
他施設	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	5	5
退居	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
	家庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病院	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	5
他施設	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
合計	0	2	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	5	5

サ. 入居待機者状況

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男		0	0	0	0	0	0	0
女		0	1	2	1	0	0	4
計		0	1	2	1	0	0	4

シ. 利用者減免状況

	入居減免額			合計
	通常減免		1件当平均	
	件数	金額		
4月	2	15,000	7,500	15,000
5月	2	17,900	8,950	17,900
6月	3	22,500	7,500	22,500
7月	4	26,850	6,713	26,850
8月	4	35,800	8,950	35,800
9月	4	30,000	7,500	30,000
10月	4	35,800	8,950	35,800
11月	4	30,000	7,500	30,000
12月	4	35,800	8,950	35,800
1月	4	35,800	8,950	35,800
2月	4	24,200	6,050	24,200
3月	4	35,800	8,950	35,800
合計	43	345,450	96,463	345,450

(5) 苦情受付件数と主な内容

0 件

(6) 介護事故件数

重大事故 (行政報告)	種別	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	件数	1	5	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

事故 (施設内処理)	種別	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	件数	2	5	17	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

ヒヤリハット	種別	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	件数	1	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11

(7) 慰問・ボランティア状況

	名前	内容	来訪日	延べ人数
慰問		感染症予防のため受入中止		0名
ボランティア		感染症予防のため受入中止		0名
			合計延べ人数	0名

(8) 地域における公益的な取組

〈地域活動〉
新型コロナウイルス感染症予防のため、未実施。

手 稲 ゆ う ゆ う 通 所 介 護 事 業 所

1. 重点推進課題の実施報告

手稲ゆうゆう通所介護事業所

感染予防に伴い制限ある活動が長く続き、利用者様及びご家族の疲弊感が強く感じられる。このことから、利用者様の満足度を高めるべく、感染対策を講じながらの新たな活動(レク・行事)の提供を目指す。また、職員間の情報伝達を円滑にすることで、チームワーク能力を向上させ、利用者様へのサービス提供体制を強化していく。

《重点推進課題》

1. 感染症予防対策を継続しながら、新たな活動(レク・行事)の提供を検討し、利用者様のサービス満足度を高めていく。
《基本方針 ①②③》

【指標・評価方法】

- ① 感染予防効果の保持及び職員業務負担軽減を考慮した、感染症予防対策の見直しを図る。
- ② ボランティアの受け入れ再開について検討する。
- ③ 利用者様の満足度を高めるため、活動の種類及び回数の増加等について検討する。

【結果】

- ① 感染症予防対策を見直し、サービス内の活動制限を一部緩和することにより、カラオケや麻雀等の活動を再開した。
- ② 2023 年度中にボランティア受け入れを再開することは出来なかったが、感染症対策を行ったうえで、2024 年度には受け入れを進めていく。
- ③ 感染症予防対策の見直しにより、提供する活動を増やすことができた。また、利用者様及びご家族へのアンケート調査結果から、外出行事を望む声が非常に多かった。2024 年は感染症予防対策を図ったうえで、外出行事を行っていく。

2. 情報共有の再構築を図り、利用者様へのサービス向上を目指す。

《基本方針 ①④》

【指標・評価方法】

- ① 職員間のコミュニケーションを深めるため、日頃から「感謝・謙虚」の気持ちを意識し、「笑顔」で業務に取り組む。
- ② 利用者様の処遇(介護方法)を目的とした会議を行い(月 1 回)、ケアの統一を図る。また、的確な情報伝達を図るため、職員情報交換ノートを活用する。

【結果】

- ① 一人一人の職員が職員間のもとより、利用者様、ご家族に対しても、常に笑顔で接することを意識し、業務に取り組むことができた。

- ② デイサービス会議の中で、ケア方法の検討を行い、職員間における利用者様対応方法の統一を図ることができた。
- また、情報共有のためのノートを導入することにより、全職員に効率的に情報伝達を行うことができた。

2 通所介護・第1号通所事業の運営

(1) 施設の開設

第二種社会福祉事業としての老人デイサービス事業の設置については、札幌市長に対し設置許可申請を行い、平成元年7月1日付で受理され、老人デイサービスB型事業を開始。

平成18年4月1日より介護保険制度の改正に伴い、居宅系サービスについては予防事業を開設した。

平成29年4月1日より介護予防・日常生活支援総合事業開始に伴い、介護予防事業については第1号通所事業へ移行となる。

令和元年5月1日に併設していた特別養護老人ホームが移転したため、その後、一部改築し令和元年10月28日より通所事業を移転する。

令和3年4月1日に「手稲ロータス通所介護所業所」から「手稲ゆうゆう通所介護事業所」へ名称を変更。

概要は、次のとおり

施設の名 称	手稲ゆうゆう通所介護事業所
施設の所在地	札幌市手稲区稲穂5条2丁目6番5号
施設の種 類	通所介護・第1号通所事業
通 所 定 員	40名(1日当たり)

(2) 施設職員の配置状況

2024.3.31 現在

		施 設 長	管 理 者	生 活 相 談 員	介 護 職 員	看 護 職 員	機 能 訓 練 指 導 員	運 転 手	介 助 員	調 理 員	計
通 所	基準数 (人)		1	1	6	1	1				10
	現 員 (人)	(1)	1	1 (2)	8 ②	4 ③	(5)	3 ③	1 ①	委 託	18 ⑨

※ ()は兼務。○は非常勤の内数。

(3) 行事实施状況表

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	17-19日	変わり湯(ひのき)	浴室	62名
5月	25-27日	変わり湯(さくらの香り)	浴室	61名
6月	19-21日	変わり湯(ローズ)	浴室	62名
7月	20-22日	変わり湯(森の香り)	浴室	60名
8月	21-23日	変わり湯(ペパーミント)	浴室	60名
9月	18-20日	敬老祝賀会	ダイルーム	83名
	21-23日	変わり湯(ラベンダー)	浴室	63名
10月	23-25日	変わり湯(フローラルブーケ)	浴室	61名
11月	23-25日	変わり湯(ジャスミン)	浴室	55名
12月	18-20日	変わり湯(ゆず+ゆず湯)	浴室	50名
1月	25-27日	新年会	ダイルーム	75名
	28-27日	変わり湯(柑橘の香り)	浴室	55名
2月	13-28日	ニードルフェルトのキーホルダー作成	ダイルーム	14名
	19-21日	変わり湯(ベルガモットジンジャー)	浴室	49名
3月	6日	食事レクリエーション(甘酒)	ダイルーム	2名
	21-23日	変わり湯(生薬)	ダイルーム	55名
<通年>	誕生会	… 各利用者の誕生日に近い利用日に実施	施設内	95名
			参加延べ人数	962名

(4)利用者の状況

2024.3.31 現在

ア. 利用者減免状況

	通所介護・第1号通所事業減免額					合計 (円)
	通常減免		特別減免		1件当平均 (円)	
	件数	金額(円)	件数	金額		
4月	3	9,507	33	42,330	1,440	51,837
5月	3	9,455	36	47,110	1,450	56,565
6月	3	9,155	40	49,741	1,370	58,896
7月	3	8,716	38	38,346	1,148	47,062
8月	3	8,628	41	41,541	1,140	50,169
9月	3	9,097	39	40,753	1,187	49,850
10月	3	9,449	39	40,057	1,179	49,506
11月	3	8,364	41	47,806	1,277	56,170
12月	3	7,240	39	42,911	1,194	50,151
1月	3	7,633	39	36,987	1,062	44,620
2月	3	7,995	35	31,741	1,046	39,736
3月	3	8,348	34	32,600	1,107	40,948
合計	36	103,587	454	491,923	14,599	595,510

イ. 通所介護・第1号通所事業実施状況

	登録人数	開放日数	利用人員	一日平均人数	利用率(%)	介護度別延べ人数(人)							サービス状況(回)				
						要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	入浴	食事	個別機能訓練	運動器機能向上	生活機能向上 (実人数)
4月	103	26	633	24.35	60.87	30	110	214	150	98	31	0	418	633	56	0	0
5月	100	27	730	27.04	67.60	37	122	253	172	112	34	0	451	730	73	13	0
6月	99	26	683	26.27	65.68	32	99	231	179	102	35	5	442	683	85	11	0
7月	94	26	634	24.39	60.97	26	102	226	172	85	19	4	406	634	88	8	0
8月	96	27	662	24.52	61.30	27	113	229	182	86	21	4	412	662	88	12	0
9月	97	26	671	25.81	64.52	30	111	250	176	84	15	5	412	671	101	11	0
10月	98	26	669	25.74	64.33	30	98	244	180	97	16	4	412	669	112	8	0
11月	100	26	677	26.04	65.10	30	92	244	168	119	20	4	416	677	110	7	0
12月	99	26	683	26.27	65.68	24	116	243	177	108	11	4	400	683	114	10	0
1月	98	25	658	26.32	65.80	26	108	255	173	87	7	2	375	658	103	11	0
2月	94	25	624	24.96	62.40	26	108	251	165	64	10	0	363	624	98	8	0
3月	92	26	649	24.97	62.41	23	94	276	178	67	10	1	397	649	102	8	0
合計	312	7,973	25,566	25.56	63.89	341	1,273	2,916	2,072	1,109	229	33	4,904	7,973	1,130	107	0
前年合計	311	8,164	26,266	26.26	65.63	405	1,225	3,387	1,815	869	379	84	6,473	8,164	720	54	0

(5) 苦情受付件数と主な内容

1 件		2023/4/1 ~ 2024/3/31			
部門	苦情申出者	内 容		第3者委員等の報告	結果
通所	地域住民	送迎時T字路交差点で方向転換をしている。危険なため、今後止めて欲しい。		なし	解決
		対応策 ⇒	当該交差点での方向転換は行わないこととした。また、苦情申立者の連絡先が不明なため、今後は申立者の希望通り対応したことにより、解決とする。		

(6) 介護事故件数

(行政報告)	種別	誤嚥 (誤飲・誤食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	件数	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

(施設内処理)	種別	誤嚥 (誤飲・誤食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ヒヤリハット	種別	誤嚥 (誤飲・誤食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	件数	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	10	15

(7) 慰問・ボランティア状況

	名 前	内 容	来 訪 日	延べ人数
個人	個人ボランティア 様	利用者が書いた書道の添作	月1回 自宅玄関で受け渡し	1名
				12回
			合計延べ人数	12名

(8) 実習生受入れ状況

受入期間	人 数	受入日数	延べ人数	学 校 名	学 部 ・ 学 科	実 習 内 容
2023. 7. 25 ~ 2023. 7. 28	2	4	8	専門北海道福祉・保育大学校	介護・社会福祉学科	施設内実習
2023. 9. 19 ~ 2023. 9. 22	2	4	8	専門北海道福祉・保育大学校	介護・社会福祉学科	施設内実習
合 計	4	8	16			

(9) 地域における公益的な取組(事例について自由記述)

(地域活動) ・ゴミ拾いの実施(手稲駅~手稲ゆうゆう間)は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため未実施。
--

手稲ゆうゆう 指定居宅介護支援事業所

1. 重点推進課題の実施報告

手稲ゆうゆう指定居宅介護支援事業所

利用者様の多様性を理解し、寄り添いながら、住み慣れた自宅で自立した生活を継続していけるように支援します。

また、新規利用者様の開拓ができるよう、コロナ禍の影響で滞っていた地域の皆様との交流についても、再開できることを目標とし、顔の見える体制作りを行います。

《重点推進課題》

1. 利用者様の自立支援と新規利用者の開拓 《基本方針 ①②③④》

介護支援専門員として専門性の視点で、利用者様及び養護者に限らず、それ以外の介護に携わる知人、地域の方達等にも目を向けた支援を目指す。

また、コロナ感染症予防対策に伴い、控えていた地域の皆様との交流機会の再開を目指し、地域に頼られ、気軽に相談できる事業所づくりに取り組む。

【指標・評価方法】

- ① 介護支援専門員としての知識と技術の向上を目指し、積極的な研修への参加、事業所内の事例検討の振り返りやロールプレイを取り入れる等の工夫をする。
- ② 手稲区合同で行われる認知症カフェ「Sunny Memory」に参加することや、独自で行っている認知症カフェの再開を目指し、地域の方々や他事業所との交流を通し、当事業所の認知度を高めていく。また、外勤の際に、介護保険施設や高齢者住宅等の関係機関に出向き、顔の見える関係作りを目指す。

【結果】

- ① 介護支援専門員個々が知識と技術の向上を目指し、内外部の研修に積極的に参加する事を行ってきた。2024年度は制度改定の時期でもあり、新たな知識の修得に努めていきたい。事例検討会についても毎月事業所内で実施し、個々に色々な知恵を出し合いながら、利用者様やご家族へのより良い支援につなげていく事ができた。下半期の取り組みに力を注ぐ予定としていた、事例検討に關してのロールプレイについては、期間内において実施できなかった。
- ② 手稲区で開催の認知症カフェについては、2023年度1回のみでの開催ではあったが、参加させていただいた事で地域住民の方と交流ができ、その中で当事業所のアピールをする事もできた。また、事業所の新規獲得を充実させる事を目的としたサービス事業所や、高齢者住宅等へ訪問しての顔の見える関係作りの構築については、上半期の評価時に取り組み予定として掲げた月1回の実施は実現できなかった。しかし訪問させていただいた際は、先方へしっかりアピールを行い、イメージアップを図る為の動きは実現できていた。

2 居宅介護支援の運営

(1) 事業所の開設

在宅介護支援センターの設置については、老人福祉法(昭和57年法律80号)第6条の2の規定にもとづき、平成10年10月16日付けで、札幌市長と委託契約締結した。

平成12年4月1日、介護保険法施行により、居宅介護支援事業所を開設した。

平成15年4月1日、支援費制度施行により、居宅介護事業所を開設した。

令和 3年4月1日、組織の再編成により、総称を在宅地域支援施設「手稲ゆうゆう」とし、事業所名を「手稲ゆうゆう指定居宅介護支援事業所」へ名称変更した。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称	手稲ゆうゆう指定居宅介護支援事業所
施設 の 所 在 地	札幌市手稲区稲穂5条2丁目6番5号
施設 の 種 類	居宅介護支援事業所

(2) 施設職員の配置状況 2024.3.31 現在

		管 理 者	主任 介 護 支 援 専 門 員	介 護 支 援 専 門 員	計
居 宅	現 員 (人)	1	1 (1)	1 ()	3

※1 ()は兼務。○は非常勤の内数。

※2 基準配置については標記困難な為、現員についてのみ掲載。

(3) 居宅介護支援事業所 相談実件数及び相談内容

2024.3.31 現在

電話	来所	訪問	合計
606 件	1 件	318 件	925 件

介護保険関係						合計
制度全般	認定申請	在宅サービス	施設サービス	保険・利用料等	相談・苦情	
85 件	2 件	670 件	21 件	0 件	0 件	778 件

地域・福祉・医療関係						合計
高齢者福祉	障害制度	通院・入退院	介護予防	地域支援	その他	
5 件	0 件	31 件	0 件	0 件	305 件	341 件

(重複掲載)

(4) 介護度別 居宅介護サービス計画作成状況

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	前年合計
4月	0.0 件	2.5 件	9.0 件	51 件	39 件	18 件	6 件	3 件	128.5 件	131.5 件
5月	0.0 件	2.5 件	3.0 件	51 件	37 件	18 件	7 件	3 件	121.5 件	136.5 件
6月	0.0 件	2.0 件	3.5 件	52 件	39 件	17 件	6 件	3 件	122.5 件	233.5 件
7月	0.0 件	2.0 件	4.0 件	48 件	40 件	18 件	4 件	3 件	119.0 件	138.0 件
8月	0.0 件	2.5 件	4.0 件	53 件	41 件	17 件	3 件	3 件	123.5 件	133.5 件
9月	0.0 件	2.5 件	3.0 件	55 件	42 件	16 件	4 件	3 件	125.5 件	131.5 件
10月	0.0 件	2.5 件	3.0 件	51 件	40 件	14 件	4 件	3 件	117.5 件	131.0 件
11月	0.0 件	2.5 件	3.5 件	54 件	37 件	15 件	3 件	4 件	119.0 件	134.5 件
12月	0.0 件	2.5 件	3.5 件	55 件	38 件	15 件	2 件	4 件	120.0 件	132.0 件
1月	0.0 件	2.5 件	3.0 件	56 件	36 件	15 件	3 件	4 件	119.5 件	123.0 件
2月	0.0 件	2.5 件	3.0 件	58 件	35 件	14 件	4 件	4 件	120.5 件	116.0 件
3月	0.0 件	2.5 件	3.0 件	58 件	35 件	15 件	4 件	4 件	121.5 件	121.0 件
合計	0 件	29 件	45.5 件	642 件	459 件	192 件	50 件	41 件	1,459 件	1,662 件

(5) 苦情受付件数と主な内容

0 件

(6) 介護事故件数

	誤嚥 (誤飲・誤食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
居宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(重複掲載)

※事故に至っていない「ヒヤリ・ハット」を含む件数を計上しております。

(7) 地域における公益的な取組

(地域支援活動及び住民ふれあいの場の提供) ・手稲区合同認知症カフェの参加。(2023.9.5開催) (手稲区民センター2階 第1.2会議室にて23名の参加者)
--

手 稲 ゆ う ゆ う 訪 問 介 護 事 業 所
手稲ゆうゆう札幌市訪問介護相当型サービス事業所
手 稲 ゆ う ゆ う 居 宅 介 護 事 業 所

1. 重点推進課題の実施報告

手稲ゆうゆう訪問介護事業所

手稲ゆうゆう札幌市訪問介護相当型サービス事業所

手稲ゆうゆう居宅介護事業所

新型コロナウイルス感染症や感染対策の実施、更には、昨今の社会状況において職員の確保が難しい状況も重なり、安定したサービス提供が不安定な状況であるが、「利用者様の笑顔」、「ご家族の笑顔」の為に、サービスの維持・向上を図ります。

《重点推進課題》

1. 安定したサービスの提供 《基本方針 ①②④》

利用者様、ケアマネジャーとの信頼関係を築き、安定したサービスを提供することで利用者様の自立支援に向けた支援を行う。

【指標・評価方法】

- ① 報告・連絡・相談、的確な指示が可能となるよう、ICT(ケアパレットや LINE ワークス)を活用し、職員間での情報共有を円滑に行う。
- ② 訪問介護職員(職員高齢化、担い手不足)の新規採用については極めて難しい状況であることから、在籍中の職員一人一人が長期的に就労できるよう、稼働内容を確認しながら、調整する。
- ③ サービス提供責任者(役職者)が、所内で連絡対応できるよう、担当件数の見直しを図る。役職者の担当件数を現在の 20 件程度から、10 件程度とする。

【結果】

- ① ICT 活用により、各ヘルパーとのやり取りが円滑に行われている。
- ② 高齢により、体力・運転に限界を感じ、退職の申し出があった非常勤ヘルパーもいたため、身体に負担を掛けずに仕事を続けてもらえるよう、今後も調整が必要である。
- ③ 実施できていないため、2024 年度も継続して見直しを図っていく。

2 訪問介護・第1号訪問事業の運営

(1) 事業所の開設

ホームヘルプサービス事業については、平成11年10月1日付けで、札幌市長と委託契約締結した。

平成12年4月1日、介護保険法施行により、訪問介護事業所を開設した。

平成15年4月1日、支援費制度施行により、居宅介護事業所を開設した。

令和 3年4月1日、組織の再編成により、総称を在宅地域支援施設「手稲ゆうゆう」とし、事業所名を「手稲ゆうゆう訪問介護事業所」へ名称変更した。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称	手稲ゆうゆう訪問介護事業所 手稲ゆうゆう指定居宅介護事業所
施設 の 所 在 地	札幌市手稲区稲穂5条2丁目6番5号
施設 の 種 類	訪問介護事業所

(2) 施設職員の配置状況 2024.3.31 現在

		管 理 者	サ ー ビ ス 提 供 責 任 者	訪 問 介 護 員	計
訪 問	現 員 (人)	(1)	5 ①	11 ①①	16 ①②

※1 ()は兼務。○は非常勤の内数。

※2 基準配置については標記困難な為、現員についてのみ掲載。

(3)訪問介護事業 訪問時間数

ア. 介護保険サービス

2024.3.31 現在

月	利用実人数	身 体	身体・生活	生 活	合 計	前年合計
4月	66名	200.6時間	197.5時間	83.6時間	481.7時間	522.3時間
5月	65名	125.1時間	199.0時間	99.1時間	423.2時間	523.1時間
6月	67名	143.3時間	203.1時間	114.6時間	461.0時間	509.1時間
7月	69名	121.1時間	198.9時間	101.6時間	421.6時間	460.7時間
8月	74名	119.9時間	226.4時間	112.0時間	458.3時間	458.9時間
9月	77名	107.7時間	225.9時間	103.0時間	436.6時間	477.5時間
10月	76名	124.9時間	246.8時間	101.3時間	473.0時間	461.7時間
11月	73名	146.8時間	254.6時間	103.4時間	504.8時間	475.9時間
12月	74名	107.9時間	240.8時間	96.5時間	445.2時間	457.0時間
1月	73名	102.3時間	267.6時間	75.9時間	445.8時間	450.1時間
2月	72名	126.0時間	248.1時間	85.8時間	459.9時間	408.0時間
3月	66名	169.4時間	214.3時間	83.3時間	467.0時間	509.4時間
合計	852名	1,595.0時間	2,723.0時間	1,160.1時間	5,478.1時間	5,713.7時間

イ. 介護保険サービス (総合)

月	利用実人数	合計	前年合計
4月	42名	191.3時間	148.7時間
5月	43名	211.3時間	159.2時間
6月	44名	219.5時間	156.8時間
7月	45名	217.3時間	165.1時間
8月	49名	224.3時間	155.7時間
9月	50名	199.5時間	159.7時間
10月	50名	222.7時間	192.6時間
11月	48名	200.8時間	191.5時間
12月	47名	198.3時間	218.0時間
1月	47名	182.0時間	193.0時間
2月	44名	182.0時間	184.7時間
3月	48名	190.3時間	228.6時間
合計	557名	2,439.3時間	2,153.6時間

ウ. 障害福祉サービス

月	利用実人数	障 害	精 神	知 的	重 度	合 計	前年合計
4月	14名	129.8時間	59.3時間	0.0時間	85.5時間	274.6時間	263.0時間
5月	14名	133.5時間	73.8時間	0.0時間	65.5時間	272.8時間	245.9時間
6月	14名	131.8時間	70.5時間	0.0時間	67.5時間	269.8時間	241.7時間
7月	14名	137.5時間	67.3時間	0.0時間	82.0時間	286.8時間	242.2時間
8月	14名	130.5時間	56.0時間	0.0時間	66.5時間	253.0時間	301.7時間
9月	12名	121.8時間	53.8時間	0.0時間	73.0時間	248.6時間	281.9時間
10月	13名	136.8時間	60.3時間	0.0時間	57.5時間	254.6時間	273.5時間
11月	13名	135.0時間	58.5時間	0.0時間	85.5時間	279.0時間	305.3時間
12月	13名	135.5時間	59.8時間	0.0時間	65.5時間	260.8時間	281.8時間
1月	13名	129.8時間	56.8時間	0.0時間	65.5時間	252.1時間	287.5時間
2月	13名	125.8時間	53.5時間	0.0時間	64.0時間	243.3時間	246.9時間
3月	13名	132.3時間	58.8時間	0.0時間	65.5時間	256.6時間	290.8時間
合計	160名	1,580.1時間	728.4時間	0.0時間	843.5時間	3,152.0時間	3,262.2時間

(4) 苦情受付件数と主な内容

0	件
---	---

(5) 介護事故件数

種別	誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※事故に至っていない「ヒヤリ・ハット」を含む件数を計上しております。

(重複掲載)

札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

1. 重点推進課題の実施報告

札幌市手稲区介護予防センター稲穂金山星置

新型コロナウイルス感染症は感染症法の 5 類への引き下げが決定しているが、感染リスクやクラスターへの対応は変化することなく、介護予防活動を展開していく必要がある。

屋内外での活動や、自宅で介護予防に取り組みを継続した支援と、ICTの活用ができる仕組みづくりに努め、地域の方々が「望むこと」を実現できるよう支援し、活性化をねらう。

《重点推進課題》

1. 介護予防の普及啓発

《基本方針 ①②③》

介護予防が地域の皆様に身近な存在である必要がある。より身近な相談機関であるために関係性の構築し共に歩んでいく。

【指標・評価方法】

- ① 介護予防教室における参加者の定着と増加、新規で参加しやすいような方法や仕組みづくりを行う。
- ② 通いの場や介護予防教室でニーズを把握し、事業についての認知・理解度を高める。
- ③ 町内回覧のチラシ及びパンフレットについて目に留まるものにし、成果をカウントする。
- ④ 星置地区の回覧ができない町内会へ、地区の広報誌に掲載依頼を行う。
- ⑤ 様々な介護予防の目的から、身体機能維持向上つまり運動に特化し、介護予防の入り口として取り組みやすいようにする。

【結果】

- ① 介護予防教室参加者の延人数(2022年度との比較)
 - ・稲穂地区:171名(前年度比+64名)
 - ・金山地区:106名(前年度比+7名)
 - ・星置地区:167名(前年度比+63名)

全体的に定期での参加者が稲穂地区・星置地区は増えている。新型コロナウイルス感染症が5類となり、高齢者の外出の機会が増えたことが一因と考えられる。特に新たなプログラム実施の際には多くの参加者が見られていた。既存のプログラムを実施しつつ、他予防センターなど情報交換を行い、今後も実施していく。新規参加については、地域の運動グループ参加から、介護予防教室に口コミで繋がるが多かった。金山会館で開催されている運動サークルへの参加者が増えている為、金山での介護予防教室は前年度から微増であった。

- ②⑤ 地域の皆様から「身体を動かすプログラムを増やしてほしい」との希望より、運動を主体としたプログラムの実施を行った。上記のとおり、参加者増へとつながっている。今後も参加者へのニーズの確認をし、地域の方が予防活動に取り組みやすいよう配慮していく。

- ③ 令和5年9月から外部業者へ介護予防教室のチラシ印刷を依頼した。大幅な参加者増には至っていないが、稲穂地区・星置地区は毎月2名程の参加問い合わせをいただいた。回覧は単色印刷→カラー化したことで、地域の皆様からも「見やすくなった」という声を多くいただいた。
- ④ 継続して回覧をすることはできていない。星置まちづくりセンターの協力を得て、星置地区ケア会議の内容及び福祉のまち推進センターとの取り組みを「まちづくりセンター便り」に掲載することができた。2024年度も継続した取り組みを行うと共に、回覧不可地域の自主運動教室訪問を継続して実施し、周知活動を行う。

2. 通いの場への支援

《基本方針 ①②③》

既存の通いの場へ支援の質を高め、空白地帯に自主活動サークルの立ち上げを目指し、地域住民の活性化を図る。

【指標・評価方法】

- ① 新しい運動プログラムの作成を取り入れて実施に繋げる。
- ② 通いが難しい方へも、オンライン介護予防教室にて心身ともに健康に留意できる機会づくりと支援を実施。
- ③ 他地区の介護予防センターの地域の関わりについて相談や見学を行い、担当地区の還元を図る。

【結果】

- ① 2023年度星置地区センター・稲穂会館にて新規運動教室を1か所ずつ立ち上げしている。新しい運動プログラムの取り入れには至っていない。2024年度は理学療法士と検討し、現状の体操プラスαで取り入れていく。
- ② オンラインでの介護予防教室は継続して実施している。参加者増には至らず3名程の参加である。参加者にはご自身で運動教室に通うことが難しく、DSの利用をされている方もいらっしゃる。運動の機会を設け、参加していただける様に今後も継続とする。
- ③ 他地区への見学を実施している。その中で当センターにて取り組みが可能な内容を検討し、2024年度はレクリエーション物品の導入を目指して、地域還元を図る。

2 介護予防センターの運営

(1) センターの開設

在宅介護支援センターの設置については、老人福祉法(昭和57年法律80号)第6条の2の規定にもとづき、平成10年10月16日付けで、札幌市長と委託契約締結した。

介護保険法(平成17年法律第77号)にもとづき、平成18年3月31日付けで在宅介護支援センターの委託契約を解除し、平成18年4月1日付けで、介護予防センターの設置を札幌市長と委託契約締結した。

令和 3年4月1日組織の再編制により、総称を在宅地域支援施設「手稲ゆうゆう」とした。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称	札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
施設 の 所 在 地	札幌市手稲区稲穂5条2丁目6番5号
施設 の 種 類	介護予防センター

(2) 施設職員の配置状況 2024.3.31 現在

		セ ン タ ー 長	相 談 員	計
予 防	現 員 (人)	(1)	2	2

※1 ()は兼務。○は非常勤の内数。

※2 基準配置については標記困難な為、現員についてのみ掲載。

(3) 介護予防センター 相談実件数及び相談内容

電話	訪問	面接	その他	合計
20 件	0 件	0 件	0 件	20 件

2024.3.31 現在

相談内容	件数
介護保険サービスの利用希望	6 件
介護保険制度	3 件
介護予防	6 件
保健福祉サービス	1 件
高齢者虐待に関すること	0 件
消費者被害に関すること	0 件
権利擁護	0 件
認知症に関すること	0 件
心身の健康に関すること	0 件
家族の疾患・障害に関すること	0 件
医療に関すること	0 件
住まいに関すること	2 件
処遇困難	0 件
苦情	0 件
その他	2 件
合計	20 件

(4) 介護予防事業実施回数及び参加人数

内容	開催回数	参加延べ人数	平均参加人数
介護予防教室 (屋内・屋外・オンライン)	105 回	1,357 名	12.9 名
地域福祉活動支援	141 回	1,898 名	13.5 名
イベント	2 回	26 名	13.0 名
文書等の支援	13 回	22 名	1.7 名
広報紙の発行	12 回	9,224 名	768.7 名
会議及び打ち合わせ	95 回	名	名
合計	368 回	12,527 名	一開催当り 34.0 名

(5) 苦情受付件数と主な内容

1 件		内容	第3者委員等の報告	結果
部門	苦情申出者			
予防	星置新星町内会 在住男性	介護予防センターのチラシを回覧板で回さないでほしい。 「町内回覧を回すのが大変、予防センター事業なんて誰も来ないだろ。回覧してない所もあるからな。」との話があった。(以前も同一人物からの苦情有) 対応策 → 星置地区まちづくりセンター所長に上記の件を共有し、今後について検討する。結果、星置新星町内会への予防センター関連の回覧は行わない事となる。	無し	解決

(重複掲載)

(6) 介護事故件数

	誤嚥 (誤飲・誤食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車による事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
予防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※事故に至っていない「ヒヤリ・ハット」を含む件数を計上しております。

(重複掲載)

(7) 地域における公益的な取組

介護予防教室・地域福祉活動支援・イベントの訪問を実施している。
新型コロナウイルス感染症で中止していた稲穂・金山・星置地区の餅つきが再開となり参加した。

特 養 音 更

介護老人福祉施設 ロータス音更
ロータス音更（介護予防）通所介護事業所
ロータス音更（介護予防）認知症対応型通所介護事業所

1 重点推進項目の実施報告

(1) 介護老人福祉施設 ロータス音更

特別養護老人ホームとして、入居者様やご家族のニーズに沿った質の高いケアを最後まで提供することで、希望した生活を続けることができる施設を目指す。

《重点推進課題》

1 入居者様一人ひとりが望む生活を実現するとともに入居者様及びご家族が安心できるケアを提供する。 《基本方針 ①②④》

一人ひとりに合ったケアを提供するため、入居者様の日々の変化に合わせ、多職種が連携し、迅速に対応する体制を整える。また、コロナ禍において希薄となったご家族との繋がりを深められるよう努め、入居者様及びご家族が安心できる生活を提供できるようにする。

【指標・評価方法】

- ① 入居者様一人ひとりのニーズや課題を明確化するため、日常の会話や出来事、認知症状、医療面などを細かに記録し、ユニット会議やカンファレンスにおいて情報の集約及びケアの内容を検討し、実施する。
- ② 入居者様が安心できる生活環境を目指し、四季を感じていただく設えとともに季節に合わせた行事を開催する。併せて感染症予防に配慮しながら、ご家族が参加できる行事を検討し、実現していく。
- ③ 入居者様が安心してケアを受けることができるよう、職員の接遇を見直すとともに介護、医療に関する専門性を高める研修などを受講し、個人及び施設全体で質の高いサービスを目指す。
- ④ ご家族が希望するサービス内容と実際のケアに乖離がないか確認するため、ICT化を進め、密に連絡がとれる体制を整える、また、ご家族向けのアンケートを半期に1度実施し、入居者様及びご家族が希望する生活やケアの内容について確認を行う。

【結果】

- ① 入居者様の希望するサービスを実現するため、各種会議において入居者様の詳細な情報を共有し、各専門職が身体状況や医療面を勘案した結果、個別外出や嗜好品の提供、治療方針の相談、看取り対応などの場面において、スムーズな連携を図ることができた。
- ② 感染症予防のため、ユニット間交流やご家族参加の行事を行うことはできなかったが、ユニット毎に、四季に合わせた設えや花見、納涼会、運動会、餅つき、忘年会、節分、調理レクリエーションなどの行事を実施することができた。

- ③ ご家族より、接遇が不十分であるとご指摘を受け、併設事業所を含めた施設全体の会議やユニット会議、個人面談を重ね、接遇を学ぶ機会を設け、音更町等の指導の下、再発防止策を講じた。また、入居者様の生活に直結する、QOLの向上や排泄、感染症、認知症研修のほか、音更町医療介護連携推進会議や十勝老人福祉施設協議会が主催する専門分野毎の研修へ参加し、施設サービスの質の維持、向上を図ることができた。
- ④ ご家族との連絡ツールとして、LINEの登録を推奨し、6割程度のご家族が登録され、面会予約や遠方のご家族から届いたプレゼントの写真をやり取りしたほか、施設行事や日常の様子を報告することに活用することができた。また、ご家族向けのアンケートは実施できなかったが、窓越し面会や6月に実施した直接面会において、ケアの内容について要望を確認できたほか、看取り後のアンケートを実施し、終末期のケア内容を確認するとともに、居室の環境や入浴方法など、衛生面の改善に繋げることができた。

(2) ロータス音更(介護予防)通所介護事業所

ロータス音更(介護予防)認知症対応型通所介護事業所

利用者様の認知症状や身体状況の変化に伴い変わっていく、利用者様やご家族のニーズを的確に把握する。その結果、利用者様が生きがいを感じる生活を送っていただけるよう、また、ご家族が安心して利用者様を預けられるようなサービスの提供を目指していく。

《重点推進課題》

1 利用者様やご家族のニーズを把握し、専門性を生かしたケアを実施させていただくことで個々に寄り添った支援を行う。 《基本方針 ①②④》

各専門職が、各々の知識と技術を生かし、利用者様の抱える身体的な課題や認知的な課題の解決に努める。また、利用者様の些細な変化に気づき対応することで、よりその人らしい生活が送れるよう支援する。

【指標・評価方法】

- ① 利用者様及びご家族へ定期的にアンケートや聞き取り調査を行い、ニーズを把握する。また、その結果を反映し、創作活動や脳トレーニング、レクリエーション活動などのプログラムを提供する。
- ② 認知症状に合わせたプログラム活動を実施し、6か月ごとに評価を行う。また、評価内容を利用者様、ご家族と共有し、目標の達成状況や課題について検討を行い、新たな課題に対してのプログラムを作成する。
- ③ 集団体操や個別機能訓練のプログラム内容の検討及び見直しを定期的に行い、楽しみながら、意欲的に参加できる活動を提供することで、利用者様の認知機能や身体機能維持を図る。
- ④ 職員のスキルアップのため、認知症や高齢者医療、介護技術、レクリエーション技術、相談援助技術の研修などを受講し、学んでいく。

【結果】

- ① 利用者様やご家族に直接、通所利用時の食事や入浴、サービス内容の報告と意向の確認を行い、その結果を職員間で周知し、活動に反映して活かすことができたが、定期的なアンケートの実施はできなかった。
- ② 認知症対応型通所介護事業所、通所介護事業所共に認知症状に合わせた計画書を立て、プログラムに合わせた活動を行うことができた。パズルやプリント問題など、はじめは意欲が出ず、提供してもうまくできなかった利用者様も、職員が寄り添いながら繰り返し提供することで、徐々に意欲が出て行えるようになり、現在は積極的に活動される利用者様もいる。

また、6か月ごとにカンファレンスを実施し、その評価を行いながら、認知機能低下予防のための新たな計画を立て職員で周知し、実施することができている。

- ③ 集団体操や個別機能訓練に関しては、職員と機能訓練指導員が利用者様の反応や身体機能の維持のため、デイ会議やカンファレンスで定期的にプログラム内容を協議し、実施することで、利用者様が楽しみながら運動している様子が多く見られている。また、運動にあまり意欲的ではない方もいるため、利用者様の体調や身体機能に合わせ、意欲的に参加できる内容の充実を図るため、機能訓練指導員が中心となり、プログラムの変更や作成を行っている。
- ④ 新型コロナウイルス感染症予防対策等により、職員のスキルアップのための施設全体での研修は少なかったが、Web の視聴や資料等での研修を行い、学ぶことができた。職員の接遇やスキル技術のレベルに差があるため、今後は、接遇や技術のスキルアップが必要な職員に対し講習を行うとともに、伝達研修などを積極的に行い個々のレベルの均一化を図っていく。

2 介護老人福祉施設・(介護予防)短期入所生活介護・

(介護予防)通所介護・(介護予防)認知症対応型通所介護の運営

(1) 施設の開設

介護保険法第70条第1項（第79条第1項・第86条第1項・第94条第1項・第107条第1項・第115条の2第1項）の規定に基づき、平成20年4月17日付で北海道に対し指定（許可）申請を行い、平成20年4月28日付（老人福祉法第15条第4項）で認可を受け、同平成20年4月28日付で介護保険法第48条第1項第1号の指定介護老人福祉施設として指定された。

平成21年2月1日、標準型（介護予防）通所介護1日定員15名を開設。

平成22年3月1日、標準型（介護予防）通所介護1日定員を20名に変更。

平成22年8月1日、標準型（介護予防）通所介護1日定員を25名に変更。

平成30年1月1日、標準型（介護予防）通所介護1日定員を30名に変更。

令和 3年2月1日、介護老人福祉施設の定員を80床、短期入所生活介護を空床型に変更。

概要は、次のとおり

施設の名 称 介護老人福祉施設 ロータス音更
 施設の所在地 河東郡音更町中鈴蘭元町2番地9
 施設の種 類 介護老人福祉施設
 (介護予防)短期入所生活介護
 通所介護
 第一号通所事業
 (介護予防)認知症対応型通所介護
 入 所 定 員 80名(空床型ショートステイ)
 通 所 定 員 標準型30名・認知症型12名(1日当たり)

(2) 施設職員の配置状況

2024.3.31現在

		施 設 長	医 師	事 務 員	生 活 相 談 員	介 護 職 員	看 護 職 員	管 理 栄 養 士	介 護 支 援 専 門 員	機 能 訓 練 指 導 員	介 助 員	介 護 ア シ ス タ ン ト	夜 間 警 備 員	調 理 員	計
入 所	基準数 (人)	1	1 ①		1	24	3	1	1	1					33 ①
	現 員 (人)	1	1 ①	2 (1)	2 (1)	45 ⑨	5	1	(2)	1	5 ⑤	5 ⑤	2 ②	委 託	70 ⑳
通 所	一 般 型	基準数 (人)	1		1	3	1			1					7
		現 員 (人)	(1)		(1)	1 (4)	7 ③	2	1 (1)		(2)	1 ①		委 託	12 ④
	認 知 症 型	基準数 (人)	1			1	2	1			1				6
		現 員 (人)	(1)		(1)	(5)	6 ④	(2)	(1)		(2)			委 託	6 ④

* ()は兼務。○は非常勤の内数。

(3) 行事实施状況表(入居)

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	24日～27日	花見(ドライブ)	近隣公園、帯広神社等	45名
	25日	施設周辺散歩	青葉公園	4名
5月	22日	施設周辺散歩	青葉公園	9名
	22日	ユニットレクリエーション(蝶々ゲーム)	きたこぶし・ななかまどユニット	19名
	24日	ユニットレクリエーション(貼り絵)	まろにえ・やまのみじユニット	19名
6月	19日	施設周辺散歩	青葉公園	8名
	21日	ユニットレクリエーション(ボーリング・釣り大会)	まろにえ・やまのみじユニット	19名
	27日	調理レクリエーション	やまぐわ・すずかけのきユニット	18名
8月	17日	ユニットレクリエーション(納涼会・スイカ割り)	まろにえ・やまのみじユニット	17名
	21日	調理レクリエーション	やまぐわ・すずかけのきユニット	17名
	30日	ユニットレクリエーション(散歩)	きたこぶし・ななかまどユニット	14名
	31日	調理レクリエーション	もくれん・はなみずきユニット	18名
9月	17日	ユニットレクリエーション(もぐらたたき)	まろにえ・やまのみじユニット	17名
	17日	ユニットレクリエーション(金魚すくい)	きたこぶし・ななかまどユニット	20名
10月	18日	ユニットレクリエーション(玉入れ)	まろにえ・やまのみじユニット	20名
	20日	ユニットレクリエーション(紙コップ掬い)	きたこぶし・ななかまどユニット	20名
	24日	調理レクリエーション	もくれん・はなみずきユニット	18名
11月	27日	ユニットレクリエーション(陣取り合戦)	きたこぶし・ななかまどユニット	18名
	29日	調理レクリエーション	やまぐわ・すずかけのきユニット	13名
	29日	ユニットレクリエーション(クリスマスリース作り)	まろにえ・やまのみじユニット	20名
	30日	ユニットレクリエーション(カラオケ)	もくれん・はなみずきユニット	13名
12月	15日	ユニットレクリエーション(ボーリング)	やまぐわ・すずかけのきユニット	16名
	18日	餅つき	各フロアエレベーターホール	76名
	20日	ユニットレクリエーション(忘年会)	やまぐわ・すずかけのきユニット	20名
	25日	ユニットレクリエーション(風船バレー)	もくれん・はなみずきユニット	17名
	25日	ユニットレクリエーション(玉入れ)	きたこぶし・ななかまどユニット	18名
1月	25日	ユニットレクリエーション(夜間浴・柚子湯)	きたこぶし・ななかまどユニット	6名
2月	2日	ユニットレクリエーション(節分)	きたこぶし・ななかまどユニット	19名
	21日	ユニットレクリエーション(福笑い)	まろにえ・やまのみじユニット	20名
	16日	ユニットレクリエーション(玉入れ)	やまぐわ・すずかけのきユニット	17名
3月	25日	ユニットレクリエーション(運動会)	きたこぶし・ななかまどユニット	17名

(3)行事実施状況表 (通所)

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	15、25日	カフェ行事	デイルーム	66名
5月	23日	園芸活動	デイルーム前ベランダ	10名
	8日～13日	母の日週間	デイルーム	81名
	5日	入浴行事(菖蒲湯)	浴室	32名
	15、25日	カフェ行事	デイルーム	64名
6月	12日～17日	父の日週間	デイルーム	14名
	14日、27日	カフェライラック	デイルーム	57名
7月	6、30日	カフェ行事	デイルーム	60名
	25、27、28日	夏祭り週間	デイルーム	79名
8月	16日	入浴行事(夏気分)	浴室	29名
	11、26日	カフェ行事	デイルーム	61名
9月	12～18日	敬老会週間	デイルーム	183名
	21、27日	カフェ行事	デイルーム	52名
10月	14、24日	カフェ行事	デイルーム	60名
	21日	入浴行事(薬湯)	浴室	28名
	25日	運動会		30名
11月	7、17日	カフェ行事	デイルーム	61名
12月	8、21日	カフェ行事	デイルーム	55名
	22日	入浴行事(ゆず湯)	浴室	33名
	22、23、25日	クリスマス忘年会	デイルーム	100名
1月	9、27日	カフェ行事	デイルーム	56名
	25日	昼食行事	デイルーム	26名
2月	3日	節分行事	デイルーム	29名
	26日	ライラックカフェ	デイルーム	26名
3月	12、20日	ライラックカフェ	デイルーム	54名
	14日	ホワイトデー行事	デイルーム	24名

(4)利用者の状況

ア. 年齢別構成状況(人)

	未満 5 64	65 5 69	70 5 74	75 5 79	80 5 84	85 5 89	90 5 94	95 以上	合計	最低 年齢	最高 年齢	平均 年齢	前年 平均
男	0	0	1	4	3	4	2	2	16	74	98	84.6	85.0
女	1	0	1	5	10	19	17	9	62	62	100	87.9	88.1
計	1	0	2	9	13	23	19	11	78			87.2	87.5

イ. 要介護度別利用者状況(延人数)

性別	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均	前年平均
男	0	0	2,448	1,397	934	4,779	3.68	3.64
女	0	0	8,329	7,046	3,608	18,983	3.75	3.70
計	0	0	10,777	8,443	4,542	23,762	3.74	3.68

ウ. 介護保険者別構成状況(人)

	音更町	帯広市	芽室町	幕別町	鹿追町	士幌町	新得町	浦幌町	足寄町	大阪府堺市	合計
男	12	3	0	1	0	0	0	0	0	0	16
女	46	12	1	1	0	0	0	1	0	1	62
計	58	15	1	2	0	0	0	1	0	1	78

エ. 入所者所得段階(人)

	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階	合計
男	2	1	3	3	7	16
女	3	9	11	18	21	62
計	5	10	14	21	28	78

オ. 健康保険加入状況(人)

	後期高齢者医療制度	国民健康保険	社会保険	組合健康保険	生活保護	合計
男	12	0	0	0	4	16
女	58	0	0	0	4	62
計	70	0	0	0	8	78

カ. 在所者利用期間別構成状況(人)

	1年未満	1～2	2～3	3～4	4～5	5～6	6～7	7～8	8～9	9～10	10年以上	合計
男	5	2	3	1	4	0	1	0	0	0	0	16
女	19	12	9	9	2	3	0	1	1	1	5	62
計	24	14	12	10	6	3	1	1	1	1	5	78

キ. 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)(人)

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
男	0	0	0	1	6	0	7	0	2	16
女	0	1	0	3	18	3	23	6	8	62
計	0	1	0	4	24	3	30	6	10	78

ク. 認知症高齢者の日常生活自立度(人)

	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	合計
男	0	1	0	6	4	2	3	0	16
女	0	0	2	25	25	5	5	0	62
計	0	1	2	31	29	7	8	0	78

ケ. 栄養関係加算状況(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
療養食加算	360	406	450	538	558	528	558	534	546	540	562	651	6,231

コ. 通院状況(延人数)

	内科	精神科	循環器科	呼吸器科	外科	整形外科	形成外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻科	歯科	合計
男	4	20	0	0	2	0	0	8	0	10	0	2	0	0	46
女	32	38	8	0	30	68	2	12	0	4	0	20	22	0	236
計	36	58	8	0	32	68	2	20	0	14	0	22	22	0	282

(重複掲載)

サ. 往診状況(延人数)

	内科	歯科	眼科	皮膚科	合計
男	355	20	0	57	432
女	1,389	65	0	238	1,692
計	1,744	85	0	295	2,124

(重複掲載)

シ. 入所・短期利用状況

利用状況	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 合計														前年合計
	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	
入所利用延人数	2,209	2,276	2,158	2,248	2,243	2,115	2,199	2,149	2,204	2,239	2,181	2,374	26,595	26,807	
短期利用延人数	98	92	72	76	130	90	86	80	60	58	44	48	934	1,210	
1日平均人数	76.90	76.39	74.33	74.97	76.55	73.50	73.71	74.30	73.03	74.10	76.72	78.13	75.22	76.76	
入所率(%)	96.13	95.48	92.92	93.71	95.69	91.88	92.14	92.88	91.29	92.62	95.91	97.66	94.02	95.95	

ス. 入退所状況(人)

入所	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 合計														前年合計
	家庭	1	1	0	1	0	0	0	3	1	0	1	0	8	
病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3	
他施設	0	2	1	1	0	1	0	0	0	3	2	1	11	7	
合計	1	3	1	2	0	1	0	3	2	4	3	2	22	18	
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
病院	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	4	4	
他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
死亡	3	1	3	0	0	1	2	2	3	0	1	1	17	11	
合計	3	1	3	0	1	2	3	3	3	0	1	1	21	15	

セ. 入所待機者状況(人)

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	0	0	0	0	26	22	9	57
女	0	0	0	0	36	35	15	86
計	0	0	0	0	62	57	24	143

ソ. 入所者・利用者減免状況

	入所減免額			(予防)短期減免額			(予防)通所減免額								合計 (円)	
	通常減免		1件当平均 (円)	通常減免		1件当平均 (円)	(一般型)				(認知症型)					1件当平均 (円)
	件数	金額(円)		件数	金額(円)		通常減免		特別減免		通常減免		特別減免			
			件数			金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)				
4月	8	278,401	34,800	3	27,118	9,039	3	7,117	41	45,126	1	2,531	23	106,045	2,365	466,338
5月	10	318,899	31,890	3	11,051	3,684	3	8,793	44	49,754	1	2,026	22	110,905	2,450	501,428
6月	10	314,722	31,472	1	3,358	3,358	2	5,389	45	48,689	1	4,907	21	104,436	2,368	481,501
7月	9	327,448	36,383	1	3,358	3,358	2	6,150	43	60,109	1	5,792	20	95,550	2,539	498,407
8月	9	352,819	39,202	1	3,358	3,358	2	5,817	44	57,759	1	5,792	20	107,413	2,639	532,958
9月	9	328,314	36,479	1	3,358	3,358	2	7,480	43	52,537	1	5,379	19	89,072	2,376	486,140
10月	9	327,395	36,377	1	5,037	5,037	2	8,860	48	53,336	1	4,554	20	103,262	2,395	502,444
11月	9	336,518	37,391	1	9,957	9,957	2	8,871	43	48,875	2	9,820	21	96,710	2,416	510,751
12月	9	351,172	39,019	1	3,358	3,358	2	8,860	43	44,638	2	9,432	21	85,552	2,184	503,012
1月	10	368,914	36,891	1	5,037	5,037	2	5,197	42	40,436	2	9,820	19	76,336	2,028	505,740
2月	10	348,857	34,886	1	3,358	3,358	1	3,493	42	41,737	2	10,257	17	74,289	2,093	481,991
3月	11	366,548	33,323	1	3,358	3,358	1	4,537	43	44,828	2	11,081	18	88,370	2,325	518,722
合計	113	4,020,007	35,575	16	81,706	5,107	24	80,564	521	587,824	17	81,391	241	1,137,940	28,177	5,989,432

タ. (介護予防)通所実施状況

1)一般型

	登録人数	開放日数	利用人員	一日平均人数	利用率(%)	介護度別延べ人数(人)							サービス状況(回)		
						要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	入浴	食事	個別機能訓練
4月	74	25	546	21.84	72.8	12	36	313	82	67	24	12	534	570	217
5月	73	27	623	23.07	76.9	21	42	334	124	73	18	11	584	623	241
6月	70	26	584	22.46	74.9	18	41	299	141	66	17	2	553	592	256
7月	71	26	573	22.04	73.5	15	31	303	135	76	13	0	531	583	259
8月	72	27	582	21.56	71.9	17	29	324	121	77	14	0	542	585	252
9月	73	26	573	22.04	73.5	16	31	311	133	72	10	0	528	573	248
10月	75	26	616	23.69	79.0	15	30	326	162	73	10	0	558	617	248
11月	74	26	591	22.73	75.8	17	32	294	160	73	15	0	539	589	217
12月	77	26	580	22.31	74.4	13	22	318	150	56	21	0	531	580	209
1月	78	25	532	21.28	70.9	16	32	281	140	45	18	0	496	532	192
2月	79	25	553	22.12	73.7	16	35	283	149	49	21	0	515	553	188
3月	76	26	578	22.23	74.1	18	43	291	164	50	12	0	523	579	197
合計	311	6,931	22,29	74.29	194	404	3,677	1,661	777	193	25	6,434	6,976	2,724	
前年合計	308	6,951	22.57	75.23	272	744	3,906	1,142	591	161	135	6,516	6,993	2,992	

2)認知症対応型

	登録人数	開放日数	利用人員	一日平均人数	利用率(%)	介護度別延べ人数(人)							サービス状況(回)			
						要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	入浴	食事	個別機能訓練	若年性受入加算
4月	27	25	251	10.04	83.67	0	0	112	60	52	13	14	205	251	251	0
5月	23	27	251	9.30	77.47	0	0	112	57	46	23	13	206	251	251	0
6月	24	26	255	9.81	81.73	0	0	131	57	36	19	12	214	255	255	0
7月	22	26	219	8.42	70.19	0	0	121	39	29	22	8	184	219	219	0
8月	22	27	237	8.78	73.15	0	0	117	54	32	22	12	200	237	230	0
9月	22	26	208	8.00	66.67	0	0	119	28	30	22	9	179	208	208	0
10月	23	26	233	8.96	74.68	0	0	123	48	29	22	11	195	233	233	0
11月	24	26	235	9.04	75.32	0	0	129	46	29	21	10	196	235	235	0
12月	24	26	209	8.04	66.99	0	0	99	55	25	21	9	170	209	209	0
1月	23	25	194	7.76	64.67	0	0	95	50	22	19	8	161	193	194	0
2月	22	25	180	7.20	60.00	0	0	60	72	19	20	9	149	180	180	0
3月	23	26	209	8.04	66.99	0	0	68	78	26	29	8	180	209	209	0
合計	311	2,681	8.62	71.84	0	0	1,286	644	375	253	123	2,239	2,680	2,674	0	
前年合計	310	2,734	8.82	73.49	0	0	1,237	563	714	56	164	2,296	2,732	2,733	0	

(5) 苦情受付件数と主な内容

6 件				
部門	苦情申出者	内 容	第3者委員等の報告	結果
入所	ご家族	転倒事故で骨折し、入院となったが、施設の職員が病院におらず、対応に困った。対応が不十分であり、不信に思った。	無	解決
		対応策→転倒事故発生後、救急搬送となり、看護師が付き添っていたが、病院の指示で看護師が施設へ戻ったため、ご家族が到着した際に、職員が不在となっていた。ご家族の不安や不信感に繋がってしまったことを謝罪した。		
入所	ご家族	ご家族より、入居者本人が、職員に叩かれたと言っている。叩いたと思われる男性職員を関わらせないで欲しい。	無	解決
		対応策→ご家族が、警察、音更町へ相談し、職員の事情聴取が行われた。事実は確認されなかったが、施設内において、個人面談、ユニット会議、併設事業所を含めたカンファレンスを実施し、再発防止策を講じた。入居者様は、ご家族の希望通りユニットを変更し、居室へ監視カメラを設置し対応した。		
通所	ご家族	利用中の様子について報告を受けたが、職員の話し方が「知らないから教えてやっている」という指摘をする言い方だったので、不快に感じた。	無	解決
		対応策→ご家族へ謝罪し、職員には指摘する意図がなかったことを伝えた。また、対応した職員に、ご家族が不快に感じたことを伝え、言動に配慮するよう指導を行い、再発防止のために通所全体へ周知した。		
通所	利用者様	起き上がる際に手を貸して欲しいと頼んだが、自力で起き上がるように促され、手伝ってくれなかった。また、その際の言葉と態度が冷たかった。	無	解決
		対応策→謝罪し、支援が必要な動作を確認しながらケアにあたることを伝えた。職員は、身体機能維持のために自力動作を促すことを目的としていたが、意図が伝わっておらず、利用者様への配慮が欠けた対応であったことを指導した。		
通所	ご家族	朝の迎えの時間が遅かった。また、職員の態度と口調が悪く、不快な思いをした。	無	解決
		対応策→ご家族へ謝罪し、迎えの時間が遅くなる場合には、事前に電話連絡を行うことを伝えた。担当した職員より経緯を聞き取り、ご家族が不快に感じていたことを伝え、指導を行った。また、上記の内容を通所全体で周知した。		
通所	ご家族	施設から説明のあった事故報告の内容と本人の話す内容が違っていた。施設を信用できない。また、靴の踵を踏んだまま歩いていることや段差で体を支えていないことがあり、転ぶのではないかと不満に感じていた。	無	解決
		対応策→謝罪し、転倒状況の説明を再度行った。ご家族より、本人の話を全て信用するわけではないが、正確に説明して欲しいと返答があった。送迎時の対応は、靴を履くこと、玄関を下りる際に体を支えるなど、転倒予防のため、介助方法を統一した。		

(6) 介護事故件数

重大事故 (行政報告)		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計	
	入所	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	8
	短期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通所	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	認知通所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	10

事故 (施設内処理)		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計	
	入所	1	3	23	7	0	8	0	0	0	0	0	0	28	70
	短期	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	通所	0	1	6	3	0	4	0	0	0	0	0	0	9	23
	認知通所	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	6	10
	合計	1	4	32	10	0	14	0	0	0	0	0	0	43	104

ヒヤリハット		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計	
	入所	3	2	22	18	0	0	0	0	0	0	0	0	4	49
	短期	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	通所	0	1	4	2	0	0	0	0	0	0	1	2	10	
	認知通所	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	
	合計	4	3	31	20	0	0	0	0	0	0	1	8	67	

(7) 慰問・ボランティア状況

	名前	内容	来所日	延べ人数
	大福 順一	車椅子修理 清掃ボランティア	毎週火曜、水曜	88名
合計			延べ人数(団体)	0名
			〃 (個人)	88名
			〃 合計	88名

(あんじゅ音更と重複掲載)

(8) 実習生受入れ状況

受入期間	人数	受入日数	延べ人数	学校名	学部・学科	実習内容
R 5. 7. 24 ~ R 5. 8. 4	1	10	10	帯広大谷短期大学	社会福祉科	介護実習
R 5. 8. 21 ~ R 5. 9. 15	1	20	20	帯広大谷短期大学	社会福祉科	介護実習
合計	2	30	30			

(9) 地域における公益的な取組(事例について自由記述)

帯広大谷短期大学介護学科希望者のインターンシップの受入れ 音更町社会福祉協議会へリングプルの寄贈(13キロ) 音更町医療・介護講演会「看取りについて」講師派遣 下音更中学校職場体験2名受入れ 音更町社会福祉協議会福祉フェスタへの参加、介護施設、介護職についての啓発
--

音更町地域包括支援センター ロータス音更

1. 重点推進課題の実施報告

音更町地域包括支援センター ロータス音更

音更町 C 圏域の地域包括支援センターとして3年が経ち、総合相談窓口として地域に周知を図る事が出来ており、今年度についても各種相談に対し、ワンストップ機能の徹底を図ります。また 2023 年度からは新たに音更町一般介護予防事業を受託し、地域住民等との関わりを強化するとともに、町内会や民生委員・老人会との関わりにも重点を置き、各地域の課題の把握にも努めていきます。

《重点推進課題》

1 総合相談窓口としてのワンストップ機能強化と地域課題の把握と地域活動及び介護予防事業への参画 《基本方針 ①②③④》

総合相談窓口として、どのような相談に対しても、各専門職の専門性を活かし “ ONE TEAM ” となって相談解決への対応を行うとともに、必要に応じて関係機関へ繋ぐ役割を実践していく。各専門職が更なる能力向上を図るために、積極的に研修等を受講し、対応力の向上を図り、ワンストップ機能の強化を図る。また地域活動再開を見据え、民生委員や地域住民との関わりを増やすとともに、介護予防事業の円滑な運営に努めていく。

【指標・評価方法】

- ① 下記の7つの業務を円滑に行い、地域包括支援センター ロータス音更が地域拠点の総合相談の拠点として機能していく。
 - 1) 介護予防ケアマネジメント業務
 - 2) 総合相談支援業務
 - 3) 権利擁護業務
 - 4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
 - 5) 認知症施策の推進業務
 - 6) 在宅医療・介護連携の推進業務
 - 7) 地域ケア会議開催業務
- ② 各専門職の能力を補う、または向上を図るため研修を年間2回は受講する。
- ③ 音更町一般介護予防事業『あすなろクラブ』の運営を受託し、関係事業所とともに円滑な運営に努めていく。
- ④ 民生委員との意見交換会の開催を提案し、地域課題について検討していく。
また独居高齢者世帯への独自の実態把握を行う事を目的に、事前にアンケートを配布して効率良く実態把握を実施し、地域の課題や資源について把握していく。

【結果】

① 1)介護予防ケアマネジメント業務について

2023年度の介護予防ケアマネジメントの実績は、音更町地域包括支援センター ロータス音更が1,199件（前年比95件増）、居宅介護支援事業所への委託件数794件（前年比8件）と2022年度よりも増加となった。

2) 総合相談支援業務について

2023年度の総合相談件数は、2022年度と比較し29件減の375件となった。内訳としては、認定申請・介護保険についての相談が減少した一方、介護保険外サービス・心配な人（認知・精神）・医療介護連携（制度・サービス等）についての相談が増加してきている。今年度の傾向から、地域包括支援センターが、地域から「地域の総合相談窓口」としての認識されており、今後も更に認識アップされるよう努めていく。

② 2回以上のWeb研修や地域包括支援センター職員としての資質向上を目的とした、地域包括支援センター職員現任研修を受講することができ、各種専門分野の必要な知識を補うことが出来た。

③ 今年度より音更町から受託した「音更町一般介護予防事業あすなろクラブ」について、ロータス音更通所介護事業の職員と共に行う事で、滞りなく事業を運営する事が出来た。1年間通して運営する事で、利用者様と顔の見える関係性を構築する事ができ、普段の何気ない会話や自主的な介護保険制度の講話により、地域包括支援センターが担う地域の総合相談窓口としての役割を認知して頂けた。

④ 民生委員との意見交換会については、第7部会と意見交換を実施する事が出来た。また独居高齢者世帯への独自実態把握調査では、前年度の反省を踏まえ、事前にアンケート調査票を送付することで効果的に実態把握を行う事が出来た。今年度は温泉行政区を対象として、11世帯にアンケート用紙を送付。アンケートの回収率は45%であった。回答結果として訪問や連絡は不要であるとの回答が多かったが、地域の課題としては交通が不便であるとの意見があり、地域課題として町へ報告するとともに、地域ケア会議に位置づけられている、包括連絡会議でも報告を行っている。2024年度についても当調査を継続する予定であり、地域課題の抽出と解決へ向けた取り組みを行っていきたい。

2 地域包括支援センターの運営

(1) 事業所の開設

音更町より音更町地域包括支援センターC圏域の運営委託を受け、音更町地域包括支援センターロータス音更は2020年4月1日に開設した。主任介護支援専門員・保健師・社会福祉士等を配置して、3職種のチームアプローチにより、住民の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する事を目的としている。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称 音更町地域包括支援センターロータス音更
 施設 の 所 在 地 河東郡音更町中鈴蘭元町2番地9
 施設 の 種 類 地域包括支援センター・介護予防支援事業所

(2) 施設職員の配置状況

2024.3.31 現在

		管 理 者	主任 介護 支援 専門 員	保 健 師 (看 護 師)	社 会 福 祉 士	介 護 支 援 専 門 員	計
居 宅	現 員 (人)	1	(1)	1	1	(1)	3

※1 ()は兼務。

※2 基準配置については標記困難な為、現員についてのみ掲載。

(3) 利用者状況（介護給付実績 ケアマネジメントA）

2024.3.31現在

包括担当	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計	前年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
要支援1	11	39	11	42	13	40	15	37	16	35	16	35	16	34	18	37	20	39	19	37	17	40	18	40	645	593	
要支援2	11	20	12	19	13	22	14	23	14	24	14	28	14	29	14	26	13	27	12	26	13	26	12	27	453	433	
計	81		84		88		89		89		93		93		95		99		94		96		97		1098	1026	
初回加算	5		1		5		5		2		8		3		4		5		2		5		3		48	20	
終了者 (前月末)	要介護	1		2		1		0		4		0		1		1		0		4		0		0		14	21
	施設入所	0		0		1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		1	0
	死亡	0		0		0		0		0		1		1		0		0		1		0		1		4	5
	その他	1		1		1		0		0		1		0		0		0		2		0		0		6	5
	計	2		3		3		0		4		2		2		1		0		7		0		1		25	31

居宅委託	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計	前年
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
要支援1	8	16	7	15	8	15	6	15	6	14	8	16	8	13	9	16	7	18	8	18	8	16	7	15	277	291
要支援2	8	37	6	37	7	36	7	36	8	37	8	36	8	39	9	36	9	34	7	36	7	32	7	30	517	495
計	69		65		66		64		65		68		68		70		68		69		63		59		794	786

(4) 利用者状況（音更町通所型介護予防事業 ケアマネジメントB）

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計	前年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
事業対象者	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	8	0	7	0	7	0	7	0	8	0	9	88	73	
要支援1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	12	6	
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
計	8		8		8		8		8		8		9		9		8		8		9		10		101	79	
初回加算	0		0		1		0		0		0		1		0		0		1		0		1		4	4	
終了者 (前月末)	要介護	0		0		0		1		0		0		0		0		0		1		0		0		2	1
	施設入所	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0
	死亡	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0
	その他	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0
	計	0		0		0		1		0		0		0		0		0		1		0		0		2	1

(5) 相談件数・内訳

相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
新規	33	20	24	26	24	23	17	18	15	23	27	31	281	306
継続	2	4	13	7	8	7	5	9	7	13	8	11	94	98
計	35	24	37	33	32	30	22	27	22	36	35	42	375	404

受付時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
平日	35	22	37	32	32	30	21	26	20	35	35	41	366	389
休日	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3	4
夜間	0	2	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	6	10
早朝・深夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	35	24	37	33	32	30	22	27	22	36	35	42	375	404

相談方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
電話	9	4	12	11	11	9	7	10	10	13	5	11	112	124
訪問	4	2	10	2	3	3	3	0	1	4	3	5	40	43
来所	22	18	15	20	18	18	12	17	11	19	27	26	223	237
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	35	24	37	33	32	30	22	27	22	36	35	42	375	404

相談者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
本人	4	3	8	3	3	4	5	1	0	4	3	4	42	42
家族・親族	13	11	19	19	20	15	11	15	13	16	18	30	200	228
関係委員	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	5
医療機関	4	2	7	4	3	2	1	3	3	5	1	4	39	39
近隣知人	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	5	2
行政	2	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	6	6
居宅介護支援事業所	10	5	2	5	5	8	4	7	2	7	10	3	68	74
介護サービス事業所・施設	1	0	0	2	0	1	0	1	0	0	1	1	7	5
地域包括支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
民間業者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
警察	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	4	1
計	35	24	37	33	32	30	22	27	22	36	35	42	375	404

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
認定申請	21	17	28	27	21	22	16	18	13	27	26	35	271	303
介護保険	14	6	26	16	20	19	12	17	11	20	21	28	210	237
総合事業	3	0	1	0	0	2	0	1	0	3	0	2	12	21
認知症	3	1	2	3	2	3	3	3	0	3	3	6	32	52
施設サービス	7	2	1	1	2	5	3	1	5	4	1	1	33	34
介護保険外サービス	2	2	7	1	4	1	2	1	2	2	2	2	28	17
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
権利擁護	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0
地域資源	0	1	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	5	6
心配な人 (SOS)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心配な人 (安否確認)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1
心配な人 (認知・精神)	1	3	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	8	3
心配な人 (生活困難)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	2
心配な人 (その他)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
医療・介護 (退院支援)	3	1	3	2	0	1	0	0	1	3	0	2	16	16
医療・介護 (制度・サービス)	1	1	2	1	2	1	0	2	1	0	1	1	13	9
医療・介護 (在宅療養)	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	4	7
医療・介護 (その他)	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3
事業所相談 (ケアマネジメント)	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	4
事業所相談 (ケース対応・困難事例)	1	1	0	1	0	2	0	0	0	1	2	0	8	8
事業所相談 (その他)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	3	5
計	58	36	73	53	54	57	39	44	35	68	57	80	654	728

対応方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
制度や対応の説明	20	13	29	24	24	22	15	17	18	23	23	31	259	270
認定調査	18	14	17	22	17	15	12	14	11	22	22	30	214	237
家庭訪問	3	1	9	1	3	4	3	2	0	4	2	3	35	44
連絡調整	2	3	4	6	5	3	2	3	5	2	5	4	44	41
心配な人 (家庭訪問)	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	1
心配な人 (対応説明)	1	2	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	6	5
心配な人 (連絡調整)	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	0
心配な人 (SOS)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・介護 (制度や対応の説明)	3	2	4	3	2	2	0	3	3	2	1	3	28	24
医療・介護 (ケアマネ調整)	1	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	5	5
医療・介護 (家庭訪問)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	6
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
事業所相談 (助言・指導)	1	1	0	1	0	3	0	0	0	1	2	0	9	10
事業所相談 (継続支援)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
事業所相談 (保険者回答)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情 (事業所への指導・助言)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情 (当事者間の調整)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情 (相談者に説明・助言)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情 (他機関を紹介)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情 (道へ通報)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情 (謝罪・対応)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	51	37	66	57	54	49	34	39	38	58	56	72	611	645

(6) 訪問件数・内訳

訪問件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
アセスメント	18	18	8	10	5	11	12	9	11	7	12	1	122	152
ケアマネジメントA	53	60	68	63	49	62	63	61	53	46	57	61	696	665
ケアマネジメントB	2	1	0	2	4	4	3	1	2	3	4	11	37	21
サービス未利用者	0	0	0	9	13	5	6	6	6	1	0	0	46	23
継続支援	1	2	3	2	1	0	1	2	0	2	5	10	29	12
認知症初期集中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
困難事例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
権利擁護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安心ネットワーク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	74	81	79	86	72	82	85	79	72	59	78	83	930	873

(7) 認定調査件数

認定調査件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年
新規調査	11	9	15	19	11	17	10	11	11	18	10	21	163	168
区分変更調査	15	6	7	7	6	8	7	5	7	20	12	10	110	82
更新調査	10	13	15	11	25	20	13	11	14	7	18	15	172	102
計	36	28	37	37	42	45	30	27	32	45	40	46	445	352

(8) 地域活動（出前講座など）

2023年8月2日（水）15時50分～16時50分			
開催場所	音更町総合福祉センター		
対象者	音更町民生委員 第7部会	参加人数	10名
内容	包括支援センターの役割について		
担当職員	武田部門長・木戸看護師		

2023年8月21日（月）10時30分～11時45分			
開催場所	音更町地域包括支援センター		
対象者	音更町社会福祉協議会 社会福祉士実習生対応	参加人数	1名
内容	音更町C圏域の現状について（講話）		
担当職員	武田部門長		

2023年10月26日（木）10時00分～10時30分			
開催場所	とかち帯広YMCA 幼保園		
対象者	とかち帯広YMCA 幼保園 年長児	参加人数	7名
内容	認知症キッズサポーター養成講座		
担当職員	加須屋包括主任（町との共催）		

2023年12月5日（火）11時25分～12時10分			
開催場所	音更町立下土幌小学校		
対象者	下土幌小学校 5年生・6年生	参加人数	12名
内容	認知症サポーター養成講座		
担当職員	木戸看護師（町との共催）		

2024年1月24日（水）13時30分～			
開催場所	木野南保育園		
対象者	年長児	参加人数	25名
内容	認知症キッズサポーター養成講座		
担当職員	川崎社会福祉士（町との共催）		

2024年2月14日（水）10時00分～11時35分			
開催場所	木野コミュニティーセンター		
対象者	認知症介護のご家族	参加人数	3名
内容	認知症介護家族交流会		
担当職員	町 高齢者福祉課包括支援係・武田部門長		

2024年2月16日（金）14時30分～15時0分			
開催場所	すずらん生活館		
対象者	あすなろクラブ利用者	参加人数	15名
内容	介護保険制度について		
担当職員	包括職員3名		

2024年2月17日（土）13時40分～17時0分			
開催場所	下音更中学校		
対象者	音更町民	参加人数	81名
内容	令和5年度 音更町冬季避難所宿泊体験訓練		
担当職員	町危機対策課・包括職員4名		

あんじゅ音更 指定居宅介護支援事業所

1. 重点推進課題の実施報告

あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所

利用者様、ご家族が望む生活を実現するため、心身の状況や病状の理解、利用者様に影響を与えるその他の因子などを把握し、利用者様の能力に適したサービス提供が行えるよう、保健・医療・福祉サービス事業所と連携を図り、ケアマネジメント業務に努める。

《重点推進課題》

利用者様の心身の状況や、利用者様に影響を与える環境を把握し、適切なタイミングで必要な支援が提供できるよう事業所内でケースの相談や検討を行うとともに、介護支援専門員個々の技術向上を目指す。

【指標・評価方法】

- ① 利用者様の心身の状況や利用者様に影響を与える環境の理解に努め、支援方法について検討できる場を持ち、職員一人一人が抱え込まず協力し合える環境を作る。また相談受付簿や日常業務の中で、利用者様の情報を全職員で共有することにより、担当職員以外でもサービスの調整や不測の事態に迅速に対応できるよう、業務改善を図っていく。
- ② 職員各々が自己研鑽に務めアセスメント力の向上を図り、利用者様の解決すべき課題を的確に見極め、質の高いケアマネジメントが提供できるよう努める。
- ③ 感染症、災害のリスクについて学ぶ機会を持ち、BCP(業務継続計画)を作成する。

【結果】

- ① 毎週開催している居宅会議にて、事例検討会を実施。困難事例から、マネジメント初期の事例まで幅広く取り扱うことを意識した。初期の事例については、アセスメントにおいて見落としている視点や課題がないかを事業所内全員で検討し、対応策を導き出すことができた。また、今年度より事業所内職員の訪問や担当者会議の予定を共有のツールで把握し、利用者様やご家族からの問い合わせ等の事態に、迅速に対応することができた。
- ② 2か月に1回開催される音更町のケアマネジャー連絡会に参加し、町内他事業所との事例検討会を通して、アセスメント力の向上を図ることができた。また、事業所内においても、新しいアセスメント様式に内容を改め、勉強会にて理解を深め活用することができた。
- ③ 2023年度末に業務継続計画を策定することができた。2024年度については、事業所内の運用を想定しながら見直しを実施し、研修や訓練を実施していく。

2 居宅介護支援の運営

(1) 事業所の開設

居宅介護支援事業は、介護保険法に基づき平成18年2月1日に開設した。

利用者が要介護状態になった場合、適切でかつ速やかに介護支援を受けることが出来るように、利用者の選択に基づき保健サービス及び福祉サービスが総合的・効率的に提供できるように運営。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称 あんじゅ音更 指定居宅介護支援事業所
施設 の 所 在 地 河東郡音更町中鈴蘭元町2番地9
施設 の 種 類 居宅介護支援

(2) 施設職員の配置状況 2024.3.31 現在

		管 理 者	主任 介 護 支 援 専 門 員	介 護 支 援 専 門 員	計
居 宅	現 員 (人)	1	1 (1)	5	7

※1 ()は兼務。○は非常勤の内数。

※2 基準配置については標記困難な為、現員についてのみ掲載。

(3) 居宅介護支援事業所 相談実件数及び相談内容

2024.3.31現在

電話	来所	訪問	合計
107 件	4 件	3,734 件	3,845 件

介護保険関係						合計
制度全般	認定申請	在宅サービス	施設サービス	保険・利用料等	相談・苦情	
13 件	14 件	119 件	25 件	0 件	1 件	172 件

地域・福祉・医療関係						合計
高齢者福祉	障害制度	通院・入退院	介護予防	地域支援	その他	
14 件	0 件	47 件	0 件	0 件	6 件	67 件

(重複掲載)

(4) 介護度別 居宅介護サービス計画作成状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	前年合計
4月	7.5 件	12.5 件	131 件	44 件	18 件	11 件	5 件	229.0 件	223.5 件
5月	7.0 件	11.5 件	139 件	45 件	22 件	9 件	5 件	238.5 件	221.5 件
6月	8.0 件	11.0 件	135 件	46 件	21 件	11 件	5 件	237.0 件	218.0 件
7月	7.5 件	11.5 件	138 件	43 件	19 件	10 件	4 件	233.0 件	222.0 件
8月	7.0 件	12.0 件	128 件	41 件	19 件	13 件	4 件	224.0 件	230.0 件
9月	8.0 件	12.0 件	119 件	44 件	19 件	11 件	4 件	217.0 件	267.0 件
10月	6.5 件	13.0 件	118 件	44 件	18 件	10 件	3 件	212.5 件	229.0 件
11月	7.0 件	12.5 件	119 件	42 件	19 件	9 件	4 件	212.5 件	227.5 件
12月	6.0 件	10.0 件	117 件	46 件	15 件	8 件	4 件	206.0 件	231.0 件
1月	6.5 件	10.5 件	119 件	42 件	14 件	9 件	4 件	205.0 件	224.0 件
2月	6.5 件	9.5 件	109 件	47 件	19 件	10 件	4 件	205.0 件	212.5 件
3月	6.5 件	8.0 件	107 件	50 件	18 件	11 件	4 件	204.5 件	209.5 件
合計	84.0 件	134.0 件	1,479 件	534 件	221 件	122 件	50 件	2,624.0 件	2,715.5 件

(5) 地域における公益的な取組

介護支援専門員現場実習事業による実習生受け入れ 本年度2名実績
 自立支援型個別ケア会議への参加及び事例提供(音更町地域包括支援センターロータス音更/ほほえみ/らんらん 各包括主催)

老 健 音 更

介護老人保健施設 あんじゅ音更
あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所
あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

1. 重点推進課題の実施報告

(1) 介護老人保健施設 あんじゅ音更

利用者様が、住み慣れた環境(地域)において、笑顔で自立した生活を送ることができるよう、個々に合わせたリハビリやレクリエーション、軽作業、季節ごとの行事などの活動を提供し、生活機能の維持・向上を図り、老人保健施設の役割である在宅復帰・在宅療養支援の機能を果たしていく。

《重点推進課題》

1. 介護老人保健施設の役割を踏まえた支援

《基本方針 ①②》

入所者様の心身状態、ご家族の思いを共有し、医療と介護、リハビリ・食事・相談援助を一体的に提供し、在宅復帰に向けた支援の充実化を目指す。

【指標・評価方法】

- ① ケアカンファレンスを通じて各職種の担当者を軸に、入所者様の心身状態の確認・評価を行い、目標の設定と支援内容の検討をする。状況の変化があれば、随時、ミニカンファレンスを開催し、情報共有や支援内容の修正等を迅速に行えるようにする。
- ② 個別リハビリの実施や集団体操・レクリエーションを通じて活動の機会をつくる。日常生活で実施できるリハビリや自主訓練を各職種で検討し実施する。

【結果】

- ① 入所者様の状態変化に合わせてカンファレンスを随時開催し、各職種間で意見交換を行い、ケア内容の見直しや目標の再設定を行ってきた。決定事項については、ほのぼのの連絡ツールやケース記録に記載し、各職員が同じ視点で支援が行えるよう周知を図った。
その結果、例として、起居動作が安定してできるようになり、在宅復帰に繋がったケースもあり、今後も老健施設の役割を踏まえた支援を目指していく。
- ② 個別リハビリや集団体操などを通じて活動機会を作っているが、感染症の拡大防止のために一時的に中止する事もあった。また、利用者様の意欲向上や自主性を高めるため、自主訓練ノートを作成し、実施後は印鑑を押すことで頑張りが目に見え、毎日の活動量アップに加えモチベーションの向上にもつながることもあった。また、リハビリ職員と協議し、リハビリ補助として介護職員等も移乗動作訓練等を提供し機能訓練の機会が増えるよう支援してきた。

2. 安定した入所率の確保

《基本方針 ①②③》

2022 年度において入所率の低迷が著明であった。入所までの手順を見直し、入所率の向上・安定化を目指す。また、2024 年度介護保険制度改正の情報を素早く読み取り、スムーズに適応できるよう、情報共有する。

【指標・評価方法】

- ① 今年度は 95%を目標に施設全体で共有する。
- ② 十勝老健部会による月初めの空所情報案内を通じて、医療機関・居宅介護事業所との連携を強化する。
- ③ 申し込みの時点で「待機者」「即入所希望者」の 2 グループに分けて管理し、優先順位をつけて素早く面談を行う。
- ④ 退所後の空床期間を短縮できるように、事前に入所判定会議を行い、空床ができた場合に即、入所に繋げられるようにする。
- ⑤ 次期改正の情報を幹部会議にて共有し、今後の対応や加算の取得など検討する。

【結果】

- ① 幹部会議にて毎月の稼働状況と目標値の共有を行ってきた。また、稼働率の向上を目的とし 10 月より支援相談員（介護支援専門員）の増員を行ったが 2023 年度の稼働率は「89.73%」にとどまり、月平均の入退所が「入所 11.08 人」に対し「退所 10.75 人」であり、入所者数が退所者数とほぼ同数であったことが低迷の要因であった。
- ② 毎月の空床情報案内の活用はもちろん、今までつながりが薄かった医療機関にも直接連絡を行うようにしたことで新規受け入れに繋がるケースもあった。また、居宅事業所にも空床情報を口頭で伝え、緊急ショートステイから入所に繋がったケースもあった。
なお、空床情報案内では他施設の空所状況を確認することができるが、十勝管内の老健施設全体に常时空床があり、現在も状況は変わっていない。
- ③④ 主に医療機関の退院期限の迫っている方を即入所希望者として管理し、申し込み後すぐに病院で面談を行い、即入所判定会議を行ってきた。また、越冬利用を希望される方などの情報を事前に集め、入所判定会議のメンバーに周知し、正規の会議開催後即入所できるように調整も行った。結果、空床ができた翌日に新規受入を行うなど、空床の時期が少なくなるよう素早く対応はできた。
- ⑤ 3 月の幹部会議にて現時点で出てきた情報を共有。その場では具体的な算定条件が不透明な物もあり、検討には至らなかった。今後の算定要件を確認しながら積極的に算定できるよう努めていく。

(2)あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所

記録の電子化を最大限活用することで、さらなる業務改善を図り、新たに確保した時間を利用者様へ還元することを目指す。

また、自立支援を念頭におき、心身機能の維持回復を図る通所リハビリテーションの役割を踏まえ、リハビリテーションの適正評価を行いながら、住み慣れた地域や自宅で継続した生活が送れるよう支援を行っていく。

《重点推進課題》

1. 記録の電子化後のさらなる業務改善への躍進

《基本方針 ①④》

これまで、記録の電子化により業務の円滑化を推進し、業務改善に取り組んできた。今年度さらに躍進すべく、業務改善で得られた時間を有効活用し、個別活動の充実や創作活動の確保時間増に努め、あんじゅの新たなセールスポイントを確立し、より新しいアイデアへと進化する。

【指標・評価方法】

- ① 業務円滑化に伴い確立できた有効時間の活用について「個別運動メニュー」をさらに2つ新たに増やし、活動を通じた利用者様の役割確保及び社会参加の促進へと繋げる。
- ② 業務円滑化に伴い確立できた有効時間の活用について「創作活動」をさらに充実させ、活動を通じた利用者様同士の交流機会確保及び機能維持支援を実施する。

【結果】

- ① 主に YouTube やカラオケのコンテンツを活用し、利用者様に合わせた個別運動メニューを新たに提供することが出来た。繰り返し使用することで利用者様にも体で覚えて頂き、抵抗感なく進められた。又、従来はタオルやおしぼりたたみの家事作業が主体だったが、新たに洗濯作業(洗濯物干し)やテーブル拭き作業なども追加することで利用者様の役割確保に努めることができた。
- ② 施設壁面の飾り付けについて、春夏秋冬のバリエーションをもたせるため、利用者様と創作活動を実施することが出来た。主に手先の器用な女性利用者様が中心だったが、時には男性利用者様にも参加要請を行い、利用者様同士の交流も重ねながら創作活動に取り組むことができた。

2. リハビリ評価尺度の確立

《基本方針 ①②④》

現在、当事業所が提供するリハビリテーションは、大きく分けて、リハビリ職員とマンツーマンで行う「個別リハビリ」、介護職員が付き添い指導する「リハ補助」、決められたメニューを利用者様自身でこなして頂く「自主訓練」の三段階で構成されている。利用者様の身体機能や生活ニーズに合わせて現在の心身機能に応じた適切なリハビリが実施できるようにするため、評価尺度を確立し、専門家からのリハビリテーションを随時卒業し、より自立度の高いリハビリテーションの提供を行う。

【指標・評価方法】

- ① 「個別リハビリ」から「リハ補助」へ移行する段階、「リハ補助」から「自主訓練」へ移行する段階、それぞれにおいての評価尺度を確立するため、リハビリ担当・担当介護職員・支援相談員の3名でミニカンファレンスを行い、各専門職員の意見を集約し、移行評価を記録していく。
- ② 「リハ補助」に登録されている利用者様の人数が偏っているため、「自主訓練」へ移行する人数をさらに増加し、利用者様への適切な移行評価の説明を行い、自主的なリハビリテーション実施へと繋げていく。

【結果】

- ① ミニカンファレンスの開催は 19 件。リハビリ評価に留まらず、日頃の支援に対する対応方法なども協議し、発信することができた。ただ、担当毎で開催数にかなりのバラつきが見られたのは反省点として挙げられる。

下半期には「リハ補助アセスメント表」原案を完成させ、その中に「自主訓練移行評価チャート」を盛り込み、一律の評価基準に基づき判断できるようなチャートを作成した。2月・3月のデイケア会議内にて各担当より1名ずつ利用者様を挙げ模擬カンファレンスを実施。各担当者へカンファレンスの進め方や周知方法を伝達し、記録に残した。

- ② 年度末で「リハ補助」登録者が 71 名、「自主訓練」が 7 名の結果。1年間を通して自主訓練への移行人数増加には至らなかった。

次年度は「自主訓練移行評価チャート」の活用促進を掲げており、1名でも多く自主訓練へ移行できるよう体制作りを構築していく。

(3) あんじゅ音更（介護予防）訪問リハビリテーション事業所

生活機能の維持・向上を目的として、リハビリテーションを行い、住み慣れた家と地域で、利用者様、ご家族が笑顔で在宅生活を続けていただけるよう支援する。

また「活動」や「参加」に焦点を当てた提案やアプローチを行っていく事で、利用者様が主体的に日常生活活動を営む事が出来るよう支援する。

そして利用者様の機能に合わせた、適切な福祉用具の選択や住環境整備の提案を行うことで、利用者様が在宅生活において、最大限の能力を発揮し、質の高い生活を送っていただけるよう支援する。

《重点推進課題》

1. 継続した在宅生活への支援

《基本方針 ①②》

利用者様の機能・能力、日常生活や家屋状況を把握し、適切なリハビリテーションプログラムを立案・実行する事で、安心安全な生活を送れるよう支援する。さらに近年、新型コロナウイルス感染症の流行により閉じこもりがちな生活を余儀なくされていた利用者様がアフターコロナに向けて活動範囲が拡大できるよう、個々に合わせた自主訓練メニューを提案し心身機能の維持向上に繋がるよう支援するとともに、利用者様の興味関心に焦点を当てた活動の提案や地域行事への参加促しを行う。また、ご家族への介護指導や不安等に耳を傾けることで在宅生活をより長く継続できるよう支援する。

【指標・評価方法】

- ① 医師の診察・指示のもと、利用者様個々の状態に合わせたリハビリテーションプログラムを作成・実施し、心身機能の維持・向上を図る。また利用者様やご家族の在宅生活を営む上での希望と、家屋環境を踏まえたリハビリテーションプログラムを作成し、実際の生活に即した訓練を提供する。
- ② 自主訓練メニューなどを提供し訪問リハビリテーション以外の時間も活動できるきっかけを作っていく。また興味関心チェックリストを活用し、利用者様が興味関心をもっていただけの活動を模索する。
- ③ 定期的にリハビリテーション会議を開催し、利用者様とご家族、医師、担当リハビリ職員でリハビリテーションの進捗状況の確認や今後の方針について情報共有を行う。また訪問リハビリテーションから他の居宅系サービスへの移行など現状に適したサービスへの切り替えも検討する。必要に応じて関係機関へ会議の内容を伝達し、情報共有を図る。
- ④ 年1回、利用者様・ご家族に向けたアンケートを実施し、リハビリテーションの満足度や職員の対応、態度等について意見を聞き、今後の業務に活かす。

【結果】

- ① 利用者様の身体機能や家屋環境を踏まえたリハビリテーションプログラムを作成・実施し心身機能の維持向上を図った。訪問リハビリテーションを実施している時間以外でも運動の機会を持って頂く事を目的に、自主訓練メニューを作成し指導を行っていた。しかし習慣化までは至っていない。

また他事業所を併せて利用している利用者様については、その事業所と連絡を取って利用者様に行って頂きたい運動メニューをお伝えした。しかし実施状況の確認は行えていなかった。

効果的な心身機能向上につながるよう、自主訓練の継続支援に加えて他事業所との連携体制を構築する事が今後の課題である。

- ② リハビリテーション会議はリモートで行い、地域の新型コロナウイルス感染症の感染状況に左右される事無く継続して実施することができた。リモートで行う事で利用者様、ご家族が医師とリハビリ職員と、訪問リハビリテーションの進捗状況や今後の方針をリアルタイムで共有していただくことができた為、利用者様ご自身がこれからの目標を意識しながらリハビリテーションに取り組んでいただくきっかけを作ることができた。

他サービスへの移行については、今年度対象となる利用者様がいらっしゃらなかったため行っていない。

- ③ アンケートを実施し、職員の待遇面、リハビリテーション内容等について満足しているとの回答を得られた。

2 介護老人保健施設・(介護予防)短期入所療養介護・

(介護予防)通所リハビリテーション・(介護予防)訪問リハビリテーションの運営

(1) 施設の開設

第二種社会福祉事業としての老人保健施設の設置については、介護保険法（平成9年法律123号）第94条の第1項の規定に基づき、平成16年4月7日付で北海道知事に対し設置許可申請を行い、平成16年4月23日付（十保保第153号-1号指令）で許可を受けた。

平成16年5月1日付で「老人保健施設事業開始届」を北海道知事に提出し受理された。併せて、デイケアサービス利用定員20名の開始も受理された。

また、平成18年1月1日より事業拡大の為、通所利用定員30名に変更した。
平成21年8月20日付けで介護保険法第70条第1項の規定に基づく同法第41条第1項本文の指定居宅サービス事業者、並びに同法第115条の2第1項の指定に基づく同法第53条第1項本文の指定介護予防サービス事業者として指定され、訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーションのサービスを平成21年8月25日より開始した。

概要は、次のとおり

施設 の 名 称	介護老人保健施設 あんじゅ音更
施設 の 所 在 地	河東郡音更町中鈴蘭元町2番地9
施設 の 種 類	介護老人保健施設 (介護予防)短期入所療養介護 (介護予防)通所リハビリテーション (介護予防)訪問リハビリテーション
入 所 定 員	100名(短期入所療養介護・定員10名、ただし空床利用)
通 所 定 員	30名(1日当たり)

(2) 施設職員の配置状況

2024/3/31 現在

		施設長 (医師・管理者)	事 務 長	事 務 員	支 援 相 談 員	介 護 職 員	看 護 職 員	管 理 栄 養 士	セ ラ ピ ス ト	介 護 支 援 専 門 員	介 護 ア シ ス タ ン ト	介 助 員	運 転 手	用 務 員	夜 間 警 備 員	調 理 員	計	
入 所	基準数 (人)	1			1	24	13	1	1	1							42	
	現員 (人)	1	1	1	4	38 ⑧	16 ⑥	1	7 (1)		7 (4)	⑦	6 ⑤		1 ①	3 ③	委 託	86 ⑩
通 所	基準数 (人)	1				3			1									5
	現員 (人)	(1)			1	10 ③		(1)	1 (7)		1 ①		2 ②				委 託	15 ⑥
訪 問	基準数 (人)								1									1
	現員 (人)								(8)								委 託	

* ()は兼務。○は非常勤の内数。

(3)行事実施状況(入所)

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	各誕生日	誕生会	各階食堂	8名
	10.11.12日	変わり湯	2階浴室	88名
	26日	お寿司行事(2階)	2階食堂	45名
	27日	お寿司行事(3階)	3階食堂	46名
5月	各誕生日	誕生会	各階食堂	8名
	10日	母の日 ミニパフェ(3階)	2階食堂	43名
	15日	母の日 クレープ作り(2階)	3階食堂	42名
	22日	開設19周年記念食事会	2階3階食堂	90名
6月	各誕生日	誕生会	各階食堂	5名
	14日	父の日 調理レク たこ焼き(2階)	2階食堂	43名
	22日	父の日 パフェ作り(3階)	3階食堂	46名
7月	各誕生日	誕生会	各階食堂	5名
	26日	納涼祭(2階)	2階食堂	45名
	27日	夏まつりレク(3階)	3階食堂	42名
	7, 11, 21日	ドライブレク(2階)	音更道の駅	11名
8月	各誕生日	誕生会	各階食堂	7名
	24日	焼肉行事(3階)	3階食堂	44名
	25日	夏レク ぜんざい作り(3階)	2階食堂	43名
	17.18.19日	変わり湯(2階.3階)	2階浴室	86名
	22, 29日	ドライブレク(2階)	音更道の駅	7名
9月	各誕生日	誕生会	各階食堂	6名
	22日	敬老祝賀会(3階)	3階食堂	47名
	22.27日	敬老祝賀会(2階)	2階食堂	42名
	6, 29日	ドライブレク(2階)	音更道の駅・麦音	6名
10月	各誕生日	誕生会	各階食堂	5名
	4日	ドライブレク(2階)	麦音	3名
	17日	寿司行事(2階)	2階食堂	41名
11月	各誕生日	誕生会	各階食堂	0名
	22日	寿司行事(2階)	2階食堂	46名
	27日	寿司行事(3階)	3階食堂	44名
	29日	運動会(2階)	2階食堂	47名
	30日	調理レク ふかし芋(3階)	3階食堂	44名
12月	各誕生日	誕生会	各階食堂	2名
	20日	クリスマス会(2階)	2階食堂	49名
	21日	クリスマス会(3階)	3階食堂	46名
1月	各誕生日	誕生会	各階食堂	11名
	24日	ドーナツ作り(2階)	2階食堂	45名
	30日	調理レク ぜんざい(3階)	3階食堂	45名
2月	各誕生日	誕生会	各階食堂	10名
	5日	節分 豆まき(3階)	3階食堂	44名
	7日	節分 豆まき(2階)	2階食堂	46名
	22日	鍋行事(3階)	3階食堂	48名
	28日	鍋行事(2階)	2階食堂	44名
3月	各誕生日	誕生会	各階食堂	17名
	6日	桜とあんこの焼きまんじゅう作り(2階)	2階食堂	46名
	28日	調理レク バナナホットケーキ(3階)	3階食堂	49名
	28.29.30日	変わり湯	2階浴室	97名

(3) 行事实施状況(通所)

月	実施日	内 容	場 所	参加人数
4月	各誕生日	誕生会	デイルーム	9名
5月	各誕生日	誕生会	デイルーム	9名
	22日	昼食行事(開設記念行事食)	デイルーム	27名
6月	各誕生日	誕生会	デイルーム	5名
7月	各誕生日	誕生会	デイルーム	4名
	19日	昼食行事(サンドイッチ作り)	デイルーム	31名
8月	各誕生日	誕生会	デイルーム	5名
	28日～	麺週間	デイルーム	164名
9月	各誕生日	誕生会	デイルーム	4名
	11日～16日	敬老会(表彰者13名)	デイルーム	131名
	14日	昼食行事(おにぎり作り)	デイルーム	34名
10月	各誕生日	誕生会	デイルーム	11名
11月	各誕生日	誕生会	デイルーム	7名
	24日	昼食行事(お寿司)	デイルーム	25名
12月	各誕生日	誕生会	デイルーム	5名
	18日～23日	クリスマス会&忘年会	デイルーム	159名
	22日～23日	入浴行事(ゆず湯)	お風呂場	47名
1月	各誕生日	誕生会	デイルーム	8名
	27日	昼食行事(海鮮ちらし寿司&うどん)	デイルーム	23名
2月	各誕生日	誕生会	デイルーム	10名
3月	各誕生日	誕生会	デイルーム	9名
	11日	昼食行事(稲荷・細巻き作り)	デイルーム	31名

(4)利用者の状況

2024.3.31 現在

ア. 年齢別構成状況(人)

		未満	65	70	75	80	85	90	95	合計	最低年齢	最高年齢	平均年齢	前年平均
		5	5	5	5	5	5	5	以上					
一般棟	男	1	1	0	0	2	1	2	2	9	62	95	84.0	85.1
	女	0	1	2	4	2	11	10	7	37	65	102	87.5	88.0
	計	1	2	2	4	4	12	12	9	46			86.8	87.5
認知症専門棟	男	0	0	1	0	2	1	3	0	7	73	92	84.6	87.4
	女	0	0	2	5	2	9	11	8	37	70	105	88.5	87.7
	計	0	0	3	5	4	10	14	8	44			87.9	87.7
合計		1	2	5	9	8	22	26	17	90			87.4	87.6

イ. 要介護度別利用者状況(延人数)

性別	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均	前年平均
男	847	1,621	1,009	852	407	4,736	2.65	2.61
女	6,695	6,267	4,177	4,934	4,532	26,605	2.79	2.73
計	7,542	7,888	5,186	5,786	4,939	31,341	2.77	2.72

ウ. 介護保険者別構成状況(人)

	帯広市	音更町	士幌町	上士幌町	清水町	池田町	本別町	鹿追町	広尾町	芽室町	陸別町	豊頃町	幕別町	合計
男	4	11	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	16
女	17	51	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	74
計	21	62	3	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	90

エ. 入所者所得段階

	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階	合計
男	1	0	3	4	8	16
女	4	7	16	14	33	74
計	5	7	19	18	41	90

オ. 健康保険加入状況(人)

	後期高齢者医療制度	国民健康保険	社会保険	組合健康保険	生活保護	合計
男	14	1	0	0	1	16
女	69	1	0	0	4	74
計	83	2	0	0	5	90

カ. 在所者利用期間別構成状況(人)

	1年未満	1~2	2~3	3~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	9~10	10年以上	合計
男	14	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	16
女	42	10	7	5	0	1	2	0	2	2	3	74
計	56	11	7	5	0	1	2	0	2	3	3	90

キ. 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
男	0	0	0	1	5	2	7	0	1	16
女	0	0	3	6	27	12	22	1	3	74
計	0	0	3	7	32	14	29	1	4	90

ク. 認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合計
男	1	0	1	1	8	5	0	0	16
女	1	1	4	17	22	21	7	1	74
計	2	1	5	18	30	26	7	1	90

ケ. 栄養関係加算状況(延人数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般棟	栄養ケアマネジメント加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症専門棟		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

コ. 通院状況(延人数)

	内科	精神科	循環器科	呼吸器科	外科	総診	整形外科	形成外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻科	神経内科	口腔外科	合計
男	2	5	0	0	1	0	2	0	6	5	5	2	11	0	0	0	37
女	49	52	16	0	11	3	39	4	7	10	6	2	34	4	2	0	239
計	51	57	16	0	12	3	41	4	13	15	11	2	45	4	2	0	276

(重複掲載)

サ. 往診状況(延人数)

	内科	歯科	眼科	皮膚科	合計
男	0	36	0	0	36
女	0	178	0	0	178
計	0	214	0	0	214

(重複掲載)

シ. リハビリ実施状況(延人数)

		入所	通所	合計
内容	集団活動 体操	0	0	0
	個別訓練 機能訓練・ADL訓練・嚥下訓練・言語訓練(入所:ショートステイの個別訓練含む) 知的活動(パズル・計算・語想起等)	12,884	1,914	14,798
合計		12,884	1,914	14,798

ス. 入所・短期利用状況

利用状況		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
	目数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
入所利用延人数		2,557	2,618	2,525	2,530	2,607	2,550	2,645	2,547	2,703	2,649	2,599	2,811	31,341	31,192
短期利用延人数		118	178	183	131	106	112	63	97	162	140	79	133	1,502	1,194
1日平均人数		89.17	90.19	90.27	85.84	87.52	88.73	87.35	88.13	92.42	89.97	92.34	94.97	89.73	88.73
入所率(%)		89.17	90.19	90.27	85.84	87.52	88.73	87.35	88.13	92.42	89.97	92.34	94.97	89.73	88.73

セ. 入退所状況(人)

入所		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年合計
	家庭		6	7	5	7	4	6	2	5	7	9	4	4	66
病院		5	5	4	5	5	7	4	6	6	5	8	7	67	45
他施設		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		11	12	9	12	9	13	6	11	13	14	12	11	133	112
退所	家庭	8	8	8	5	5	3	2	3	7	2	2	5	58	54
	病院	5	1	3	3	5	3	5	3	5	9	7	6	55	41
	他施設	0	1	0	1	1	1	1	0	2	1	0	0	8	11
	死亡	0	0	1	2	1	0	2	0	0	1	1	0	8	8
合計		13	10	12	11	12	7	10	6	14	13	10	11	129	114

ソ. 入所待機者状況(人)

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男			4	1	5	1	0	11
女			2	1	1	1	0	5
計			6	2	6	2	0	16

タ. 入所者・利用者減免状況

	入所減免額			(予防)短期減免額			(予防)通所減免額					合計 (円)
	通常減免		1件当平均 (円)	音更町減免		1件当平均 (円)	通常減免		音更町減免他		1件当平均 (円)	
	件数	金額(円)		件数	金額(円)		件数	金額(円)	件数	金額(円)		
4月	4	139,790	34,948	0	0	0	78	137,402	2	3,292	1,759	280,484
5月	4	162,840	40,710	1	1,619	1,619	74	136,067	2	5,006	1,856	305,532
6月	5	172,840	34,568	1	11,560	11,560	79	143,825	2	5,333	1,841	333,558
7月	4	159,080	39,770	1	10,226	10,226	80	139,110	2	4,930	1,757	313,346
8月	4	174,400	43,600	0	0	0	76	136,209	2	5,346	1,815	315,955
9月	4	163,260	40,815	1	1,619	1,619	77	142,000	2	4,992	1,861	311,871
10月	3	102,210	34,070	0	0	0	78	88,948	2	4,681	1,170	195,839
11月	4	137,460	34,365	0	0	0	78	137,356	2	6,180	1,794	280,996
12月	4	175,850	43,963	1	4,555	4,555	72	129,695	1	4,379	1,837	314,479
1月	5	180,890	36,178	0	0	0	71	124,145	1	1,412	1,744	306,447
2月	4	164,500	41,125	0	0	0	69	130,996	1	1,399	1,891	296,895
3月	5	215,930	43,186	0	0	0	68	140,117	1	1,746	2,056	357,793
合計	50	1,949,050	467,297	5	29,579	29,579	900	1,585,870	20	48,696	21,381	3,613,195

チ. (介護予防)通所実施状況

	登録人数	開放日数	利用人員	一日平均人数	利用率(%)	介護度別延べ人数(人)						サービス状況(回)								
						要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	入浴	入浴(予)	食事	リハマネロ(イ)	短期集中リハ	認知症短期	運動機能	送迎減算
4月	97	25	687	27.48	91.60	30	74	345	122	74	29	13	508	65	687	0	0	0	3	14
5月	96	27	731	27.08	90.25	32	81	366	147	61	29	15	546	71	731	0	0	0	2	8
6月	97	26	736	28.31	94.36	33	57	382	156	65	30	13	579	51	736	0	0	0	0	14
7月	101	26	740	28.47	94.88	31	51	403	155	70	19	11	575	49	740	0	0	0	0	13
8月	97	27	726	26.89	89.63	33	63	380	149	65	22	14	545	59	726	0	0	0	0	7
9月	94	26	713	27.43	91.42	25	64	346	167	76	26	9	548	59	713	0	8	0	1	6
10月	93	26	443	17.04	56.80	13	44	222	95	50	15	4	332	36	443	0	0	0	3	3
11月	94	26	711	27.35	91.16	33	64	337	164	84	20	9	524	51	711	0	0	0	3	10
12月	90	26	678	26.08	86.93	25	70	344	137	75	19	8	516	54	678	0	0	0	3	8
1月	86	25	577	23.08	76.94	28	58	248	131	90	15	7	432	49	577	0	0	0	0	14
2月	91	25	646	25.84	86.14	36	65	275	148	96	17	9	469	58	646	0	0	0	0	8
3月	87	26	673	25.89	86.29	28	57	292	163	98	18	17	495	48	673	0	0	0	0	8
合計	311	8,061	25,92	86.40	347	748	3,940	1,734	904	259	129	6,069	650	8,061	0	8	0	15	113	
昨年同期	311	7,778	25.01	83.37	358	942	3,347	2,053	625	284	169	5,595	833	7,777	0	75	0	60	138	

ツ. (介護予防)訪問リハビリテーション実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	1	2	2	2	1	3	3	3	2	3	3	2	27
()内は予防	(1)	(1)	(1)	(1)	(0)	(2)	(2)	(2)	(1)	(0)	(0)	(0)	(11)
延べ人数	2	5	5	3	5	6	9	13	12	12	13	12	97
昨年同期	15	15	16	17	12	16	11	8	7	8	10	7	142

(5) 苦情受付件数と主な内容

1 件				
部門	苦情申出者	内 容	第3者委員等の報告	結果
入所	家族	介護中の事故による左腕の骨折があったが、患部の異常に気づいたのが発生から15時間経過しており、ご家族からは「なぜ長時間放っておかれたのか」「なぜ朝に連絡をくれなかったのか」「病院搬送する際に家族が希望した救急車で搬送できなかったか」などの対応への不満を強く話される。	なし	解決
		対応策 ⇒ 施設職員で2度、お詫びと状況説明に訪問し、ご理解を頂いた。今後の通院対応とかわかった費用については施設負担とすることとした。		

(6) 介護事故件数

重大事故 (行政報告)		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計	
	入所	1	8	7	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	23
	短期	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	デイケア	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	合計	1	11	8	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	28

事故 (施設内処理)		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	7	8	50	42	22	29	0	0	2	0	0	3	163
	短期	1	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	デイケア	0	0	6	1	0	0	0	0	1	0	1	0	9
	合計	8	8	62	44	22	29	0	0	3	0	1	3	180

ヒヤリハット		誤嚥 (誤飲・誤食・異食・窒息等)	誤薬 誤配	転倒	転落	打撲 捻挫 脱臼 変色	火傷 裂傷 皮膚剥離	無断外出 行方不明	送迎車に よる事故	自傷行為 暴力	職員言動 処遇	溺水	その他	合計
	入所	14	9	52	56	6	1	0	0	0	0	0	12	150
	短期	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	デイケア	0	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	3	13
	合計	14	12	62	56	6	1	0	0	0	0	0	15	166

(7) 慰問・ボランティア状況

名 前	内 容	来 所 日	延べ人数
実施なし		延べ人数(団体)	0名
		〃 (個人)	0名
		〃 合計	0名

(8) 実習生受入れ状況

受 入 期 間	人 数	日 数	延べ人数	学 校 名	学 部 ・ 学 科	実 習 内 容
2024 . 2 . 13 ~ 2024 . 2 . 28	2	12	24	帯広大谷短期大学	社会福祉科1年	介護実習 I
合 計	2	12	24			

(9) 地域における公益的な取組(事例について自由記述)

- | | |
|-------------------------------------|------------|
| ①包括支援センター主催の自立支援型個別ケア会議に管理栄養士を派遣 | 2024年3月21日 |
| ②音更町社会福祉協議会の音更福祉フェスタ2023 ブース、活動展示参加 | 2023年11月5日 |
| ③RUN伴北海道2023 とから 企画・参加 | 2023年9月23日 |